

「立野ダム建設事業の検証に係る検討報告書（素案）」
に対する関係住民の意見聴取結果
【議事録】、【電子メール等で頂いたご意見】

平成 24 年 10 月

国土交通省 九州地方整備局

「立野ダム建設事業の検証に係る検討報告書（素案）」に対する関係住民の意見聴取

日 時： 平成24年9月22日（土）10:00～12:10

場 所： 熊本市 市民会館崇城大学ホール（大会議室）

発表者： 意見発表者

○住民（1番）

おはようございます。トップで胸がドキドキしておりますけども。

昭和28年6月の水害で私の家も2階まで水がきました。後始末が大変で、もう何ヶ月もかかったんですけども、でも立野ダムはいりません。というのは阿蘇のお山、世界で一番かなと私は思っています。熊本県人の誇りだと思っています。特に北向山は鹿や猿が住んでいて、その大事な大事な原生林だから大切にしなければならないと子供の頃からずっと言われていました。それで育ちました。阿蘇に行くと阿蘇はどこへ行っても疲れがずっと抜けてしまって、本当に素晴らしい山で、遠くからきた人達には必ず阿蘇に連れて行って、素晴らしいでしょうと、ずっと自慢しております。そのお山にずっと以前から計画中の立野ダムについてですけれども、もしもダムが建設されたら、一番大事な北向山の根本が水浸しになってしまって、そして原生林はもう本当に死んでしまうと思います。一度死んだらもう元に戻すことは出来ません。建設予定地の岩盤はいつ行ってもボロボロとこぼれています。あそこをコンクリートで固めてダムにするということですけどれども、それは一時的にはいいだろうと思えますけれども、長年かけたらボロボロと壊れていくのは自然の摂理だと思います。人の力で自然を制御していこうというのは、福島原発もわかりますけど、あの津波とか地震とかいうのは私達の力では止められません。大雨も同じ事です。それは人間の力で制御しようとする事は、結局、人間が自然を冒涇することになって、あとで大きな仕返しがきます。それを私達はどうにも止めようがありません。自然からのお仕置きを受けたら、私達は自然の恵みを受けられなくなります。自然の恵みを受けるためには、自然に対して私達はほんのちょっぴりお手伝いをするというような気持ちで、自然に対していかなければならないと思います。だから、やさしい気持ちをもって、関係機関の方々は、みんな生きている全てのものに対して、河川計画が本当に幸せであるような計画をたててもらいたいと思います。立野ダムは絶対に作って欲しくありません。以上です。

○住民（2番）

熊本市の●●と申します。

一つ質問ですけど、検討の場には流域市町村とか熊本県も入っていると思うんですけど、今日は県や市からは来られてないんでしょうか。国交省さんだけですか。当然、住民の意見を聴く場ですから、県知事さんや熊本市長も今日は来られて住民の意見を聞くと思ったんですけど、どうして国土交通省しかいないのですかね。検討の場じゃないじゃないですか。

まず、国交省のみなさんにお尋ねします。200ページ以上の素案を役場のロビーで立つ

たまま読んで、その場で意見が書けますか。絶対に不可能です。不可能な事を住民に押しつけないで下さい。私達が本日の公聴会を知ったのは、今週火曜日の熊日新聞の記事を読んだときです。それから2日後の木曜日にこの公聴会の募集は締め切られました。その2日間の間に役場のロビーに行つて、素案を読んで意見を言えなんて不可能です。まず、素案の事を十分に知らせて、説明会を流域のあちこちで開いて、それから公聴会を開くべきです。国交省は立野ダムに自信がないから説明できないんじゃないんですか。本当に立野ダムに自信があるのならば、堂々と住民に説明して、堂々と住民の意見を聞くべきです。この点について、後で申入書を出しますのでご回答をお願いいたします。2点目に今回の検討がダムありきの検討であったという事を言います。国交省の治水対策案に、流域の水田の畦をかさ上げする案が書いてあったので、昨年パブリックコメントで、私は流域の水田55km²の畦を20cmかさ上げすれば、立野ダムの総貯水量以上の水が貯められる。単独で立野ダム以上の治水効果があると意見を書きました。ところが素案では20cmかさ上げする案に河道掘削などいろんな工事をくっつけて、1,900億円にして代替案として採用しないと書いてあります。これではダムありきの検討と言われてもしかたがありません。

次に、素案によると立野ダムの洪水を貯める容量は、想定した洪水を調節する分しかありません。想定以上の洪水では、立野ダム湖は満水になり洪水調節不能となります。素案ではダムの穴の入口にスクリーンを設置するので穴が詰まらなと書いてあります。この写真は島根県の益田川ダム、穴あきダムの例ですね。ご存じかと思えますけど。穴の位置に設置されたスクリーンです。7月12日の洪水では、ものすごい量の流木が白川を流れてまいりました。熊本市内の橋にもたくさんの流木が引っかかっていました。これがですね、大津町の下井手の取水堰に引っかかった流木です。ちょうど5メートル角の立野ダムの穴と同じぐらいの大きさです。立野ダムの穴にこの流木が引っかかり穴が詰まったらどうなるのですか。立野ダムの穴が塞がったら、ダムより下流に水は流れません。総貯水量1,000万m³に毎秒2,300m³、この間の洪水ですね、洪水が流れ込めば1時間ちょっとで立野ダムは満水になります。満水になったとたん、毎秒2,300m³の洪水がダム上部の8つの穴から流れ落ち、下流の水位は一気に上がります。立野ダムは災害を引き起こします。7月12日の洪水で立野ダムが無くて本当に助かりました。

7月の洪水で白川中流域では、河道の流下能力が低いとため、白川が至る所で氾濫しました。素案によると整備計画が中流域では未策定です。中流域では河道の掘削などを実施し、河道の流下能力を高めることが不可欠です。もっとも大きな被害を受けた阿蘇市では、河道の整備が進んだ地区でも黒川は至るところで氾濫しました。遊水地群の整備を進めるほかにも、出来るだけ雨水の河川の流出を抑制する方策が必要です。素案によると立野ダム案ではこのような方策が盛り込まれていません。このように白川上・中流域をみると立野ダム案では7月12日の洪水では対処出来ないことがわかります。また、立野ダムに頼れば頼るだけこれまで以上に河川改修に予算が回らなくなるのは明白です。これから10年という時間と1,000億円をかけて立野ダム案を選ぶのか、それとも同じ予算で阿蘇地区や中流域を含めた河川改修を選ぶのか、どう考えても住民にとっては危険なダム建設ではなく、即効性のある河川改修は選ぶべきだと考え私の意見発表を終わります。

最後に国交省の皆さん、大変素晴らしい検証をされていると思います。しかし、ダムという結論を導くために、大変苦労されたと思いますが、そこは正直にきちんと検証されて、

ダム以外の案が非常に安全だ、素晴らしいということを考えてほしいと思います。

最後に申入書を出したいと思いますが、タイトルだけ読まさせていただきます。公聴会及び意見募集のやり直しを求める申入書。どなたに出せばよろしいでしょうか。よろしくお願ひします。

○住民（3番）

熊本市中央区におります市会議員の●●でございます。意見を述べます。

第1に、今日の説明会は9月11日に開かれた「第3回立野ダム建設事業の関係団体からなる検討の場」において、いくつかある治水対策案の中で立野ダムが有利の提案があつてわずか10日程度、その間、国が立野ダム建設について有利だと推進の立場を明確にしたことをどの程度の国民が知ったのでしょうか。案を提示して10日もたたない9月20日に申し込みを締め切り、公聴会を行うなど住民無視も甚だしいと思います。しかも参加者募集の呼びかけには、発表時間は5分となっていますので多くは話せませんと書いてあります。これでは全く聞く耳無しではないでしょうか。11日の検討の場では立野ダム案有利と提案してありますが、世論は必ずしもそうではありません。ダム建設には莫大な事業費、総事業費900億円以上を要し、なによりもかけがえのない自然環境に取り返しのつかない重大な影響を及ぼすダム建設にはきちんとした検証を行い、住民への説明責任を果たし、十分意見を聞き、その是非について意見を求めるのは当然ではないでしょうか。今回のようにダム建設先にありきで、性急に事を進めるのは断じて許されません。パブリックコメントでは圧倒的な意見が反対・慎重でした。川辺川ダム建設でも何度も住民討論集会などが行われました。今回の立野ダム建設においても住民説明会はもちろん、住民討論集会なども開いて住民合意のもとに徹底した論議を行うべきです。

第2に、素案では評価軸による評価の中で、生物の多様性の確保及び流域の自然環境への影響において、ダム案を除く他の案では影響は全くないか影響は限定的となっています。一方、立野ダム建設案では動植物の重要な種について生息地が消失、生息・生育環境の変化により影響を受けると予測される種があるために、生息・生育環境の整備や移植等の環境保全措置を講じる必要があると指摘をされています。このように、ダム建設案は他の案に比べ重大な環境への影響があるということが明確に検証されています。一方で、環境保全措置を講じるといいながら、その詳細は一切示されておりません。一度壊れた自然は元には戻りません。この点では国民へ納得のいく説明をすべきです。

第3に、ダム建設案では全体で毎秒2,300m³の流量調節です。そのうち、立野ダムと黒川遊水地建設と併せて毎秒300m³ということですから、ダムに比べて流域河川の整備による流量調整効果は毎秒2,000m³とはるかに大きいわけです。しかも12年前の2000年8月の九州地方整備局事務所長会議では、国の専門官が「白川は特殊堤防を使っているので、余裕高でいくと立野ダムが吹っ飛んでしまう」と言われています。ですから、当然、余裕高も含めた流量調節機能で検証するならばダムは必要ないのではないのでしょうか。検討の場ではふれてありませんでしたが、治水効果についても住民の納得がいく十分な検証内容を示して頂きたいと思います。

第4に、立野ダム予定地周辺の溪谷は立野溶岩で柱状節理がよくみられ、巨大ダムを建設するには危険な地質であると言われています。また、予定地には国内で地震発生確率

の高い活断層、布田川・日奈久断層の一部である北向山断層が通り、実際、立野ダム本体予定地左岸では多くの崩壊箇所も見られているように地盤が悪く地震による崩壊の危険性も指摘されていますが、安全性の検証も不十分だと思います。

9月12日から14日まで、黒髪渡鹿地域で国が行った河川改修説明会では「川底に土砂が貯まって浅くなっている。」「10年以上も前に家の中まで入ってきて調査をしながら、そのままになっていた。」などの意見が出ていましたが、いかに日常の河川改修や管理がおろそかになっていたのかと思いました。平成28年度以降に整備するとしていた計画を前倒しで28年度までに完了しようというのですから、これまでも促進しようとするれば、できていたのではないのでしょうか。こうした河川整備の遅れこそ、国として強く反省して頂きたいと思います。熊本市議会でも意見は分かれています。ダム建設ありきで先に突っ走っていくことは断固として反対です。以上です。

○住民（4番）

熊本市に住んでます●●です。

自然観察指導員をしています。2日間で市役所でこんな分厚い本を読めって言われたものですから、この3日、4日は不眠不休で一生懸命書きましたけれども、何百ページと読んで、全然見えない字が何十ページであるものを、それも見て書いたけど、結論から言います。

11年前から私はダムはいらないということで歴代首相から全て請願しています。それがいきなり、洪水が出たものですから、司会してらっしゃいます副所長の方から、ハードよりソフトって言われてから、ああよかったダムは絶対だされないぞと思っていたら、2,3日前いきなり、ダムはつくるぞとなって。所長さんがおられますけれども、ダムを止めて、ハードよりソフト整備を行って下さい。平成14年の河川整備計画でありますけど、これにはダムのことは全然ないのに、今朝の新聞では、県の土木部長がダムを含んで河川整備計画のおりすれば、あんなひどいことにはなりませんでしたと、嘘八百言ってます。それと、代継橋で毎秒3,500m³流れたと思います。それを県も熊日も市も、みんな内緒にしてるんですよ。代継橋の長さ×縦×秒速4.5mにしたら、毎秒何百m³と流れる訳です。私は天蚕糸を降ろして深さから長さから全部測りました。一人で測りました。嘘言わないで毎秒3,500m³流れます。毎秒2,300m³流れるときは毎秒300m³調節して、毎秒3,400m³流れるときは、毎秒400m³するよって。この論理も全くでたらめな論理です。

日本は1,000兆円借金があります。借金を増やさないでください。小泉さんがやっと減らしてくれたと思って、民主党が減らしてくれる、ダムは全部つくらないと言ったけど、また百兆円。めちゃくちゃ借金を増やしてます。

それと、この字を読むのにどれだけ苦労しましたか。4日間悩みましたよ。検証とか検討とか、国語辞典見てやっとわかりました。みんなめちゃくちゃです。検証は証明ですから、証明は地方体がすべきです。検討は、どうしても調べたらダムが必要だから、検討してくれって言って、国が検討すべきです。逆じゃないですか。しかもこの分厚い作文は、私あるところから手に入れて、4日間不眠不休で読んできたんですけど、やらせで、八百長です。国と県と市町村と自分で書いて、自分で作文して、嘘八百の数字を出して、私のパブリックコメントにも嘘が書いてあります。私は反対を全部書いとったのに、賛成っていう項目が入れてあるんですよ。でたらめ過ぎます。

それと、天井川っていうのは、私が言うな言うなと10年前から言っていて、ようやく言わなくなったら、こっそりと天井川と入れてあります。天井川はどこにもありません。代継橋は標高6mで、国道の差はずっと10mぐらい高く、その下のリバーサイドホテルでも、多分、市役所が9mで、下通も9mですから、3mくらい川底が低いですから、絶対、今後は天井川っていう言葉を使わないでください。それと、ダムのところは県の区間なのに、何で国がするんですか。事務所の所長さんや副所長さんがいるところの100m離れたところから、今度浸かったところが丸見えじゃないですか。大臣なんかも連れてきて副大臣なんかも連れてきて、みんなあそこから朝の6時から9時まで、洪水がはん濫し、ヘリコプターも来たぞというのに、緊急避難しろと一言も言っていないじゃないですか。危ないから、自分の裏の川を県に押しつけているのですよ。とても信じられない、悪いことが次から次にあります。

友達の家が浸かったから3日間泥をだしましたよ。30年前家つくったときに、俺ここには絶対家作らないぞと思いましたが、県のお偉いさんでしたから黙ってます。

それと、今から6ページしゃべりたいんですけど、足らないからまた手紙出しますので、嘘を書かないで、私の意見も、本に載せてくださいね。

平成11年に銀行の会長、熊日新聞社、熊本大学、東海大学を取り込んで17名の委員への説明資料の中でダムのこと全く書いてありません。それで、私が押しかけていって、国や県にあなたたちは騙されてはいけませんよと言って、阿蘇やいろいろな所に行き、毎日のようにがんばりました。一人で。自分で現地調査から何からしました。

まとめとですね。これ何時までなんですか。たった5分で卑怯ですよ。

資料は福岡にとったら、郵便の出し入れだけで4日で、今日の朝で私の家に着いてることになるんですよ。とんでもないことしないでください。まとめはですね、グループ分けが卑怯。1とこっちとこっちを結びつけたり、こっちとこっちを結びつけたり、前回の資料もそうでしたが、めちゃくちゃな作戦をしています。全然、別の予算ですから、ダムはダムで何千億円とあなた達は使おうって思っているのでしょうか。河川改修で何千億円て使おうって思っているのでしょうか。もう日本は破産しますよ。

終わります。

○住民（5番）

県会議員の●●です。渡鹿から来ました。

今、国交省がスピード感をもって全力で取り組んでいくべきことは、7月12日の大雨で被害にあったところの堤防を作り、浚渫・掘削をし、水害を起こさないよう整備することです。甚大な被害をもたらした7.12熊本広域大水害は過去に経験したことのないような大雨、1000年に1度の豪雨と指摘される大雨でした。同時に白川があふれた被害現場を調査すると地元紙熊日も「はん濫 堤防の無い区間から」と書いているように堤防が無いところからの氾濫であり、白川改修の遅れが原因であることは明らかです。国交省は来年を期に、今年7月12日規模の大雨がふっても、洪水被害を出さない対策をとるため、地域ごとの具体的な計画段取りを急いで進めるべきであります。川幅より33mも狭い明午橋の掛け替えは急がないと大変なことになります。球磨川で川辺川ダム建設が進められたとき、毎年150億から100億円前後の予算が組まれていました。ところがその一方で、球磨

川では河川改修が遅れ、毎年のように水害があちこちで起きました。ダム建設にお金がつぎ込まれ、河川改修が後回しにされたからであります。立野ダム計画を進めれば、今急いでやるべき河川改修が遅れてしまうことになりかねません。国交省は9月11日に開かれた第3回検討の場で立野ダムが最も有効との見解を示しましたが、この結論は国交省の過去の実績に照らすと全く信用できません。川辺川ダム建設計画で国交省は、2日間雨量440mmで人吉の流量は7,000m³/sになると固執しておりました。ところが440mm程度の雨が降っても人吉の流量は4,000m³/sから4,300m³/sでした。そこで突然国交省は2日間雨量を12時間雨量に変えてしまいました。基準地点は八代と人吉でした。流量はそれぞれ9,000m³/s、7,000m³/sでした。ところが八代9,000m³/sでは人吉が7,000m³/sにならないので、八代を突然基準地点から外してしまいました。しばらくするとまたまた突然、八代を基準地点に復活させました。そして八代の流量はいつのまにか9,000m³/sから9,900m³/sに変わっていました。県議会の議事録に載っておりますが私が一般質問でこの問題を指摘したときに、当時の知事も「2転3転し、誰が聞いても理解しがたいものだったと。」述べています。財政・コスト面でも川辺川ダムは当初350億円だったのが3,300億円の10倍に膨れ上がりました。国交省は住民討論集会で川辺川ダムはあと630億円で済むのに、ダム以外の対策では2,100億円以上かかると主張しました。ダムの中止の方向が決まり、国交省が示したダム以外の治水代替案は、住民討論集会で国交省がほとんど否定してきた堤防のかさ上げや掘削やあるいは遊水地などの計画であります。2,100億円の5分の1の約400億円でした。これらは国交省の立野ダムありきの結論が信用できない理由の一端であります。川辺川ダム問題では住民討論集会を9回開き、延べ53時間1万2000人が参加しました。森林保水力の検証もやりました。球磨川明日の川づくり報告会は流域で51回、熊本市・山鹿市あわせて53カ所で開かれました。熊本県が有識者会議を設置し8回の審議がなされました。立野ダムは11日に350ページ以上の文書を発表し、わずかな日を置いて今日から24日までの3カ所で終わるとするのは断じて容認できません。国交省は情報を公開し流域住民、県民に対する説明責任を果たすこと、そのための中小規模の説明会を各地で開催することを望みます。パブリックコメントでも異論反対が多く出ており県民参加型の公正な討論集会を治水対策のあり方、コスト、環境、地域社会への影響のテーマ毎開催することを求めます。立野ダムの安全性については立野ダム建設予定地周辺には崩落しやすい柱状節理が見られます。布田川・日奈久断層帯の一部である北向山断層が通っています。ダム上流の水位の上下動による地下水位の上下変動による斜面崩壊による危険があります。阿蘇の山々の深層崩壊による土石流により大量の流木、巨大岩石、大量の泥が流れ込みます。これらによって穴あきダムの放流口がつまり、満杯になり穴あきダムの機能が失われること、そしてダム自身の危険性も心配されるところであります。安全の問題は特別の検証が必要です。立野ダム建設計画は白紙に戻し住民参加で検証することを求め、私の意見と致します。

○住民（6番）

熊本市内に住んでいます●●と申します。

私は、あるNPOの団体に所属して、そこの職員をしています。職場で立野ダムのことを聴いても知っている人はだれもいませんでした。アパートに住んでいるのですが、この住民の方も誰一人、このような検討が行われていることを知っている人はいません。

私が特殊なところにいるという風にはあまり思っていないので、少なくとも私の周りではこのような検討が行われている事を知っている人がいないという事実は非常に重要なことではないかと思えます。1997年に成立した改正河川法の中では、ダム・堤防等の具体的な整備の計画について河川管理者が地方公共団体の長、地域住民等の意見を反映させて定めますという文言があります。主権者である住民に対して情報公開を徹底し、十分な議論を踏まえ、コンセンサスを得た上で計画を定めるということが法の趣旨ではないのでしょうか。先ほどからも言われておりますように、今月の11日に開催された検討の場において確認された200ページを超える素案を熟読し、20日までの締め切りに対応できる住民がどれくらいいると想定されたのでしょうか。地域住民に知らせないままダム案を急いで決定したいという意向と受け取られても仕方がない進め方ではないのでしょうか。7月12日の水害からほぼ1週間後、検討の場での結論としての素案も確定していない段階で、熊本市が国に対し立野ダム本体工事の早期着手に向けた事業促進の要望を提出した経緯からも、最初から結論ありきのセレモニーにすぎないのではないかという疑念を持っております。法の趣旨から言えば、広く住民に周知徹底をする努力をするべきであるにもかかわらず、関係住民及び有識者からの意見を聞く場を、本日を含めわずか4日間に限定するような非常識きわまりない進め方を見直す必要があると考えております。

素案では主に完成までのコストと時間の評価軸でダム案が有利であるという結論になっていますが、この評価自体、私は大いに疑問を感じております。

第1に、1度壊した環境はすぐには戻らず取り返しがつかない事態も想定されます。ダムによって水没する北向谷原始林は国指定の天然記念物であり、立野ダム事業区域は阿蘇くじゅう国立公園の特別保護地域に指定され、絶滅危惧種であるクマタカの生息も確認されています。環境への配慮こそ、最優先すべき課題ではないでしょうか。ダム建設は阿蘇を世界遺産に登録する動きにも水を差します。

第2に、時間の問題があります。ゲリラ豪雨と称される局地的な豪雨はその頻度を増しておりダム完成までの今後10年間に、今回のような事態が発生しない確率はかなり低いのではないのでしょうか。5年後という意味では河道掘削案や輪中堤案が有利であることを素案でも認めているように、毎年、継続的に実施する改修案のほうが順次効果を発現するため、より現実的な対応だと考えます。ダムが完成するまでの10年間、万一水害が発生すればその復旧コストを考慮すれば、必ずしもダム案がコスト的に有利ということにもならないのではないかと考えています。生命・財産にも関わる重要な案件であり膨大な予算を伴う事業ですので、地域住民の合意を図るため、川辺川のところでもありましたように住民討論会もふくめ意見交換の場を設置することを強く求めます。

以上です。

○住民（7番）

東区の方から来ました●●といます。

だいぶンダムが問題だという発言が多かったので、2つだけ意見を述べたいと思います。

1つは説明責任の問題です。熊本は、長く川辺川ダム問題で議論されて、ダムを造らないとなりました。この教訓をどう踏まえるのかということが非常に大事だと思います。国交省は長くダムありきで進めてきて、水害のあった体験者や市民団体がちょっと待ってく

れと、ダムはかえって心配だという議論をして、住民討論集会もあって、それで国交省や国が進めようとしたダムありきにストップがかかって、結局今はダムによらない治水対策で行きましようとなり、どんどん球磨川の河川は進んでいます。これをしっかり踏まえているのかと私は強く思います。7月の災害があり、私もボランティアで龍田1丁目や陳内や阿蘇に行きました。それで、目の前の堤防をどうかしてくれと言う話は聞きましたけど、ダムという話はひとつも私は聞きませんでした。ですから話がありましたように、ダムを造るといのはほとんど熊本市民は、今回の報道では有りますが議論はされていません。実際、住民からもそういう声は出ておりません。

7月に龍田の市民センターでありました県の説明会ですけれども、熊本市も国交省も来ており私も行きました。話を聞きましたけど、その中では、ダム造ろうとかかダムを考えているとか説明は一言も無くて、当然、説明会に来た水害にあった体験者の方々も、ここをこうしてくれ、川幅を広げてくれ、そういった目の前の川の対策の話ばかりでした。それで9月のはじめの検証の場に私も行きました。それから10日あまりたって今日の説明会ということですので、川辺川ダムの大きな教訓を踏まえないで、住民討論会で広がったらダム反対世論が広がるかもしれないことを予測して、事を急いでいるようにしか思えません。住民がやっぱり反対をする、水害体験者が反対する、その為、知らないということでも事を進めるのは絶対良くないと思います。

2点目は、私も全然専門家でもありませんし数字や難しい話は解りません。全部はこれも読んではおりませんが、穴あきダムの危険性を素人ながらに考えるのですね。先ほどから有りました穴が詰まるんじゃないかなという話、これは大いにあり得ると、流木も有るし、大きな石も流れて、色々な物が今度は流れて来ました。私、心配しますのは、最初に豪雨が降って三つの穴が詰まったとすると、少し雨がやんでも小雨でもただならぬ二日間三日間と降りますとずっと溜まります。その間、断流で川は流れませんが、満水状態になり、それから豪雨がまた来たら、もうダムの洪水機能は無くなります。そのダムの洪水機能をあてにして下流の方で、洪水の対策で安心していたら、その対策には間に合わないで被害がでる可能性があるのですが、加えて私がもしもということでも心配しますのは、満水状態でどんどん水がダムから溢れているときに土砂崩れが起こったらどうなるんだろうかと、満水状態で溢れて、ドバツと崩れれば津波状態で相当の水が下流に流れます。阿蘇の坂梨とか内牧などいろんな所を今回見てきましたけど、あちこちで崖崩れが起きています。ですから、満水状態でどんどん溢れているときに、立野でも崩れていましたが、あのようなことが斜面でもしおこったら、だれがどう責任をとるのかと。熊本市の被害をだれも責任が取れないのではと、そのような危険があると思います。しかも、地震の話も有りますし、岩盤が弱い話もありますから、そういった問題も含める検証をしっかりしないとこのまま進められないというのが私の意見です。ですから、住民合意で様々な検証を行う必要があると思います。危険性については特に多くの方が心配していますので、こういった検証をすべきであって、事を急ぐべきではありません。これは、国交省もそうですが民主党政権や、今日の熊日新聞の知事さんのコメント、そして熊本市長さんも含めてですけれども住民にもっと向き合って欲しいというふうに思います。

以上です。

○住民（8番）

こんにちは、渡鹿から来ました●●ですけれども、皆さん、立野ダムには反対ということを書けられました。私も、熊本市の渡鹿の住民として、渡鹿でも水害が起きましたけれども、先ほど●●県議から書けられましたように、堤防の嵩上げ等をしていないところから水害が起きているのです。今日ここに来て感じるのは、9月13日に渡鹿においても治水対策の国土交通省からの説明会があったんですけれども、そのときには何にも一言もこういうことは言われませんでした。私たちから見れば沢山の税金を使うのだから、だったらもっと早く渡鹿とかで堤防のかさ上げをしていけばこんな水害は今回起きなかった訳です。だから住民を軽く見ている、そして無駄使いばかりしていると私は思います。だから、私は渡鹿の住民からも早く堤防のかさ上げと、浅くなっているところの掘削を緊急にやってもらいたいということです。私も難しいことはわかりませんが、ダムは下から読めばムダです。荒瀬ダムも撤去するのに80億円もかかるというのを聞くと庶民感覚から私は考えられない。アメリカでもダムは全然造っていないんですけど、ダムの建設は是非中止してもらいたいと思います。

以上です。

○住民（9番）

熊本市に住んでおります●●と申します。

報告書素案について意見を申し上げます。

国土交通省による検証の結論は、ご存じのとおり立野ダム案が最も有利だということでしたが、私は、次の点で大きな問題があると認識し、更なる検証の必要性を感じたところではあります。

1点目は、これまでも意見が出されました、が想定外の洪水に対してダムが対応できるのかという点であります。この点については第3回検討の場でも質問がされ、国交省側からは「7.12九州北部豪雨に対しては対応できたが、満水になるのは雨の降り方により変わるので一概には言えない。昭和28年の6.26水害を超える洪水には対応できない」との発言がありました。当然この議論はダムの放流口から水が正常に流下したことが前提であります。流木や岩石などにより穴が塞がった場合には計画内の洪水でもダムがたちまち満水となってしまう、治水機能が失われ、流入した洪水がそのまま流下せざるを得ない事態となります。信頼できる流木対策の構造物の形状についても、まだまだ技術基準が確立されていないという指摘がある中で、この点については流域住民への説明責任を果たしているとは思いませんし、重大な課題だと考えております。ダムが前提となった河川改修においては、ダムの治水効果、例えば水位低減効果を見込んだ計画になることから、例えば計画を上回る洪水や今指摘しました流木によりダムが治水効果が発揮できない場合、水害が拡大する危険性があります。ダムによる被害の拡大については、今回の報告書素案では、国交省からは「目標を上回る洪水が発生した場合でも、ダムから放流される流量がダム貯水池に流入する流量を超える事はありません」との回答がありましたが、これは極々あたりまえの事を述べているだけで、では流木などが穴を塞いで治水効果を発揮できない場合、ダムによる治水効果を見込んだ河川においてはどうか水害の危険を回避するのか、具体的な回答は示されておられません。

2点目の課題は自然環境への影響です。ご存じのとおりダム予定地の上流は北向谷自然林があり国指定の天然記念物であります。こうした貴重な自然が洪水時には水没すると共に、試験湛水によっても水没することから過酷な影響を受けることが懸念されています。こうした中で、報告書の素案では、北向谷原始林への影響については「洪水時は冠水する時間が短いために植物に与える影響は小さいと想定される。試験湛水においても湛水期間を短くすることから影響についてはできる限り低減されると想定される。」と表現されています。さらにダム建設に関わる水環境への影響についても「水質に変化は無いと予測される」と示されているように環境に関する評価については「想定」という言葉や「予測」という言葉で結論づけられていますが、科学的な検証データが示されていない段階で正当に評価することが難しい事は明らかであります。

3点目は多くの方が指摘されていましたが、流域住民への情報公開や説明責任が不十分であるという点です。寄せられたパブコメは、こうした影響も受け11件と少ない件数です。しかし、この中でも大半がダムによらない治水対策を求めています。本日から住民から意見を聞く場も開催をされておりますが、素案公表から10日足らずしか経っていない時点で、3日間の意見の聞き取りでは、まともな住民意見の反映が出来るものではありません。私は、昨年10月17日に第2回検討の場が開かれて、複数の治水対策案の立案とか概略評価による治水対策案の抽出が提示をされて、11月15日までパブコメが行われました。その間から今度の9月11日まで、住民側から意見に対して約10ヶ月をかけて検討の場で国交省の回答が出されました。その一方で、今度は住民からの意見を聴くときは素案を見て10日後に意見を求めるとするのはどう考えてもおかしいと考えます。住民自身がダムについて考え判断するためには、更なる情報公開と住民参加の検証の機会を保証をして頂きたい。このことを強く求めると同時に、公共事業のあり方を決めるのは住民自身であります。7つの評価軸で判断をされたと先ほど説明がありましたが、もっとも重視してほしいのは、住民が必要としているか、要望しているか、この点を最大の評価軸として今後ダムによらない治水対策を住民とともに追求してほしい。このことを強く求めて私の意見としたいと思いません。

○住民（10番）

●●です。私は大津町からやって参りました。

昭和の終わりに熊本県へ転勤命令が出まして、千葉から転勤してやってきました。水害にかかわる情報を知っており、熊本での住まいは川沿いではなく高台を選ばせてもらいました。そういう状況であるというのは、熊本の場合いろんな報道で都度されてましたので、経験しております。今回の説明会に参加させて頂きましたが、国交省の方から質問に対する回答をして頂けるかと思いましたが、今までの発表の内容を見ておきますと、立野ダムに対しもの申すという形になっていると思いましたが、いろいろと質問はありますがその中で国交省の担当の方にお聞きして回答して頂ければありがたいと思います。

私の案としては今回、立野ダムの建設に980億円の予算が必要で、他の案は1,120億から1,580億円と聞いております。結果的にはダムを作った方が安く上がるという結論で国交省はダム一連の話題を取り上げたんだと思います。今回の水害に関して特に考えられる対策案として、今回の水害で越流した部分の河道の掘削とか堤防のかさ上げとか河道内の樹

木の伐採です。それといわゆる白川そのものは国交省の担当エリアと県の担当するエリアがあると先日聞いています。立野ダムあるいは河川改修が済んでいる部分については国交省、今回水害で被害があった箇所は県の担当で何もなされて無くて越流したという状況です。毎日大津で生活しております、白川流域の被害の惨状を見ていますが、穴あきダムは5mの穴があるとの事ですが、白川流域には5mを超える構造物や堰堤の跡だとか、擁壁の跡などがごろごろ転がっています。それを片づけるのは国の費用でなされると思いますが、ダムの穴が詰まるのではないかと恐れが多分にありますし、先週末、旧長陽村が経営しているキャンプ場に行ってきましたが、右岸と左岸は明らかに材質が異なる岩が組成してまして、キャンプ場の周辺にも5mを超える構造物がごろごろ転がっていました。ダムを造るに当たって、国交省が片づけられるのか疑問があるし、今回の災害復旧で撤去されるのかということもあります。そういう意味において先ほどの残工事には、黒川の調整池の掘削がまだ残ってますし、橋の架け替えや色々残っていますけれども、国交省が担当されるのか県が担当されるのか疑問で残ります。立野ダムの建設事業の検証に関わる検討事項の中で6-13「河川改修は継続していきます」というのは国交省の担当の部分なのかそれ以外の部分も含むのか、それと6-15にある立野ダムが出来た後、周辺の国有林や国の天然記念物に指定されている部分の試験湛水、やはり5ヶ月から6ヶ月ぐらいかかると思いますが、その間に枯れた木は全然切らないと表現されていますが、その辺もやはり益田川ダムの状況を見てますと試験湛水の後、木が枯れています。その枯れた木をいつまでも見なければいけないのか。朽ちて流れてしまうまで何年かかかると思いますが。その間、木を切らないと表現がしてありますので、その辺も気になりました。

簡単ですが、以上です。

○住民（11番）

熊本市の東区に住んでいる●●です。

私、去年初めて立野ダム建設予定地を見に行きました。素晴らしい場所です。熊本市、熊本県はもっと宣伝すればよいと思います。北海道の層雲峡に匹敵するのではないかと思います。そこにダムが、熊本県庁よりもはるかに高い、熊本城並みの構造物ができるのを想像しただけで、あそこのせっかくの原生林が浸かってしまう、どういうことだろうかと思えます。これまでにいっぱい話されてきましたが、私もこれだけの検討報告書素案ができておりますけれども、あれをインターネットで、PDFをみると、とても読めるものではありません。今日見ても印刷物は字が小さくてまず見えないですね。このようなもので「意見があるなら言え」という公聴会のあり方自体が、公聴の主旨を真っ向から否定するものであり、公聴会としての疑問があることを抑えた上で意見を言いたいと思えます。資料の中で3.1.1の立野ダムの目的についてということで、立野ダムありきということで書いてあるのですけれども、とにかく、洪水被害の防止または軽減を図るという結論だけ書いてあります。しかしこれは、川辺川ダムのときもそうであったのですが、想定してある雨量、ダムの都合のよい間隔でダムに都合のよい雨量、80年に1回とかそのようなことを国交省はどんどん言ってきますけれども、すべては想定内の雨量であります。どんなに激しい雨でも。ところが今回の7月12日の雨というのは、想定をはるかに超える量です。想定はできない。想定はできないところに構造物を作って、1時間で満水になる。私も感覚的にそう

思います。あんな狭いところであれだけの外輪山の中の水が一気に集まってくるんですから、普通に考えたら、あそこにダムを作ったら川辺川の比ではないですね。とても貯められるものではないです。あと、想定してあるというのが、「ちゃんと穴から出て行って洪水が起きないようにちゃんと流しますよ。」とそんなことはあり得ないと思いますね。昨年の3.11で想定していたことはいっさい起こりませんでした。想定外のことなんです。今年、熊本市に私も申し入れに行きました。熊本市長さんが立野ダムを作りたいと言っていたので。その時対応した副市長がいわれたのが、「3.11で物事が想定できなくなった。」そこまでは分かります。「想定できなくなったから立野ダムを作ります。」と言ったんですね。今でも全く意味が分からないです。そういうレベルの市長さんがいる意見をいっぱい並べているのです。熊本市の市長さんが、一番流域の財産を守っているだろうから、一番意見が大きいと思います。そういう市長さんの意見を並べて、そしてその上で立野ダム。あそこは出来るような雰囲気ではなかったです。工事は止まっていて、工事は止まっているというか、廃屋みたいな工事事務所があって、ダムはもうあきらめたのかなと思っていたのですけれども、ところが急に浮上した訳です。しかし全く物事をわからない市長さんもいらっしゃいます。そういう意見を受けて急に立野ダムが出てきたというのは本当におかしいことだと思います。川辺川ダムの住民討論集会には、私も初回から参加してきました。9回のうち8回は参加してきました。流域の町長さん、市長さん、村長さんはだいたい来られておりました。一番に住民の感覚、先ほど冒頭で●●さんがおっしゃったように、一番財産を守らなければならない首長さんが一人も来ていません。こんな状況で検証をするということは、全く何のための検証かと思います。もし、このようなことを進めるならば、短い期間で分厚い資料を読ませて意見を言わせるのではなくて、これから仕切直して、色々な対策案があるので、そこをちゃんと見せて。コストを並べ立てるばかりで、詳細に検討した形跡すら無いんですね。ちゃんと検証して資料をそろえて、もっと住民に開示してそれから改めてやるのであれば、このような場を開いて欲しいということを申しまして、私の意見を終わりにします。

(1 : 26 : 10)

○住民 (12番)

皆さんこんにちは。私は熊本市議会議員の●●と申します。

熊本市役所の退職者です。これまでの流れを見てみますと、市長が立野ダム建設要望書を国交省に提出しております。そのおりに何故、まだ検証途中であるのに提出したのかと、住民団体が抗議文を提出しました。それに私も同席致しました。対応したのは都市整備局の次長と河川公園課長です。両方とも私の後輩です。かれらは何故立野ダムかという理由に答えることが出来ませんでした。彼らが言うには、この要望書は企画の方で作っており、私たちはタッチすることはできなかったと言っております。このことからすると、純粹に技術的な面からの要望では無く、政治的な側面を大きくもったものだと感じました。また先の12日の熊本市議会で、最終日に建設促進の意見書が自民党熊本市議会からの提出で議決されましたが、その意見書の内容を見ますと、その書きぶりは、本日提出されております検討報告書の内容と非常に類似しているなという印象を持ちました。市長の国交省

への要望提出、市議会の意見書、これらの一連の流れは連動しているなど。また、今回素案の提出がすぐに行われました。素案の公開がすぐに行われ、今回が公聴会、あと3日の公聴会、さらにその翌日に学識経験者の意見を聞く場です。怒濤のごとく手続きが用意されております。まるで洪水を起こしたかのような流れになっております。ここに市長の意見要望書提出と引き続く流れ、シナリオを書いた人がどこかにいるのではないかと感じざるを得ません。さて、時間が限られておりますので、私の用意して参りました意見の内容を、足早ではありますが、読みながら時間の制約の中で発表に変えさせて頂きたいと思っております。

私は熊本市役所の退職者です。化学の技術吏員として環境部門を主体に勤務しておりました。最後の職場は水保全課でした。水保全課では水質汚濁防止法を担当し、河川や地下水の水質調査や工場排水の規制を行っていました。退職前は、白川中流域での水田を活用した地下水涵養対策に取り組みました。

「白川・緑川水質保全協議会」という組織があります。この事務局は、ここに来られております熊本河川国道事務所の皆さんです。熊本市も参加して水質汚濁事故、「一旦、川の水質が汚染されたらすぐに対処しよう」という訓練を行っていたことを思い出します。河川国道事務所も本当に真剣に川をきれいにするために取り組んでおられました。

国・県・市が共同して公共用水域の水質調査をしていますが、熊本市が白川で担当した環境基準点は吉原橋です。環境基準のA類型です。非常に高いランクの類型です。以前、私が担当していたときはこれを達成することは非常にまれでした。ところが近年は、これを常に満足しております。上流の天津町さんや菊陽町さんの下水道整備などが進み、付近の住民や工場排水の企業の協力もあったからだと考えております。

ところで、今回公表されました「立野ダム建設事業の検証に係る検討報告書（素案）」を拝見いたしますと、堆砂計画では貯水位の低下とともに堆積土砂は流下すると記載してあります。4-103では湛水の水位低下時に土砂による濁りが増加すると記載してあります。私は、せっかく水質が改善されてきた白川の水質悪化を招く大きな原因となるのではないかと強く指摘させて頂きます。どのくらいの濁りが発生するのでしょうか。どのくらいの期間、濁りが継続するのでしょうか。

目を川辺川に転じてみますと、上流に建設されている樅木ダムや朴木ダムの穴あきダム、これは同じ構造ですが、濁りが八代海まで影響しております。この現状をみると立野ダムを建設すると白川もこのようになるのではないかと大きな危惧を抱かざるを得ません。流域自治体の下水道整備や工業排水の企業努力、これらを無にしまいかねない立野ダムの建設計画だと指摘せざるを得ません。川の濁りは鮎の生育を阻害し、のり養殖への被害を引き起こします。白川は立野のすぐ下流に位置する上井手から堀川を流下して坪井川に合流しています。そして熊本城長堀前を流れます。その川が泥・濁りとなっては熊本の観光に多大な影響を与えます。果たしてこの濁りの原因である汚濁物質を解消できるのでしょうか。効果的な環境保全対策をとることが出来るのでしょうか。このことから立野ダムの建設に強く反対します。

さて皆さん、白川を分離して2つの川があることをご存じでしょうか。白川は2つの川に分かれております。先ほども申しました、上井手から堀川そして坪井川と合流する道。もう一つの川は、白川中流域を主体とした地下水の川です。阿蘇が噴火する前に古い加勢

川、古加勢川というのが南北に流れているという学者さんの言葉もあります。この地下水を通して、緑川、加勢川を流れておりますので、これらの2つのルートを活用する方法があるのではないかとこのことを指摘したいと思います。

以上、最初は省きましたが、この原稿案は国土交通省河川国道事務所にもさきほど提出しておりますので、十分に意見を踏まえて、慎重な、また、ここに書いてあります聴く場、心を込めて市民の意見を聴いて頂きたいと要望いたします。

○住民（13番）

皆さんこんにちは団体代表をしております●●です。

今回の報告書において立野ダムが最も有効とされたことについて肝心の熊本市民への説明責任が果たされていないだけでなく、気象庁が1000年に1度の豪雨といった今回の災害について何一つ検証がされずに結論を出していることに大きな違和感を感じました。そしてまた、市民の大半が納得できないだろうとそういう立場から意見を申し上げます。

実は、私が市会議員をしておりましたときにちょうど川辺川の住民討論集会が行われました。また、市議会で御船の七滝ダムについて、その当時の市長と論争したことを思い出します。そういう点ではダム問題に深い関心を持ってまいりました。七滝ダムについては正式に中止になりましたのでやっぱりそうかと胸をなで下ろしたところですが、今回の検討会におきまして立野ダムが最も有効という報告が出された事に驚きを禁じ得ませんでした。今回の7.12豪雨災害との関係はもう他の皆様の意見がございましたのでそちらに譲りたいと思いますが、事実上熊本市民を置き去りにして急いで結論を出そうという姿勢には厳しく批判をせざるを得ません。まず、熊本市も含めた関係地方公共団体からなる検討の場でこれまでどのような議論が行われたのかという問題であります。議事録を見ましたが、大半が国土交通省側の説明であって、市町村の代表は事業費あるいは工期などについて若干説明を求めたり、あるいは要望を出しているだけで、ダム案がいいのか、それともダムに寄らない治水がいいのか中身については全く検証されておられません。これがなんで検討の場なのか、改めて疑問を持たざるを得ません。「いやパブコメしました。今回もこれから公聴会で意見を聴きます。」そういうふうに言うかもしれませんが、この程度では話しになりません。まさにこの問題は住民の生命と財産をどうやって守るか、そういう点では流域の住民にとってはまさに死活の問題であります。熊本市議会でも立野ダムとその他の治水対策について今回災害を受けてやっと議論が始まったばかりであります。市民にとっては検討の材料も全く示されておられません、だからこそ今回の検討の場においてどの首長さんも、昨日は県議会で知事も言いましたが、住民にしっかり説明してもらいたい、あらためて念を押してその上で結論を出してほしいと皆さん言っております。そうだと思います。私はそういう点では川辺川ダム問題を巡って実施された住民討論集会の形で徹底した議論が必要だと改めて感じております。この川辺川ダム事業を巡る論点について、ダム案と治水代替案を巡って県がコーディネイト役になって国土交通省とダム事業に意見がある団体並びに学者及び住民が参加してオープンでかつ公正に議論することを目的として行われました。毎回5時間近い論議がされましたし、第1回目などは午後1時から夜の8時過ぎまで白熱した大論争がなされております。一つ一つ疑問に思う点は全部論議をしてそれなりの結論を出しながら、最終的には流域の住民の大半がダムはいらないという結論を

出されました。そしてその後はダム推進の立場に立っていた市町村長も次々とやっぱりダムはいらない、住民の意見をしっかり聴いて欲しいとそういうことで態度表明が続いてきました。私はここから学ぶべき事はこういう討論の場を持てば住民は徹底して学習して文字通り住民が主役として、ダムがいいか、代替治水案がいいかと最終的に決定することができます。そうじゃなくて今の形では住民が全く主役になりません。国交省主役のダム決定になります。これは絶対にやってはいけないことであります。特に熊本では川辺川ダムを中止して、御船ダムも中止し、そして荒瀬ダムの撤去が始まっております。まさに熊本では県民の大半がダムをいらない、そういう選択をしている中でこの立野ダムだけが突出してこのダムが最も有効というのであれば、これまで以上に住民への説明が必要になることは言うまでもないことであります。以上申し上げましたように市民の中での議論はこれからであります。したがって、市民の生命と財産を守るという最も重要な事業において肝心の市民を置き去りにすることなく、川辺川ダムにおいて行われた住民討論集会の形で徹底した討論を行うことを強く求めて意見を終わります。

○住民（14番）

熊本市北区から参りました●●と申します。

先の水害で陳内4丁目に住む私のおじといとこ一家が被災致しました。また、その後のボランティア活動などで龍田1丁目、陳内4丁目の住民の皆さんから伺ったお話などをちょっとお話しさせて頂きたいと思っております。陳内4丁目に住むおじ、いとこ一家が被災したわけですが、特にいとこ一家につきましては、新築1ヶ月の時点での床上2mにも及ぶ被害でした。水害当日は乳飲み子を抱えて命の危険にさらされて必死で逃げ、そして水害から2ヶ月経った今でも自宅に帰る目処は全くたっていません。私も片づけに行きましたけども奥さんが泣きながら思い出の品、写真等をヘドロを洗い落としているのが今でも印象に残っています。またその後のボランティアなどで陳内4丁目の住民の方からも色々なお話を伺いましてやはり「22年の間に2度もひどい水害にあっている。もはや土地も家屋も資産価値がまったくゼロだと言われている。自分としてはもう怖くて住みたくないし移転したいと思うが、生活再建のためにもお金を借りようにも今の土地家屋は全く担保にもならないと、本当にここは宅地として人が住む場所として適切な場所だったのかとそういったことをですね行政の責任ではっきり判断してもらって、そして希望者にはちゃんと移転の手はずを取ってほしい。」といった声をたくさん聞きました。私のいとこ一家も家を建てるにあたっては、もちろん22年前の水害が念頭になかったわけではありません。しかし、業者の方からもう絶対に溢れないからと太鼓判を押されて購入に踏み切ったといういきさつがあります。確かに今回の水害は想定外の未曾有の水害だったのかもしれませんが。しかし先般来発言者の方の言葉にもありますように、実は溢れたところは殆どが堤防が未整備だったところから溢れてるといった実態があります。お隣の龍田1丁目にもボランティアの際に住民の方から伺いましたが、「龍田1丁目にはもう何年も前から自治会に、県に対して堤防を作ってほしいと陳情を出し続けてきた。しかし予算がないからという理由で退けられてきた。」という話や、また、別の川沿いもう川のほとん手前に住む住民の方からは、「ここはもうとっくに用地買収は済んでたはずだ。なのに川幅を広げるなどの手続きは全然取られていなかった。今回の水害はまさしく人災ではないか。」という声をたくさ

ん聞きました。白川については小磯橋から下流・上流とで国と県とで管理が分かれているという複雑な事情があります。特に龍田の流域の災害については、国に言えばあそこは県の管理なので熊本県さんに言って下さいよというお考えなのかもしれませんが、しかし流域に住む住民にとっては県の管理だろうが国の管理だろうがというのはあずかり知らないことだと思います。やはり熊本県民であるまえに日本国民であるわけですから、国民の安全と財産を守るという点では、例えば県が予算が無いから手を付けられないのか、それとも不作為でやらないのかということがあればやはり国として適切な援助であり指導がなされるべきだったのではないかと思います。さて、4丁目についてはやはり移転というお話もありましたが、龍田1丁目ですとか同じく陳内4丁目でも引き続きこの場所に住み続けたいとか、事情があって住み続けざるを得ないという人達にとってはやはり堤防の整備を早急にやって欲しいというお話があると思いますし、先程申しました「龍田1丁目は堤防が未整備だったから溢れた。じゃ陳内4丁目はどうだったのか。22年前の水害で堤防嵩上げた。それでも溢れたじゃないか。だからダムが必要なんだ。」ということをおっしゃる方もいるかもしれませんが、しかし陳内4丁目は例外だと考えたいと思います。特にヘアピンカーブの先っちょのような場所、あの狭い所にフジツボのようにびっしりと家が建っている。そもそもがやはりあそこは宅地としてはふさわしい場所ではなかった。どういった経緯であそこに住宅を建てることを許可されたのかということをやはり検証していく必要があると思います。この件は今回のテーマには直接は関係ありませんが、それでもやはり地域住民の方にとっては、「今でも毎日毎晩怖い思いをして暮らしている。ひとたび雨が降れば本当に眠れないくらい怖い思いをしている。だからこそすぐに堤防の整備をやってほしい。しかしダム建設では時間がかかりすぎる。もしダムを建てるということになればダムに予算を取られて築堤が滞るのではないか。」という懸念の声をたくさん聞きました。特に熊本市長が河川整備におけるダムの優位性を明言してからは特にその声は多く聞きます。素人考えにも、こういわれた方がいます。「ダムといっても今回みたいに国や気象庁が言うように、想定外の雨が降ったらダムの容量が一杯になったら放流せざるを得ないでしょう。そうなったら下流域にも多大な洪水を起こすんじゃないですか。素人の考えかもしれませんが私はそう思います。」そのように強くおっしゃった方もいました。その方はダムではなくやはり堤防ですとか川底の浚渫、そして何よりもポイントポイントで遊水地を作ること、これが一番大事じゃないかとおっしゃってました。私自信もそのように考えます。流域の皆さんにとっては、やはり10年もかかるダムではなく、すぐ目に見えて分かるような対策、例えば堤防作るにしても用地買収などで時間が掛かると思います。そうであるならば川底の浚渫。今でも吉原橋付近では川幅は土砂が溜まってどんどん狭くなっている。なおかつ川の真ん中にはパワーショベルが何台も縦横無尽に走り回れる位の巨大な中州ができあがっています。そういうのを撤去するだけでも流域の住民は目に見えて関心があるのではないかというふうに思います。また私個人としても今回のダムありきの考え方には反対です。自然を破壊し、そして膨大な予算を費やす。また、住民に対する説明責任という点でも本当に不十分だというふうに私自身考えています。その点を踏まえて私の発言とさせていただきます。

○住民（15番）

島崎に住んでいます●●です。

私は、立野ダムを作るということに対しては、絶対に反対の立場でお話させていただきます。

今日のこの会を開くにあたっての色々な問題点は多くの方々から話されましたから省略します。ただ、今回の7月12日の水害はどうみても行政の怠慢の人災であるとしか言えません。このことについてもし時間があったら後から説明させて頂きたいと思います。

今回、国土交通省の方で出された「検討報告書」、この中を読んでまして一番気になったことを述べてみます。この中で見ますと、まず工程の問題です。現在からかかったとしても、あと10年かかる。そのうちで仮排水路トンネルが3年と2,3ヶ月。それから本体が6年と数ヶ月かかる。私たち、川辺川ダムのことを調べてみたことがあるのですけれども、ものすごく長いですよ。仮排水路トンネルだけで3ヶ月というのは、川辺川の場合だって2年もかかっていないと思います。それから、本体工事が6年半ぐらいかかるというふうになっています。これも川辺川の場合だったら、たった数年であの大きなダムが出来ることになっていました。何故そんなに時間がかかるのかということは、この間の説明会の時も、国土交通省の説明では全くありません。ただ10年かかる。だからどうするかということですよ。10年かかるから皆さん、そのつもりでいなさいよという感じなのですが、素人としての私の考えを言わせて頂くと、たぶんあそこの地質の問題じゃないかと思うのです。皆さんもご存じのように、あそこは柱状節理、それから砂と砂利が固まって岩になったような地層、また柱状節理といった形で多段になって、また、ご存じの通り国は水の溜まらないダムを阿蘇の先の方に作りました。あそこと同じ様な状況なんですね。そこで1回聞きに行ったら、セメントミルクを流し込んで固めてから作るから大丈夫ですよということは国土交通省さんが言われましたけど、かかる工程から見ると、すごくやりにくい所に無理してダムを作っているのではないかなと思います。仮排水路トンネルなんて、ただトンネルを掘るだけなんですよ。これもたぶんセメントミルクを固めながら、穴を掘っていく。だから3年もかかる。本体はですね、今度できるダムというのははっきり言ってあまり大きいダムでは無いですよ。日本のダムから言えば。小型のダムを7年近くもかかるというのは、あそこの土地はダムを作ったら危険であるということを国土交通省さん自ら証明しているようなものではないかなと思います。それと、なお恐ろしいのは、あの下に、布田川・日奈久断層という活断層が走っています。今まで原発で絶対にこんな事はありません。ということが、この間の3月11日に起こりました。それと同じように、大雨が降って、色々なところの地盤がゆるんで、立野ダムがいっぱいになった時に地震が起らないという保証はだれもできないはずですよ。これが起こって、もしダムは壊れず残っても周りの岩盤が壊れた場合とかダム自身が壊れた場合、下流がどういう状況になるかというのは自ずと解ってくると思います。熊本をはじめ、大被害が起こるはずですよ。そういうところで何で無理してダムを作られるのか。本当にダムを作らなければ治水ができないわけではありませぬ。今まで皆さんがこういうところでこういう事をやったら治水は出来るといった様な話をしてますように、やはり河川改修、それから周りの状況を変化させる、そういうことで白川の治水というのは、十分に行っているのではないかなと思います。

それともう1つ、今度の報告書の中で私が不満だったのが、一番の集水面積を持つ阿蘇カルデラ内の方法、これをどうするかということが全く述べてありません。全く述べてないということはないかもしれませんが、あのカルデラ内に降る雨の処置、それから

たくさん土砂を流した土砂崩壊、こういう問題を解決してこそ初めて白川の治水は述べられるのではないかと思います。

他にたくさん作ってはいけない理由はありますけれども、今日はこのぐらいにして私の意見とさせていただきます。

○住民（16番）

皆さんこんにちは。熊本市東区から参りました●●と申します。

今日、私は環境問題を取りわけ大事にして頂きたいという視点で、立野ダム建設ではなく、河道の掘削や堰の改修や護岸工事などを進めることで、洪水防止を進めていただきたいということを切に願います。ダムによる洪水防止は、本当にたくさんの方がおっしゃったように限界があります。絶対に川はせききってはならないと本当に思います。川辺川ダムを私たちは中止させましたし、荒瀬ダムを撤去するというので、どれだけ地域住民の方々が喜んでおられるかということを私たちは大事に考えないといけないと思います。知人が坂本に住んでおりますけれども、荒瀬ダムで本当に大変な洪水が起こったということをお話しておりました。ダムが耐えきれなくなって開けるんですね。いっぱい水があるという状態で一気に上がってきましたということを切々と訴えられておりましたが、これまでお話をいっぱいされましたけれども、ダムで防止することには限界があります。穴あきダムであっても本当に流れを止めてしまいます。たくさん材木や大きな岩、火山灰が流れてきます。そして、色々問題が起こってくることは皆さんが述べられたとおりです。そして、皆さん、今年は荒瀬ダムを開けましたよね。そしたら八代海の青のりがものすごい長に成長したそうです。やはり栄養がある流量が十分に流れていくことによって下流の川がいかに健やかになるか、清流になるかということが示されたと思います。

私たちは、この熊本でダムの建設を中止させましたし、荒瀬ダムを日本全国で初めて撤去させました。これは未来の子供達にとってかけがえのない財産であり、自然と共に共生する人間のあり方として、理念として非常に大事な哲学ではないかというふうに思います。未来にどういふふうな資産を残していくのか、自然と共に生きていく、自然の恵みを十分受けながら、そして弊害を起こさないあり方ということ、荒瀬ダムの撤去を経験している訳ですけど、非常に大事な事だということを命を生ま出す私たちとしては未来に、子供達に何が一番財産であるかということ、肝に銘じないといけないのではないかと思います。先ほどたくさんの方がおっしゃいましたが、汚れた川を取り戻すということはとても出来ないことです。そして、そこには「阿蘇北向谷原生林」、国の天然記念物になっておりますけれども、これを守ろうではありませんか。やはり、豊かな自然、これを活かしてこそ何よりも大事な事だと思います。ですから、ダムを撤去させたよ、そして自然も守ったよ、これが子供達への大きな財産になると思います。そして、先ほどからダムを作っていくということを合意が得られていないということは皆さんがたくさんおっしゃいました。私もボランティアで龍田地域だとか、阿蘇だとか、大したことは出来なかったのですが、色々お話を聴いたり、へドロの除去を手伝いに行ったりしたのですが、龍田の人たちは立野ダムを作る準備をされていますがという話をしたら「とんでもない。」とおっしゃるんですね。皆さんご存じでもないし、合意を得られているということは全然無

いということを私は実感しました。住民討論集会をたくさん開いて、そして未来の子供達にどういうあり方がいいのか、財産をどういう風に熊本市として残していくのかということ、本当に今一番大事な時ではないかと思しますので、市長さんも知事さんも走らずにですね、本当に住民の意見を聴いて、民主的討論で決めて頂きたいと思います。以上です。

○住民（17番）

皆さんこんにちは。熊本市内に住んでおります●●と申します。

実は、この素案をやっと昨日の午後4時頃に手に入れまして、夜一生懸命読んで、朝も少し早く起きて読みました。皆さんおっしゃいましたけれども、手続き論としまして、行政行為として急がせるというのは、1番市民としては理解が出来ないところであります。ひとつ私が今回気になったのは、今回の水害では直接被害を受けませんでした、多くの知人が被害に遭いました。この一連の動きの中でですね、疑問符が付いたのは、水害が発生して、すぐに熊本の市長さんや、昨日、知事さんが議会でダム案に賛成するということが報道されていました。さらに議会でもダム推進決議が上げられる、こういう動き。行政も、一部反対もありますが議会でも立野ダム推進一色という形になっております。十分な検討のなされていない、そういった中でダムの推進発言があちこちから声が出る。私はとても違和感を覚えました。先ほどもどなかたおっしゃいましたが、表現は悪いですが、今回の事態は、いわゆる出来レースのような感じを受けたのは私一人ではないと思いました。今回の水害にかこつけて、千載一遇のチャンスということでダムの推進を図る、こういう動きがあるのではと思いました。穴あきダムということ自体、私も初めて耳にした訳であります、素案を見ると穴あきダムというのは島根の益田にあると書いてありました。しかし、立野の地域というのは火山灰がたくさん流れて、流木もたくさんあって、岩盤ももろい、こういうダムは本当に大丈夫なのか、こういうことについては大変不安を増すばかりでございます。十分な検証もされていない、こういうことで、更なる不安が膨らんできております。

2つめには、今回水害が発生してすぐに市内の中心部から中流域の菊陽とか大津を見て回りました。その前に、国土交通省の職員の方と一緒に中心部の白川右岸の堤防整備の現場を訪ねて、視察もして、そして説明も受けました。水害が起こるずっと前です。これが完成すると中心部の被害は防げるのではないかということで実は安心をしておりました。ところが今回の水害に合いました。ずっと見て回ったら、被害にあった所は、先ほど何人もおっしゃいましたが計画があるにもかかわらず予算の関係で改修が遅れている、そういう所から水が漏れているということで、改修の遅れが一番の大きな原因で、それがダムという形にすり変えられている、ここに大きな問題があると思います。この間の河川行政については大きな転換を迫られて参りました。一言で言えば、これまで国が決めて事業を進めるというやり方から住民参加型への転換。河川法が改正されて参加型になった。これは川辺川の問題あるいは八ッ場ダムの問題など、住民が国の政策に翻弄されてきた歴史、それと住民の運動があったからだと思います。パブコメでもダム案を反対する意見が圧倒的でありましたし、阿蘇にボランティアに行った時も、地元の人たちは発電用の堰を閉めたのが水害の原因ではなかったのかというようなお話をされていました。素案の中でも県の副知事がダム案を支持の前提ですが、県民に対する十分な説明責任を果たす、このことを

要望するというふうに付け加えられております。その為にも情報公開、幅広く住民や専門家の意見を聴き、住民討論集会など是非たくさんやって頂きたい。国が勝手に決めていく、そういうやり方が無いように是非お願いしたいと思います。どの様な形で河川改修を進めるのかを決めるのはそこに住む住民であるはずで、そこ事をしっかり考えないと、川辺川の2の舞になるのではないかと思います。被害住民は10年も待てません。立野ダムは是非白紙に戻して、そして新たな計画をしっかりと意見を聴いてやって下さい。

以上です。

○住民（18番）

こんにちは、熊本市内に住んでいる主婦の●●と申します。

私がこの会があるというのを知ったのは不覚にも昨日でした。そのため素案を読む時間もございませんで、今の説明を一生懸命聞きながらやってきました。なので稚拙な意見にはなるかと思いますが、普通の主婦の感覚としてどうなんだろうかと思ったことがたくさんありますので、今日、是非意見を述べさせて頂きたいと思ひましてこちらに立たせて頂きました。

まず、私は立野ダムということを知った時に、あの立野にダムを作るのかと非常にショックを覚えました。トロッコ列車が大好きで、あそこをゆっくりと走ってくれるあのトロッコで雄大な自然環境を楽しむということが、どれだけ私たちの心をなごませてくれるのかなというのが一番でございます。そういった環境が立野ダムによってどの様になってしまうのだろうか、今回の資料はまだ一部しか見ていませんが、全体としてのイメージがどの様になるのかをしっかりと示して欲しいと思いました。阿蘇という大自然が大好きなのですが、その中に果たしてあんな異物が必要なのだろうか、というのが第1の疑問でした。それでまず、大蘇ダムでしたでしょうか。先ほどもございましたが「ざるダム」、作ったけど役に立たないダムがあるという問題を何年前か前に問題になったと思います。その後、近頃は聞きませんが、私は立野にダムが出来たとしても似たような状況になるのではないかと懸念しております。地質図を見させて頂きまして、大蘇ダムがどこになるのかちょっと分かりかねたんですけど、もし地質が同じような場所に来るのであれば、大蘇ダムの二の舞になるということはある得ると思います。また、他のダムの例でも土砂がたまってその土砂を運び出すのに費用がかかる。いわゆるダムというのは作っただけでは済まなくて、そのあとの保守点検、それも今までの色々な報道によっては、最初に思っていたよりも非常に大変であるというような話が放送されていたこともございました。そういったことを考えますと、今回色々見積もりが出されておりますけれども、そのとおりに果たして進むのだろうか、これからまた私たちの血税が色々なことで削られていくのではないかと非常に懸念しております。そしてなにより一度無くなった自然は元には戻らないと何人の方が心配しておられました。あそこあたりに残っている天然の森林資源、あれは私たちが作ったものではありません。あれは自然が作ってきたものです。それも長い年月をかけて作ってきたのではないかと思います。そういったものを私たちが暮らしていくために果たして破壊していくことが許されるのだろうかと思います。それこそ先ほど世界遺産という話がありましたけれども、そういったものを大切にしながら阿蘇の観光資源と経済を考える方がおられれば、例えば豊肥線の関係の方々とか、観光産業に関

わっている方々の意見もちゃんと伺っていくべきだと思いますし、何より阿蘇で生活していらっしゃる方々が、あそこで立野ダムが出来ることでの様な生活環境になるかといったことを含めて考えるべきではないかと思ひます。

それから、河川というのは上流から下流、海まで関係しています。その全体の事を見て考えるべきではないかと思ひます。立野ダムで川を仕切った場合に海にどの様な影響があるのかということを含めて専門家の意見を伺うべきではないかと思ひます。色々な公共工事が行われていますが、実は私、脱原発をやっておりまして、福島第1があのような事故を起こしたことに非常に心を痛めております。何故あのような事故が起こったかといいますと、私たちは反対の意見をたくさん出しておりました。活断層もある。津波の影響もある。一旦事故が起こってしまえば放射能汚染の影響もあるというようなことは、すでに何度もパブリックコメントなどで意見を申し述べてきましたが、そういった反対派の意見が無視されてきたというところに最大の影響があったのではないかと思ひます。今回も、ああいった事故が起こってなかつた反対派の専門家の意見というのは大切にされませんが、今回まだ立野ダムは出来ておりませんので、是非反対されているの専門家の意見を十分に勘案した上で、後々、後悔がないようなことを是非やって頂きたいと思ひます。よろしくお願ひします。

「立野ダム建設事業の検証に係る検討報告書（素案）」に対する関係住民の意見聴取

日 時： 平成24年9月23日（日）14:00～15:30

場 所： 大津町 中央公民館（大会議室）

発表者： 意見発表者

○住民（1番）

大津市内に住んでおります●●と申します。市内で学習塾を経営しております。

私は、昨日、午前中の半日を使いまして、熊本市内でありました同じような住民発表会の方に行って参りました。最初から最後まで18人の方の意見を聞きまして、本当に私が思っていたことや言いたいことがたくさん出てきました。私の知らないこともたくさん出てきました。簡単に整理しても大体20～30ぐらいの論点について、国交省さんの方から出された素案がおかしいのではないかという意見がありました。是非この意見に関しては一つ一つ、今から時間をかけて検証して行って欲しいと思います。というのも、同じような素案を見ながら、地元の首長さんたちを集めた検討の場というのが3回開かれているわけですが、その3回の中で出てきている意見というのは本当に少ない。ところが、たった10日間で200ページの素案を読んだ市民の方々から出た意見はあんなにたくさんありました。だから、結局いかに検討の場というのは形だけのものだったのかという気がします。本当にダムが正当かどうかということに関しては、今から私達住民が一生懸命勉強しますので、その意見も一生懸命お聴き頂いて、対話しながら、その中で討論というか検討集会というものを作って頂いて、みんなで検討させてもらうということを是非させて欲しいと思います。

ダム本体だけでも900億円ですから、ざっと計算すると実は熊本県の熊本県民の負担分が1/3らしいですので、1人15,000円だそうです、県民一人ですね。うちは家族が5人おりますので70,000円ぐらいになります。こういうお金を出すんですから、このぐらいのことは言わせて欲しい、このぐらいの時間はかけさせて欲しいと思います。

それから、今日はどうしても言いたいことが一つありましたので、ここにまとめてお話しをさせて欲しいのですが、実は大津町の町民にとりまして、最大の宝というのが北向山原始林です。何故かという国天然記念物です。そういったものは他にはありません。実際、私は北向山を初めて見たのは、そうとは知らずに近くを通った時でした。ちょうどダム建設のために作られている長陽大橋、国道57号から南阿蘇の方への抜け道となっておりますので、抜け道があると思って行ってみたら、たまたま北向山が見えまして、最初に行った時にはちょっと息をのみました。私は元々、環境保全学科という大学の学科を出ておりますので、山のことは大好きでいろんな山をみておりましたけれども、とても美しい山です。美しいだけではなくて、僕が見たのは秋の始め頃でしたけれども、たくさんの周囲の木がモザイク模様のように黄色くなり変わったもの、赤くなり変わったもの、濃い緑、くすんだ緑、色んな木がモザイクのように盛り上がり、こんもりこんもりと出来上がっている大きな山の一連です。ああいったものは本当に見る機会は希ですし、私も色々調べましたけれども、都市近郊にこれだけの原始林があるというのは、日本でも本当に希

でありというふうを書いてあります。こういった貴重な宝、そして見るだけで息をのむようなあの美しさ、ああいったものをしっかり残していきたいというのが私の気持ちです。ダムではあまり影響がないというふうにと書いてありますけれども、よく読んでみますと「影響はできる限り回避するように努める」と書いてあります。どこにも影響が出ないとは書いてありませんし、他の14個の素案と比べても、ダム案は最も環境に影響がある計画案です。実際、高さ90mのダムができると、北向山の一番下のところからほぼ90mぐらいのところまでは、水に浸かるわけです。水に数日間浸かれば、原生林の木は枯れます。そして、後に枯れあがったものが残り、そこが崩落を始めます。北向山が原生林として残っているのは、角度がきつくて、人が入れないからであって、その急斜面の木が枯れれば、すぐに崩れ落ち始めるのは目に見えていると思います。そういったことになるのを私は見たくありません。

それから、もう一つ。ダムが出来るのは、北向山の一番下流側の端の方になりますけれども、そんなところに高さ90mの巨大なコンクリートの壁が出来るわけです。市内の水前寺公園でいえば、公園の脇の方に携帯の電波塔が建つようなものです。脇だから環境に影響はないだろうと言えるかどうかです。言えないと思います。あそこにダムを建てるとというのが元々があまりにも無謀です。もったいないです。ゴッホの向日葵の絵が1枚3億円という話ですけれども、だとすれば北向山の100ヘクタールの土地は、3兆円でしょうね。3兆円の価値のあるあの北向山を、何故ほんの数百億円の差でダム計画にしてしまい、ダムであの北向山をダメにしてしまうのか僕には理解できません。それに数百億円の差程度のことでしたら、是非他の案、堤防を作るとか、河川を掘り下げるとか輪中堤もそうですけれども、そういった計画案に地元の業者を使って頂いて、地元の川を愛する人達が、地元の川を守るために仕事をして、一生懸命住民とともに地域の環境を守っていく、そういう状況を作って欲しいと思います。

以上よろしく願いいたします。

○住民（2番）

みなさんこんにちは。大津町に住んでおります●●と申します。

私、7月12日の九州北部豪雨がございました。夜が少し明るくなってから、すぐ家を出て、白川を下流の中島方面から、上流に向かってずっと見て回りました。この7月12日ときの水害の時の白川の状況ですが、確かにものすごかった訳ですが、基本的に町内では堤防を嵩上げするとか、あるいは川底を掘り下げるとか、そうすれば、この前の7.12の水害にも耐えうると思ったところでした。しかし、白川の主要な護岸は、この7.12で崩壊をしてしまいました。ですから、この崩れた護岸が、単なる災害復旧で元のようにつくるだけでは、済まされない問題ではなかろうかと思えます。中流域では、こうした洪水に耐えうる河川整備計画が作られていないと私は聞いております。県の管轄だからでしょうか。この前の水害の復旧と同時に、河川整備計画をきちんと作り直して水害に耐えうる護岸整備を見直して頂きたい。また、私は町会議員もしておりますが、そうした中流域の護岸の整備計画について、なんら今まで説明を受けたこともありませんし、そのためにどのくらいお金がかかるかも聞いたことはありません。なにやらダムをつくった方が安上がりということらしいのですが、この前の水害で壊れたところを復旧する費用は、この対比の費用にもし

かしたら含まれているのではなかろうかと、そうだとしたら、とんでもないごまかしではないかと思うわけです。ダムの方が安上がりというのは、どうにもわかに信じがたいというわけです。結論として、ダムを前提とする中流域の河川整備をやるとしたら、まさに中流域の河川整備がお座なりにされかねないと私は危惧しているところであります。

また、穴あきダムは洪水調整に役立つと言われております。私も以前は、穴が空いてれば水はさらさら流れて何ら問題はないとうっかりそう思い込んでおりましたが、この問題を考えるにつれ、5mの穴が空いているそうですが、ここに流木や岩石が、もしダムの穴を塞いだら、この前の大雨で私の計算では3時間ほどでこのダムは満杯になってしまう訳です。となると、その後も大雨が続けば、上流から大雨と同時に、ダムの放流水が下流を襲うということになりかねないという心配もあります。穴あきダムは環境に優しいと言われておりますが、これはとても信用できません。

土砂の堆積はほとんどないと先ほど説明がありましたけど、阿蘇方面から急激に滝のように落ち込んだところに立野の峡谷はあるわけですけど、その下にダムができれば、そこで水勢が普段は弱まります。ということは、ダムの上流側にどんどん岩石、それから阿蘇の火山灰を含んだ泥が埋まって、要するに堆砂がどんどん進んでしまうのではなかろうかというのは、普通に考えれば明らかでなかろうかと思えます。国交省では以前はもっと堆砂量があるというふうに想定されていた時期があったらしいすけれども、今はほとんど影響はないというようなお話はどうも信じがたいと。もしそうなれば、火山灰を含んだ濁った水が1年中白川を濁してしまう訳です。2,3日前もちょっと雨が降っただけで白川は真っ黒く濁って、翌日は澄んだ水に変わってましたけど、こういう心配があるわけです。

それから、ダムによる安全性、環境への影響はまさに慎重に再検討されるべきだと私は思います。これから500億円もお金をかけるのであれば、現在の白川の護岸をもうちょっときちんと壊れないようなものにして頂きたい。

1点だけ最後に申し上げますが、国交省の以前のネットで調べたんですが、白川中流部の大津町や菊陽町のはん濫を防止することは下流側さらに大きな洪水を流下させ、負担をかけるというふうな文章が出ております。つまり、中流ははん濫を起こしてもかまわないというようにとらえられます。国交省はどういうふうに考えているのかと、非常に疑問に思ったところです。もちろん、熊本市で洪水が起きることは防がなければなりませんけど、国交省が河川整備計画をたてた下流側は基本的にはこの前の7.12にも持ちこたえたと聞いております。そういうことで、住民の意見を聴きながら、住民が納得がいく、そういう方法で進めて頂きたいと思えます。

終わります。

○住民 (3番)

皆さんこんにちは。大津町に住んでおります●●といたします。

こういう席に初めて立たせて頂きまして、こんな感じでやってるんだなということも初めて知りましてちょっとドギマギしてます。意見を言わせて頂ければと思います。

ダムの善し悪しというところについてはちょっとまだよく分かっていないところですけど、今、説明者の方から説明を受けたときにちょっと感じたことが一つあります。計画をする上で何処をベースにするかというところが大事な事だ言うことが良くわかりました。

今回のダムについては昭和28年の水害及び平成2年と昭和55年の水害を基本に計画をされているということで、そういう洪水対策ということで計画をしてあるということは解りました。しかし、今回の水害でその規模をどの程度上回っているのか下回っているのか、そこがベースになっていないということがまず感じたところです。ものを作るにあたってお金をかけるのだから基本をどこに置くかということで、例えば今年度以降の10年以内にダムができたとして、私たちの市民町民のレベルではこれで今回の規模の水害がきても絶対に安心なんだとか、このダムによって、もう私たちの感覚は今年の水害が基本になっているわけです。これの何倍の容量があるか、例えば1.5倍なのか2倍なのかということはもう感覚的に新しく作るんだから感じるんだと思います。と同時に、そうでないといけないのではないかと感じているところです。具体的に言いますと、昨年のもとの事故によって国の姿勢が問われたということは明々白々だと思いますし、それに対する対策については、即、専任の大臣が就任するぐらいの体制で国の根幹を守ろうとしています。規模は違いますが、私たちの根幹はやっぱり地元で生活していくというのが根幹なもので、その根幹をどうやって守っていくかということにしか基本的な意識は持っておりません。そこで一つ疑問に呈するところが、疑問というか入ってこない情報が幾つかあって、それはどういったことかといいますと、7月12日の未明に大雨が降って実際に水害が起きました。新聞報道等によると、熊本市及び県になるかもしれませんが情報の伝達がうまくいかず避難が遅れた。立野ダム工事事務所が熊本のあそこにできて何年経つか分からないですし、そこに数十人の職員の方がいらっしゃると思うんですけど、その当日どういう風な情報を県とか市に対して送って頂いて、避難及び対策というのをされてたのかなということの情報が、新聞や他の報道でも入ってこないもので、もしかして寝てたんじゃないかという風になります。それはなぜかというダムは必要だということをおっしゃってるのであれば、今の時点でどう対策しないといけないかというのはリアルタイムに、それこそ先ほどメールという言葉がでましたけれども、リアルタイムに対応ができてるとしております。その部分で、本当の気持ち、その真意、それと意気込み、それとどう地域を変えて行きたいかというのを、もすこし明確に分かりやすく、是非地元紙熊本新聞、購読者が増えるように情報をいっぱい流して頂ければと思っております。そういう単純な話で大変申し訳ないですけどもそういう疑問がありまして、流量調節という風な言葉も出ておりますけども、何処を基本において頂けるか、そこを重点的に今後検討して頂きたいと思っております。

以上です。

○住民（4番）

皆さんこんにちは。菊陽町の●●です。

今回関係住民の意見を聴いて頂くということは大変ありがたいと思います。しかし、この検討報告書は膨大な量で専門的な内容も多く含まれています。これは、9月11日に関係自治体の会議を開かれた後だと思いますが、やはり短期間にこの報告書を読み意見を述べることは一般の町民にとっては非常に困難です。また、専門的なことも多いですし、やはり、一般の私たちも理解できるようにしっかり時間をかけて頂きたいというのが私の一番の希望です。意見を聴く会を設けるのであれば、やはり聴く会の前にもう少し説明会をす

るとか、各関係のところに出かけて頂いて懇談するとかそういうものをしてほしいというのが第一希望です。また、7月12日の豪雨災害で菊陽町の農地や農業用施設、白川の護岸など甚大な被害を受けました。私は9月21日に町議会の産業建設業委員会で白川沿川の被害状況を視察して回りました。もちろん、当日もずっと回ったわけですが、菊陽町だけではなくて、大津町の農業用の取水口「頭首工」とも言いますが、そういうところも非常に被害が大きくて、あの大きな石がこれだけ流れてきたんだということで改めて深刻に受けとめた所です。白川の護岸が崩れ、川沿いの道路などが菊陽町ではガードレールごと流されています。菊陽町は農地の被害も65haありました。上流の取水口も被害が大きく速やかな復旧が必要です。今、立野ダム建設事業をどうするかという前に、今回被害が出ている白川護岸の復旧をどういうふうにやっていくのか、国・県としても力を入れて頂きたいし、どういう内容で、例えば浚渫するのか掘削するとか、そういう対応をどの様に計画していくのかが町民にとりましては一番の思いです。

報告書にもありましたように菊陽・大津の中流域は河川整備計画がありません。ですから、今、白川の治水のために浚渫・掘削を要望してもなかなか河川整備計画が無い中で、目処がたたないというのが現状ではないでしょうか。

私は、2番目に立野ダムの建設の検討の前に今できる河川整備計画を立てて頂き、やはり被害を受けている方、また白川沿川の農民の方、そしてお住まいの方は、10年後のことでは無くて台風や例えば来年の梅雨前までにそういう災害が起こらないようなことが何か出来ないかというのが一番の要望です。そこをくみ取って頂きたいというふうに思います。

また、県内の一級河川である球磨川では川辺川ダムが中止になっていますし、荒瀬ダムも撤去を始めています。この時期になぜダム建設なのかというのが疑問です。こういうところもしっかりと説明して頂きたいというふうに思っています。また、私も阿蘇の入口である立野ダム建設予定地を見に行きましたけれども、やはり、北向山の原始林の自然はすごいなと思いました。この報告書では影響が無いようにするというのでしたけれども本当に疑問だなと思っています。この自然を残して欲しいということです。

最後に、白川沿川の農地・農民の方・菊陽町民の方、白川の治水について今後町はどの様に考えていくのか、そのことが一番今関心をお持ちです。是非そういう状況にあり、また今度の災害の復興には多額のお金がかかるという中で、それを先に優先して欲しいという思いがあります。今回こういう場を設けて頂いたことは非常にありがたく思いますが、今後やはりじっくりと町民に解るように説明して頂きたいし、我々の意見もしっかり聴いて頂きたいということを要望いたします。

以上です。

○住民（5番）

こんにちは。大津町に住んでいます●●と申します。もう少しで83才になります。

ダムがどうなっていくのか、白川がどうなっていくのか非常に心配をしている訳です。その様な立場から話をしていきます。

18日に役場に行きまして膨大な素案を読みました。3時間かかりました。老眼鏡を持って行って、虫眼鏡を持って行かないといけない様な数値があつて、後半の方の小さな数字は捨てました。だけど、読んでこれはどうもおかしいなというところに行き当たりました

ので、そのことを含めて話をさせていただきます。

大津の白川の東の方にある町の温泉が出来ています。あそこに今度の7.12にも膨大な水が押しかけてきて温泉まで付き当たって、その後、どういふふうに応急措置をするのか毎日見ているわけでありましたが、ある程度済んだら放置してあります。先ほど●●さんがおっしゃいましたように、大雨の時に白川は大量の火山灰でいつも濁流です。赤茶色です。阿蘇のカルデラに堆積している火山灰と土砂、岩石が流れてきます。7.12ではこれまで経験したことのない様な大雨と気象庁は言うておりましたが、これが再び阿蘇を襲えば、立野ダムは火山灰のあるいは岩石、火山灰ですぐ埋まってしまうのではないかと心配しております。穴あきダムの穴は、阿蘇から流れてきた杉はまるで機械にかけたようにきれいに流木がはげていますが、流木だけではなくて根をしっかりと生やした大きな株が流れて来ます。これが穴あきダムにぶつかったら瞬時に塞いでしまうと思います。穴はまるごと埋まってしまう、穴あきダムは効果がなく、堆積した土砂で穴は埋まってしまうと思います。素案では、堆砂は水位の低下と共に流れ、元の状態に戻るといふふうには言っています。とんでもない発想だと思ひます。雨が上がって干上がったダムを見ると、水が流れた所だけは穴が空いていて流れますが、両側はすごい土砂が堆積してて大きなダンプカーがその土砂を運び出している訳です。穴あきダムは埋まってしまうと思うけれども、水が減ると同時に元の状態に回復するといふのは信じられないです。貯水と同時にダムの上流側では緩やかになってくると思ひます。緩やかになればそこまで流れてきた土砂や火山灰は堆積していきまひす。そこに積もった大量の火山灰、土砂と岩石で埋まったダムは、調整ダムの働きは無いと思ひます。大量の水を貯めたダムは白川下流の住民、環境に甚大な被害を与えらると思ひます。ダム建設は中止して河川改修でいくのが良いのではないのでしょうか。それは6.26の大水害で下通り・新市街は大量のヨナと泥で埋まりました。その後、廃土が出来ずに街を歩く人は、あの色と臭いで住民は大変な苦勞をしまひました。しかし今度の雨では安全でした。それは河川改修が出来たからです。反面、やっていなかった龍田陳内はご存じの様にヘリコプターで住民を救出しなくてははいけない様な状態でした。私はやはり河川改修に取り組むべきだと思ひます。立野ダムは工期が10年かかるとの事でありまひすが、その間再び、7.12クラスあるいはそれ以上の降雨が出来れば、先に述べたように白川流域の市町村の住民の命を奪ひ財産を奪ひ自然を破壊しとんでもないことが起こる。立野ダムは中止して、白川改修に取り組んで欲しいと思ひます。私が生きてる間に何とか白川が安全に流れるように、ダムを造らなくてすむようにやって欲しいと思ひます。

以上です。

○住民（6番）

こんにちは。菊池から来ました●●と申します。

私は大矢野町出身です。私は去年の2010年の正月の1月4日だったと思ひます。富山県の富山湾のことについてテレビでやっていまひました。海に魚を捕る網を張っているのですが、漁師の人達が張った網を1日から2日後に上げたら5,6キロのヒラメの骨ばかりがかかっている。網に骨ばかり。それを見て私はびっくりしまひました。それで何でかといへば、黒部ダムの土砂を排砂して、その土砂が海に全部流れ込んで、土砂と一緒に腐葉土といっ

落ち葉の腐ったものが富山湾に流れて、それが富山湾に堆積して、そこに1cmぐらいのエビがものすごい発生しているらしいです。その1cmの虫が網にかかったヒラメをみんな食べてしまう。だからそのヒラメが全部骨ばかり上がってくる。それが一匹二匹ではなく、ほとんどその網にかかたものは骨ばかりです。富山湾というのは日本海だから、急に深くなっているから、遠浅の所にそれが溜まって食べていくと。その代わり、余分に廃砂したやつは日本海にみんな流れていくから一つも影響はないということです。ところが有明海だと、とんでもないことになると思います。あさが取れる取れないの問題ではないです。口之津の入口までおかしくなってしまう。たらいの中にヘドロを流しているのと一緒です。一番問題なのは排砂なんて関係なく、一番問題なのは落ち葉です。阿蘇の外輪山の中にある落ち葉が皆あそこに流れていく。堆肥となって流れ、それに海の中で虫がわいてしまう。小さな1cmぐらいのエビ。だからダムは絶対造ったら駄目です。有明海を捨てるつもりで造るのあればやって下さい。国で有明海をどうやって再生するのかをやっていますが、今でさえ諫早湾でおかしくなっています。それと今、オーシャンアローかなんかで水をジェット噴射で推進させて走る船がありますが、浅い有明海の熊本港のヘドロを走る度にかき混ぜられているから、天草まで黄色い海になっています。だからあんな船は皆潰してしまえば良いと思います。プロペラの船で走るのが丁度良い。材木などを拾って走る船も皆それであります。だから海が汚れてしまうのです。あんな船は本当は全て捨てなければいけません。だから今でさえそのような状態で、今度は上からどんどん落ち葉が流れてきたらとんでもないことになります。落ち葉は春と秋に落ちます。常緑樹は春、落葉樹は秋、それが全てあそこに溜まってしまいます。だから砂はかわいいものです。砂よりも一番大事なのは落ち葉。落ち葉をあそこで堆肥を作って有明海に流したら有明海はどうなりますか。とんでもないことを考えている。だから、即刻止めて下さい。それをやらないと大変ですよ。これを本当に国の人たちが知っているのならば大きな罪人です。終わります。

○住民（7番）

皆さんこんにちは。私は熊本市渡鹿7丁目から来ました。龍神橋の近くに住んでいます●●と申します。

結論はダムは作らないで欲しいということです。私が住んでいる近くの小磯橋もそうですが龍神橋のところも堤防が10mか20mわかりませんが立派な堤防の部分が橋の際のところと途切れているという感じがします。龍神橋の付け根のところですね。たぶんそこから水があふれ出しました。それで大井手の方に流れ込んだのではと思っています。実際に見に行ったわけではないですけど、たぶん熊本市内で水があふれた場所は、途切れたところから水が溢れて、道路が冠水したのではないかと感じています。ダムを作るよりも河川改修で堤防をきちんと作り、どこからも漏れないように、完全には不可能かも知れませんが、極力漏れないよう作って頂ければそれが一番安くあがるのかなと思います。先ほど費用が一番安上がりということですが冗談ではありません。一番安上がりだから立野ダムを作りますという風な発想でダム作ってもらっては非常に困ります。世界の阿蘇といてるところにたかが立野ダムを、冗談ではないですよ。そんなもの作ってもらっても困ります。金は関係無いと思うのです。金が安くあがるからダムを作るという発想自体が

おかしいと思うのですが。みなさんいかがでしょうか。安ければいいものじゃないでしょう。まったくこれは腹が立つ。だいたい何を考えているだとか私は考えられないですね。今日は私はここで発言するつもりで来たわけじゃないですけど、やはり何か一言言いたい。結論は絶対に作ってはいけません。世界の阿蘇です。なんて言ったら世界の阿蘇です。あそこにダムを作ったら世界の笑われ者ですよ。日本人は何をを考えているんだ。熊本県民の経済普及効果なんてないんじゃないですか。よそから来たゼネコンに心もないやり方でダムを作られるのが関の山じゃないですか。地元の方は何も潤わないのではないですか。違いますか。どうせなら堤防を作るなどの河川改修とかで潤ってもらった方がいいなと思っております。

以上です。終わります。

○住民（8番）

こんにちは。大津町在住の●●といたします。

実は私、傍聴席でご発言された方と同じ席に座っておりまして、こちらの資料を検討させて頂く中で疑問を感じたものですから、それを聞くにはどうしたら良いですかとお尋ねしたら発言して下さいということになりまして発言者席に座ることになりました。やはりルールとしては傍聴席の方の不規則発言は慎んで、きちんと発表者席に移られた方が良いかと思えます。私はそうしました。

単純な疑問を感じたのでお尋ねしたいのですが、基準地点の代継橋で昭和28年6月26日の洪水で、その時の量が3,400m³/sを3,000m³/sに落とすということですよ。これは概ね150年に1度の確率でしか発生しないことだということです。それで、将来的に対応するには膨大な事業費と時間を要するということなのです。6.26水害の時の流量は3,400m³/sだということです。それを、洪水調節では3,000m³/sにしたいということなのです。しかしそれは膨大な事業費と時間を要しますということで、それで何を考えられたかということ、近年発生した昭和55年と平成2年の洪水の時の量にあわせましてということて2,300m³/sの流量を2,000m³/sに低減させますということです。これだと、今後20～30年の整備目標として、近年発生したということで、膨大な事業費と時間はかからないので、とりあえずこれにあわせて洪水調節をしますという発想なのですから、ダム建設そのものが段階的な整備ができるのかということに疑問に感じました。やはり、最大リスクは150年に1度の確率ですが、実際に起こった自然現象にあわせるには3,400という数値が事実あった数字ですね。それと、先ほどの●●さんの発言で、7.12の時の流量はどのくらいあったのかについて我々知らされていない数字ですが、この数値は是非しりたいと思っております。そして、やはり防災・減災を目指すのであれば最大リスクを想定すべきだと思います。想定しないでやるから想定外の事が起きるわけで、防災・減災に費用対効果を使うという発想自体が貧困であるし間違っていると思います。何のためにやるのだという理念をはっきり持つべきだと思います。例えば費用がどれだけかかろうが、何がしたいかという事です。費用は安く抑えて適当に程々のことをやりたいというような、今までの様な日本社会から脱皮しましょうよ。何回同じ事繰り返すのですか。私は例えどの様な費用がかかろうともやらなければならない事であれば全ての事業をストップしてでも、立野ダム1つを作れば良いと思います。私の考えはその様に思っております。本当に大事な事は、費

用対効果では無く、必要なものは必要な時点で作るということで、恐らく今の時点では2,300を目標にやらないと費用があまりにも膨大にかかりすぎるという問題が発生するのだと思います。そういうごまかしは止めた方が良いでしょう。

以上です。ありがとうございました。

「立野ダム建設事業の検証に係る検討報告書（素案）」に対する関係住民の意見聴取

日 時： 平成24年9月24日（月）18:30～20:30

場 所： 南阿蘇村 南阿蘇村役場久木野庁舎（集会ホール）

発表者： 意見発表者

○住民（1番）

●●といます。素案に対する意見を述べたいと思います。

1つ目は素案に対する意見を述べるということですが期間が非常に短かったです。私が知ったのは20日の日です。だから20日の日に友人からメールで報告書を頂いて3分の1ぐらいしか読んでいないです。こういうやり方は今後改めて頂きたいというのが第1です。河川事業というのは住民の意見を十分に聞かなければならないものですから、私が思うのは少し余裕をもってやる必要があるのではないかと思います。住民参加の精神を貫く必要があるのではないかと思います。

2つ目の意見としては、7月12日の豪雨災害についてですけれども、特に熊本市の白川が各地で氾濫をしました。私も熊本に長く住んでおりましたので白川の河川改修が遅れていたのは十分承知しておりましたが今回の7.12の洪水というのは、浸水被害を受けたところはほとんど未改修のところであった訳です。県の区間や直轄区間も含めて。そういうことで河川改修をやっていないというところに大きな問題があったのではないかと思います。だから素案では現行の計画を容認しておりますけど、ダムより早く河川改修を優先させる。このことが求められているのではないのでしょうか。報告がありましたようにダムを作るのに10年かかる、それまでの間、白川の河川改修はやらないのかという問題が出てくると思いますので、やはり河川改修をきちんとやるというのが重要ではないかと思います。

3つ目に、立野ダムは阿蘇の玄関口である。若いときから南郷谷によく行っていました。11年前に来てみてびっくりしたが、立野溪谷を含めて阿蘇くじゅう国立公園であり、そのうちの36ヘクタールという膨大な自然が水没するということになる訳です。以前は戸下温泉というところがあって、そこに行くと、非常に緑豊かで、北向山の自然林は非常にほっとするところであった訳です。それが水没する訳です。立野ダムの事業区域は阿蘇くじゅう国立公園の特別保護区に指定されている訳です。素案では、文化庁や環境省と協議をすとなっておりまして、文化財保護法や国立公園法に照らし合わせても明らかに問題があるのではないかと思います。国が決めた法律を破るということはまかりならないと思います。そういう意味では今度のダム建設は、そういう観点からも私はダムに頼らない河川改修を重視すべきだと思います。

素案では、ダムを構築するには十分な強度と岩盤特性を有していると書いてあります。しかし、皆さん、立野ダムの予定地を見てもらえれば、非常に多くの溶岩の割れ目があります。この割れ目から漏水することは明らかであるし、崩壊することは明らかであります。そういう意味では、いつも崩れ落ちているという状態の中で立野ダムを作るということが

本当にいいのか。もしも出来上がって、今度のような大雨が降った場合には土砂や流木がダムに詰まって崩壊する危険性が非常にあると思います。そうなってきますと、大津から菊陽から熊本市に至る河川が大洪水を起こすということは目に見えて明らかではないでしょうか。ダムを作る下には布田川・日奈久断層帯というものがあります。この断層帯は非常に活発に動くと言われております。ダムの真下に断層帯があるというのは大きな危険性があるのではということをはっきりと明らかにするべきであります。非常に危険な所に作るということになります。

素案によると、ダム仮排水路トンネルの工事に着手されていないにもかかわらず総事業費が917億円ということで膨大にふくれあがっていますが、川辺川ダムの建設費用が2倍にも3倍にもなったということは新聞でも報じられているわけです。果たしてこれだけで済むのか、おそらく1,000億円以上になるのではないかと。県が3割負担するということになるわけですが、県民の1人当たりでみますと15,000円使うことになるわけですが、そのような費用を使っていいものかという問題もありますし、白川の改修を常にやっていくというのが大切ではないかというふうに思っております。

阿蘇は世界に誇る阿蘇カルデラではないでしょうか。ダムは必要ありません。ダムを作って栄えた村はありません。地域住民の意見を十分に聴いて、ダムに頼らない治水事業をやるのが非常に大切ではないでしょうかということを最後に述べて私の意見とさせていただきます

○住民（2番）

●●といます。私も立野ダム建設反対の立場から意見を述べます。

立野ダムが費用対効果で有利とされていますが、費用の中にダムの撤去費用が含まれているのか疑問があります。コンクリートにも寿命があります。荒瀬ダムについても撤去となりました。撤去費用も含まない費用対効果の算出であれば有利といえないのではないかと思います。

立野ダムは穴あきダムといっても必ず白川の水質汚濁を招くと考えます。流域と有明海の農漁業と観光に多大な悪影響を及ぼします。川辺川ダムにかかわる収容委員会、事業認定取り消し訴訟を傍聴して、河川の流れをせき止めることによる環境への悪影響を知りました。たとえ少量でも流れを滞留させると、土砂だけでなく、流木等の有機物やヒ素など自然界にある重金属、無機物が混じり、年月を経て濃縮しヘドロ化すると専門家は指摘しました。立野ダムの穴は川底の一番低いところよりも高くなっております。常時滞留部分が生じます。確砂の質は集水域の地質、植生や河川毎に千差万別であり、流れの質を問題にしたいと思えます。

球磨川の市房ダム、荒瀬ダムの上下流の住民は、当初、国・県の説明では「水害がなくなると言われた。」と言っています。しかし結果は逆でした。ダム建設以前よりも浸水被害に遭っておられます。市房ダム建設以前は膝下ぐらいまでしかなかったけど、建設後は2階の天井までくるような水位だったそうです。

最後に、今日の意見の発表にあたっての留意事項という紙を頂きましたが、その中に「頂いたご意見については個別にお答えすることは出来ません。」と書いてあります。このよ

うな問題では双方向性が大事だと思います。川辺川ダム問題を考える住民討論集会のような集会の開催を要望します。

終わります。

○住民（3番）

南阿蘇の●●と申します。

今の方がお尋ねになたように、お尋ねしたことに對してその場で回答をもらわないと何かなんだか解らないですね。私もこういう形で意見を述べるとおぼろげに何か資料を持っておりませんが、こちらから発言したことに対して聞いただけでは何も意味は無いと思います。それはそれで置いておいて、貯水量に関してまして、JRの線路はそのままの残るのでしょうか？そのくらいはお答えして頂けますよね。JRの鉄道より水面は下ですよ。私も小さい地図ではありますが、鉄道の所で線を引いてみたら水が溜まる所が21万m²しかない訳です。これだけの膨大な水は溜まるのかを今は返答はないでしょうけど一つお尋ねしたいと。それと、もともとロックフィルダムと聞いていたが、下だけがロックフィルダムなのですか。これも今は返事はないでしょうけど。この前の水害の時に流木が色々な所の橋に引っかかりました。その為に両側の川の蛇行しているところは全部田畑がやられています。土砂が溜まって。そのような状態の時に、一番下に放流口があるということですが、水が出ていくのでしょうか？少しずつ流すから意味があるのであって、オーバーしてしまったらダムで止めている意味はないです。ということをおぼろげに申したいと思いません。

この前、私の友達が龍田で被害にあっておりますので、特にそのあたりはどの様になっているのとお尋ねしたいと思っております。貯水量が私の計算とは大幅に違います。これが何故そんなに違うのかということをおぼろげに知りたいです。桁が違います。

ということで私は終わります。

○住民（4番）

南阿蘇村の久石に在住しております●●と申します。よろしくおぼろげに願います。

すでに様々なご意見がでて、それと重なるところがたくさんあります。

まず1点、今回の7.12洪水に関しましても地域の河川工事によって十分まかなえるということですね、大きく自然を壊すよりも少しずつ、技術・人間の知恵でもって改修していけば十分な効果が得られるという大きな選択肢があるにもかかわらず、何十年前に出た話、それを曲げることが出来ない行政の、官僚の典型的な発想でもって推し進めるというような、しかも今回は洪水に引き続きということ。あまり行政に関して言うと問題があるのでやめておきます。

阿蘇の立場で発言させていただきます。まず国立公園でもあり、そして現在日本ジオパークに認定され、現在世界ジオパークを目指して地域でもってがんばっております。地域の住民の皆さん、そして地域の有識者が一丸となって、地域の行政も含めて一丸となって、地域の自然・人の営みというものを誇れるよう現在努力しております。それに対して、このような事業というのは非常に水を差すようなことでもあります。しかもこのような工事が進んでしまえば、さらにその先にある目標、世界遺産登録、その夢は全く途絶えてしま

うことは確実です。ですので、ただ単に数字のうえで一応費用対効果というのはできていますけど、その中に入っていない数字、阿蘇というのは世界中から観光で人が集まっている。そういう隠れた数字で表れない価値というものも見直すべきであると思います。

それからもう一点は、地質・地形的なことでもあります。私自身、地質学を研究しております。こちらのいろんな調査結果が出ておりますが、まず一点、左岸側は断層系がございます。断層系という「系」がつくというのはつまり1本ではないということです。断層というのは非常に複雑な構造をしておりまして、一本筋が地質上、非常に縮尺の大きい地質図上で一本線を引いて、そこに一本あるだけではなく、様々な枝の断層もございます。それから破碎帯もございます。しかも断層というのは200m、300mちょっと離れただけで、ただの亀裂から破碎帯、非常にめまぐるしく変わります。ですのでそういったことに対応した調査をしているのかどうか、それははなはだ疑問に感じます。具体的な調査結果を公開していないのでそれを見ることは出来ませんが、それに関しては非常に疑問に感じます。また右岸側は、さきほども話があったように立野溶岩という非常に柱状節理が発達したものがございます。土木工学的な計算をして大丈夫だという話かもしれませんが。しかしながら、溶岩というのは地層のように1枚でどこまでも続くものではありません。しかも立野というのはカルデラの切れ目であって、過去に洪水が起きて谷が出来て、その中を溶岩が埋めたという非常に複雑な履歴を持っていますので、どこに何があるかということに関しては、精密な調査をしないとわかりません。しかも、溶岩と溶岩の間、溶岩と基盤の間は、不連続面であり力学的に脆弱になりますので、そうしたことも含めて果たして調査しているのかということ是非常に疑問に思います。ただ単に表面的に言い訳ができるような問題だけを取り上げて、それがクリアできれば全てOKというような発想をしているのではないかということに非常に危惧を感じています。

また、先ほどの話にもありますように、穴あきダムではありますけれど、先日の大雨でもかなり動きましたけど、巨石や流木がすぐに詰まってしまってダムが満杯になってしまうことは容易に推測されます。その上力学的に果たして耐えるかどうか、周辺の岩盤も含めて。もし決壊が起これば、それこそ、健磐龍命（タケイワタツノミコト）が外輪山を蹴破った、そこまでの規模ではありませんけれども、おそらく過去に溶岩が立野を埋めてダムができ、それが決壊し、その結果、熊本市の地層というのは非常に大きな家ほどのある、一抱えのある岩石が熊本市の足下にはたくさん転がっています。そういった場所であるということを認識した上での再調査して頂きたい。報告書を見ますと他の河川と平均してとか、他の河川の状況を分析してというような書き方がされていますけども、立野というのは非常に特殊な場所であるということ踏まえた上でゼロから出発して、どうしたら調査をしたらいいかということをよく考えて調査して頂きたい。その上で本当に大丈夫であれば、そのデータをもって我々に報告して頂ければ、聞く耳は持つという言い方は変ですけど、聞きたいのですけれども、今の状況ですととても今の雰囲気のように良いデータだけを並べて説得されているというようなものは拭えないと思います。

よろしく申し上げます。

フリガナ

① 氏名

② 住所

③ 電話番号又はメールアドレス

④ 職業

⑤ 年齢

⑥ 性別

意見該当箇所

頁 行

⑦ ご意見は項目ごとに200文字以内で記載してください。
(ご意見が200字を超える場合は、併せてその内容の要旨(200字以内)も記載してください。)

全
体

阿蘇の山は世界一と私達熊本県人の誇りです。
特に北向山は鹿や猿が住む原生林だから大切に保
つては行かないと教わりました。
私、阿蘇はどこへ行っても、癒れがすと癒ける本当に素晴
しいお山です。
計画中の立野畑について、もし畑が建設されたら原生林の根元
を水漬けにしてしまい、北向山を破壊します。1度死した山
元へおどすことは不可能です。建設予定の岩盤は、いっしょに崩
壊しています。そこにコンクリートで固めて強化することですが、一
時的にはいいかもしれませんが、人の力で自然を制御しようといふ
とは、自然を冒涇することです。必ず自然からお仕置きを受けず。
私達は自然の恵みを受けて生きています。自然の恵みが
豊かに受けられる為には、自然に対して、人はちよとお手伝す
ることはありません。やさしい気持ちで生きとし生ける物に対
して、山川計画を立ててください。

「立野ダム建設事業の検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

立野ダム建設事業の検証に係る検討報告書（素案）に対する意見募集について

003

フリガナ	[REDACTED]				
① 氏 名	[REDACTED]				
② 住 所	[REDACTED]				
③電話番号又はメールアドレス	[REDACTED]				
④ 職 業	無職	⑤年齢	64	⑥性別	男
意見該当箇所	⑦ご意見は項目ごとに200文字以内で記載してください。 (ご意見が200字を越える場合は、併せてその内容の要旨(200字以内)も記載してください。)				
頁	行	<p>まず、先にダムありきで、形式的な意見募集としないことを望む。</p> <p>近年、ダムの有益性については疑問符が多くなっている。取り壊すダムも出ている。最大の問題は自然破壊、自然を人為的に変えようとするところにある。できる限り自然を壊さないことを最大公約数にすべき。立野ダムの建設に多額のお金を使うより河川の改修、掘削、遊水池の設置を。</p>			

「立野ダム建設事業の検証に係る検討に関する意見募集」事務局宛

立野ダム建設事業の検証に係る検討報告書(素案)に対する意見募集について

004

フリガナ		[Redacted]				
①氏名		[Redacted]				
②住所		[Redacted]				
③電話番号又はメールアドレス		[Redacted]				
④職業		建築士	⑤年齢	69	⑥性別	男
意見該当箇所		⑦ご意見は項目ごとに200文字以内で記載してください。 (ご意見が200字を越える場合は、併せてその内容の要旨(200字以内)も記載してください。)				
頁	行	<p>ダムありす。向川 護岸、河川 整備計画を、住民と相談して 早急にする事。</p> <p>ダムの安全確保は不明確 600億円の仕事を住民への 説明責任も果たさず、ダムありき で進めよう事は納得できず。</p> <p>中流より、特に予定地上流 は地形的にも、何う大破 たり種か予想され、自前下流の 水のたどりか発生し、とりかえし のつたりの環境破壊になる。</p>				

「立野ダム建設事業に係る検討に関する調査事業」事務局 宛

立野ダム建設事業に係る検討報告書(案)に対する意見書について

005

フリガナ		[Redacted]			
① 氏名		[Redacted]			
② 住所		[Redacted]			
③ 電話番号又はメールアドレス		[Redacted]			
④ 職業		⑤ 年齢	50	⑥ 性別	男
意見該当箇所		⑦ ご意見は、欄ごとに200文字以内で記載してください。 (2欄にわたる場合は、併せてその内容の要旨(200字以内)も記載してください。)			
頁	行				
全体		<p>資料7月12日の水害の規模は凄く、^記立野ダムが完成して、同規模の水害(大雨)発生した場合、下流域の30ミ ンに示して下さい。 又、同様の雨量の何倍の容量が立野ダムに 蓄えられるか、示して下さい。</p> <p>立野ダム事務所にて、長年、熊本県に設けられた 水防委員及び、流域の専門家 と行政側、気象庁と連携を取り、市民 に対する避難に対する行動を取ったのか、示して下さい。</p>			

立野ダム建設事業の検証に係る検討報告書(素案)の問題点を、思いつくまま列記しました。200ページ以上の膨大な資料で、事務局でも十分読めておりません。急な作成であったため、おかしな表現もあるかと思いますが、ご自分の言葉で書かれています。意見募集を書かれる場合、「意見該当箇所」のページは「全体」と書いてもよいかと思えます。

●素案を公表し、1週間足らずで「意見を聞く場」の募集を締め切るとは、住民に開かれた河川行政とは言えない。200ページ以上の膨大な資料を、関係役場等のロビーで立ったまま閲覧し、意見を書くということは不可能です。また意見の書式も指定されており、一般住民が非常に書きづらい形式になっています。住民への周知徹底も全く不十分で、「住民参加」の河川法の精神に背くものだと言えます。

●本年7月12日、熊本県内は広範囲において「これまでに経験したことのないような大雨」に見舞われ、白川は各地で氾濫し、流域の住宅地や農地等が甚大な被害を受けました。今回の7・12洪水で浸水被害を受けた箇所は、河川改修が未完成の箇所ばかりです。素案では、現行の河川整備計画を容認していますが、ダムより河川改修を優先させるべきです。

●白川中流域(大津町、菊陽町)では河道の流下能力が低いため、白川は至る所で氾濫しました。素案によると、現行の河川整備計画では、改修工事のもととなる「整備計画」が中流域で未策定です。中流域では河道の掘削、堰の改修などを実施し、河道の流下能力を高めることが不可欠です。

●最も大きな被害を受けた阿蘇市では、河道の整備が済んだ地区でも黒川は至る所で氾濫しました。黒川遊水地群の整備をすすめるほかにも、できるだけ雨水の河川への流出を抑制する方策が必要です。素案によると、現行の河川整備計画ではこのような方策が盛り込まれていません。

●このように白川上中流域をみると、立野ダムを含む現行の河川整備計画では7・12洪水には対処できないことが明らかになります。素案では、現行の河川整備計画を容認していますが、立野ダムに頼れば頼るだけ、これまで以上に河川改修などに予算が回らないことになるのは明白です。

●素案によると、立野ダムの洪水を貯める容量は、想定した洪水を調節する分しかありません。想定以上の洪水では立野ダム湖は満水になり、洪水調節不能となります。ゲートのない「穴あきダム(流水型ダム)」である立野ダムが洪水調節をする場合も、洪水調節する時期と、洪水のピーク時が一致するとは限らず、むしろ一致しない場合(洪水調節に役に立たない場合)が多いと考えられます。

●洪水時の白川の水は大量の火山灰を含みます。白川にダムを造っても、流下してきた土砂や岩石・火山灰で早い時期に埋まってしまふことが考えられます。国土交通省は素案で、「立野ダムの計画堆砂量は60万m³と想定している。水位の低下とともに貯水池内に堆積した土砂はダム下流へ流下し、もとの川床の状態に戻ると考えられる」としている。しかし、ダムへの堆砂は、ダムサイトのはるか上流の、ダム湖の上流端付近、つまり土砂を含んだ洪水の流速が低下する場所に発生します。それは日本全国、どのダムでもいえることです。ダムに穴が空いていようが、それは変わらないはずで

●国土交通省は素案で、立野ダムの堆砂計画の点検では松原ダム、下笠ダム、緑川ダムなど近傍の5ダムと比較して検討したとしているが、立野ダムの集水域は阿蘇カルデラであり、近傍のダムとは地質、地形が全く異なっています。比較するならば、同じ阿蘇地区にある水のたまらない大蘇ダムと比較すべきである。

●素案では、立野ダムの工期は10年としていますが、川辺川ダムなど他のダムの例を考えると工期が延びることは容易に考えられ、その間、治水効果は全く期待できません。ダム以外の治水対策では、実施した工事から順に治水効果が期待でき、その方が大変有利である。

●立野ダムは、阿蘇の玄関口である立野峡谷を含む、阿蘇くじゅう国立公園の36ヘクタールもの広大な自然を水没させます。水没する北向谷（きたむきだに）原始林は国指定の天然記念物です。また、立野ダム事業区域は阿蘇くじゅう国立公園の特別保護地区に指定されています。素案では、文化庁や環境省と協議を行うとしているが、文化財保護法や国立公園法に照らし合わせると、明らかに問題がある。

●素案では、立野ダムは環境に十分配慮しているとしているが、試験湛水の期間は、国指定の天然記念物であり、国立公園の特別保護地区に指定されている北向谷原始林が長期間水没することは明らかではないか。

●素案では、立野ダムは環境に十分配慮しているとしているが、穴あきダムは洪水時に大量の土砂をため込み、周辺の山林を荒し、周辺の環境に大きなダメージを与えます。洪水が終わった後も穴あきダムであるために、たまった土砂が露出し、今度はたまった土砂が流れ出し、長期間下流の白川を濁します。このように、立野ダムの環境に与える悪影響も大いに懸念されます。

●素案では、「立野ダムでは模型実験で、流木による放流施設の閉塞は発生しない。放流施設（穴）の呑口部にスクリーンを設置する」としているが、今回の7.12洪水では、たとえば大津町の下井手取水堰では、堰の柱と柱の間がすべて流木で詰まっていた。スクリーンなどを設置すれば、流木で詰まってしまうことは明らかである。

●素案では「ダムを構築するには十分な強度と岩盤特性を有している」としているが、立野ダム予定地の地盤は、阿蘇火山から流下してきた立野溶岩で割れ目が非常に多く、ダムができれば地すべりや漏水の危険性があります。地震発生確率の高い活断層「布田川・日奈久断層帯」も直下を通っています。立野ダムが完成すれば、熊本市など下流域は大きな危険にさらされます。

●阿蘇カルデラの草原は、九州の水がめの役割をしています。草原が荒廃すると、山崩れなど土砂災害を起こしやすくなります。阿蘇の草原を保全するとともに、荒れた人工林の間伐を進めると、流域の保水力は高まり、土砂災害を防止することもできます。このような方策は素案には述べてありません。

●素案によると、立野ダムは、ダム本体工事や仮排水路工事に着手されていないにもかかわらず、総事業費は当初予算の2倍以上の917億円に膨れ上がりました。河川法によると、立野ダムの総事業費の3割を熊本県が負担することになります。熊本県の負担額は917億円の3割、約275億円ということになります。県民1人あたり約15000円を立野ダムに負担することになります。川辺川ダムなどの例を考えるとさらに事業費が膨らむことが容易に考えられます。

あなたの意見を書いてください！

006

国土交通省は、立野ダムに関する住民の意見を募集しています。立野ダムに関するあなたの率直な意見を書いてください。この用紙に必要事項を記入のうえ、国土交通省にお送りください！

◇意見の提出先(平成24年9月28日(金)18時必着)

国土交通省九州地方整備局河川計画課「立野ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局宛

①電子メールの場合：tatenodam-kyusyu@qsr.mlit.go.jp

②郵送の場合：〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目10番7号 福岡第二合同庁舎

③ファックスの場合：092-476-3470

(件名に「立野ダム建設事業の検証に係る検討報告書(素案)に関する意見」と明記して下さい)

- 素案を見る機会もないし、手段もない。従って、素案のどこにどのような意見を述べよということもできない。
- しかし、かねがね、ダム建設の対象地域付近を通るたびに、ここはせ白川の清流をせき止め、周囲の環境・景観を破壊してまで巨大な構造物を造る必要があるのか、全く分からなからぬ。
- あの辺りは世界遺産にも登録されようとしている阿蘇の重要な部分を担っている地域である。それを無視することは許されない。
- ダム建設の目的があるとしてもそれは、それは治水以外に考えられないか。仮に平成24年7月12日時点で完成していたとしても、熊本市の水害は防ぎ得たのか。
- 荒瀬ダム撤去で問題になったように、堆積する土砂の処理をどうするつもりか。膨大な火山灰土が累積するのは明らかである。その対策も何ひとつない。あんなに使用済核燃料の安全な処理方法も見つからない状態と同じではないか。
- 国土交通省は十年ほど前、公共工事に関してはいわゆるパブリックコメントも尊重するよう方針を打ち出したように記憶しているが、立野ダムに関しては十分その機会も期間もあったのに、全くその作業をサポートして来ぬ。今回いきなり素案を出し、意見を聴取した形にして、手続きを踏んだように形だけ整えるのは許しがたい暴挙である。

「立野ダム建設事業の検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

立野ダム建設事業の検証に係る検討報告書(素案)に対する意見募集について

007

フリガナ		[REDACTED]			
① 氏名	[REDACTED]				
② 住所	[REDACTED]				
③ 電話番号又はメールアドレス	[REDACTED]				
④ 職業	新岡配達と農業	⑤ 年齢	53才	⑥ 性別	男
意見該当箇所		⑦ ご意見は項目ごとに200文字以内で記載してください。 (ご意見が200字を越える場合は、併せてその内容の要旨(200字以内)も記載してください。)			
頁	行	<p>川辺川ダムが中止されて、日本一の清流が守られるようになってほ。としている時に今度は白川をコンクリートで固める工事をなさろうとされています。美しい山々の阿蘇と、白川の流れを子孫に残しましょう。</p> <p>白川の洪水対策は山林保護と治水地拡大をする方向にして下さい。大自然と共生することで、やすらぎと癒しの場所となります。美しい場所、緑にやすらぐ場所、川の流れる風景も良いものです。</p> <p>人工的的巨大建造物を造って、美しい大自然の阿蘇を汚すのはやめましょう。</p>			

あなたの意見を述べてください！

008

9月22日(七)、23日(八)、24日(月)の3日間で、国土交通省は「立野ダムに関する住民からの意見を聴く場」を開催します。ぜひ、あなたの意見を述べてください。意見の発表を希望する人は、事前申し込みが必要です。この用紙に必要事項を記入のうえ、国土交通省にお送りください。

◇「応募用紙」の提出先(平成24年9月20日(木)18時必着)

- (1) 郵送の場合：〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目10番7号 福岡第二合同庁舎
国土交通省九州地方整備局 河川部河川計画課
- (2) FAXの場合：092-476-3470
- (3) 電子メールの場合：tatenodam-kyusyu@qsr.mlit.go.jp
(件名に、「立野ダム建設事業の検証に係る検討報告書(案)に対する意見を聴く場」と明記してください)

- 仮排路^路のコンクリートも含め、10年の工期はありにも早すぎる。特に仮排路に4年、本体~~年~~と65年も要する理由が問題、これはその土地の問題であり、ダムを作るべきところではないと巨額が払われている。
- 滞砂(堆砂)の検証で対比するダムが、集水地域が阿蘇とは全く異なるにもかかわらず比較検討しても、現実には今の阿蘇の火山灰の問題を全く検討しきれない堆砂量など算定出来ず。
- 堆砂については国土省の説及通りだとすると、水が早く砂も流れ出すことで下流は長期間濁水になると思われる。
- 日立公園での天然記念物として指定されている北向山にある立野に大型構造物を作ることに環境省はどのような対応をすべきか、どのような対応は取るべきでなく下流は河川整備とどう検証すべきか。
- 白川治水は下流の問題と同じように集水地域である阿蘇カルデラ内の治水に力を注ぐべきで、山の崩壊や土砂防止、治水力の強化等が今回の案の中には何も配慮されていない。
- カルデラ内の治水地の確保と降下雨水の川に流れ込む時間を早くする方法を考へ、又、中流域の治水地の確保を考へ河川整備でダムは作る必要はない。

「立野ダム建設事業の検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

立野ダム建設事業の検証に係る検討報告書(素案)に対する意見募集について

009

フリガナ		[Redacted]				
①氏名		[Redacted]				
②住所		[Redacted]				
③電話番号又はメールアドレス		[Redacted]				
④職業		主婦	⑤年齢	8/8	⑥性別	女
意見該当箇所		⑦ご意見は項目ごとに200文字以内で記載してください。 (ご意見が200字を超える場合は、併せてその内容の要旨(200字以内)も記載してください。)				
頁	行	<p>昭和40年代私は豊肥線9立野駅の下の方 へと降りたという下下温泉に行つたこと あります。白川と黒川の合流地真ん中 あり露天風呂からの眺めは素晴らしい溪 谷美でした。しかしダムが出来るからと産 業を余儀なくされ、今はその上に阿 蘇大橋がかかっています。それは近代化 ということで止むを得ないかもと思つて ますがそこにダムが出来るとは全く意外な ことです。</p> <p>熊本から阿蘇へ行くとき、国道で豊肥線 でも同じですが右側に原生林さながらの 山が続いてその風景は阿蘇の入り口 として熊本の誇りに思つてます。</p> <p>国は1,000兆円の赤字というのに何故無駄 なダムを作ろうとして1139か、東日本 震災の復興もままならないのに1139か ダムの話などもつてのほかと思つてます。</p>				

「立野ダム建設事業の検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

立野ダム建設事業の検証に係る検討報告書（素案）に対する意見募集について

010

フリガナ		[Redacted]				
① 氏 名		[Redacted]				
② 住 所		[Redacted]				
③電話番号又はメールアドレス		[Redacted]				
④ 職 業		ウチ	⑤年齢	75	⑥性別	男
意見該当箇所		⑦ご意見は項目ごとに200文字以内で記載してください。 (ご意見が200字を超える場合は、併せてその内容の要旨(200字以内)も記載してください。)				
頁	行	<p>ダムは断崖 作らぬと云ふ 地盤が軟弱で 沉下、 漏水の不安性が 大きい。 その設置場所には 原始林が あり、貴重な 自然遺産です。 雨水を保ち 森林を護り 水田による 保水を許す事で 洪水は防げます。</p>				

「立野ダム建設事業の検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

立野ダム建設事業の検証に係る検討報告書(素案)に対する意見募集について

012

フリガナ		
①氏名		
②住所		
③電話番号又はメールアドレス		
④職業		会社員
⑤年齢		67
⑥性別		男
意見該当箇所		⑦ご意見は項目ごとに200文字以内で記載してください。 (ご意見が200字を越える場合は、併せてその内容の要旨(200字以内)も記載してください。)
意見該当箇所 頁	意見該当箇所 行	
4-101	6	<p>白川の安全度確保は今年6月の出水でも分かる様に早急な対応が求められています。洪水調節を6案検討されていますが、用地の確保状況、コストの優位性、実現性、いずれにおいてもダム案が優れています。又洪水調節において他の案に比べ安全で確実性が高く、優れていると思います。熊本市街地を守るため一刻も早いダムの完成を望みます。</p>
2-28	19	<p>今回の検証外となりますが、ダム案では、将来計画である伏見橋地点流量3,400m³/s時にも改修の必要がなく対応できる。</p>

「立野ダム建設事業の検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

立野ダム建設事業の検証に係る検討報告書(案案)に対する意見募集について

013

フリガナ		[Redacted]				
①氏名		[Redacted]				
②住所		[Redacted]				
③電話番号又はメールアドレス		[Redacted]				
④職業		なし	⑤年齢	39	⑥性別	男
意見該当箇所		⑦ご意見は項目ごとに200文字以内で記載してください。 (ご意見が200字を越える場合は、併せてその内容の要旨(200字以内)も記載してください。)				
頁	行	市民に好事子説明会をもちき 開 決山 成って 保しひ。 よく知らずうて 行動は 出来 ない。				

立野ダム建設事業の検証に係る検討報告書(素案)に対する意見募集について

フリガナ	[Redacted]
①氏名	[Redacted]
②住所	[Redacted]
③電話番号又はメールアドレス	[Redacted]
④職業	元地公体調査指導員
⑤年齢	71
⑥性別	男

検証するまで
11年6月1日
事業評価かん
は福岡の人

意見該当箇所 ⑦ご意見は項目ごとに200文字以内で記載してください。
頁 行 (ご意見が200字を越える場合は、併せてその内容の要旨(200字以内)も記載してください。)

1	1	国交大臣が指示した理由は平成22年7月5日に有識者会議から全国82のダムを検証(証明)せよといっていたからか、熊本市長は毎年予算を要求しているからか。証明は国か。検討(研究)は地公体の長か。
	2	検証要領細目は誰が作ったものか、どんな物か。
	3	検討はたった3回でしかも代理人ばかりでよいのか。代理人達は国がダムが安いという誘導の計数費用をただ、うのみしたたけのようだ。議事録を見せてほしい。
	7	23年10月~11月のハワリックコメントに出したものが6-2-1415にあるが、私はダム不用論者だから(21書口)に立野ダムは必要だという項目を入れている。国の文書変造では無いのか。11名中、ダム推進者は1名で他は全部反対というのに、ダムが良いとはおかしい。又、ダムの残額490億とその他の工事額を比較するのはまちがいだ。ダムで300トン減らしてもその他を工事もしなければならぬ。別枠の予算だ。飯空の数字を上げて、比較するのは国民だました。

町入時要旨
1-ハードより
2. 14年12月30日
今年12月17日
代議 3500ト
3. 1000ト以内
4. 陸内、くつ
5. 1000ト以内
6. 1000ト以内
7. 1000ト以内
8. 1000ト以内
9. 1000ト以内
10. 1000ト以内
11. 1000ト以内
12. 1000ト以内
13. 1000ト以内
14. 1000ト以内
15. 1000ト以内
16. 1000ト以内
17. 1000ト以内
18. 1000ト以内
19. 1000ト以内
20. 1000ト以内
21. 1000ト以内
22. 1000ト以内
23. 1000ト以内
24. 1000ト以内
25. 1000ト以内
26. 1000ト以内
27. 1000ト以内
28. 1000ト以内
29. 1000ト以内
30. 1000ト以内
31. 1000ト以内
32. 1000ト以内
33. 1000ト以内
34. 1000ト以内
35. 1000ト以内
36. 1000ト以内
37. 1000ト以内
38. 1000ト以内
39. 1000ト以内
40. 1000ト以内
41. 1000ト以内
42. 1000ト以内
43. 1000ト以内
44. 1000ト以内
45. 1000ト以内
46. 1000ト以内
47. 1000ト以内
48. 1000ト以内
49. 1000ト以内
50. 1000ト以内
51. 1000ト以内
52. 1000ト以内
53. 1000ト以内
54. 1000ト以内
55. 1000ト以内
56. 1000ト以内
57. 1000ト以内
58. 1000ト以内
59. 1000ト以内
60. 1000ト以内
61. 1000ト以内
62. 1000ト以内
63. 1000ト以内
64. 1000ト以内
65. 1000ト以内
66. 1000ト以内
67. 1000ト以内
68. 1000ト以内
69. 1000ト以内
70. 1000ト以内
71. 1000ト以内
72. 1000ト以内
73. 1000ト以内
74. 1000ト以内
75. 1000ト以内
76. 1000ト以内
77. 1000ト以内
78. 1000ト以内
79. 1000ト以内
80. 1000ト以内
81. 1000ト以内
82. 1000ト以内
83. 1000ト以内
84. 1000ト以内
85. 1000ト以内
86. 1000ト以内
87. 1000ト以内
88. 1000ト以内
89. 1000ト以内
90. 1000ト以内
91. 1000ト以内
92. 1000ト以内
93. 1000ト以内
94. 1000ト以内
95. 1000ト以内
96. 1000ト以内
97. 1000ト以内
98. 1000ト以内
99. 1000ト以内
100. 1000ト以内

「立野ダム建設事業の検証に係る検討に関する意見募集」事務局宛

立野ダム建設事業の検証に係る検討報告書(素案)に対する意見募集について

フリガナ		
①氏名		
②住所		
③電話番号又はメールアドレス		
④職業		⑤年齢
		⑥性別
意見該当箇所		⑦ご意見は項目ごとに200文字以内で記載してください。
頁	行	(ご意見が200字を越える場合は、併せてその内容の要旨(200字以内)も記載してください。)
1	2	<p>最も有利な案は「ダム案」とあるが、グループダムの予算枠と、河川改修、橋の予算枠は別のよつたから、比較するのがおかしい。</p> <p>グループ1には、ダムと河川改修がある、グループの組合せとグループ毎の比較が正しいことが理解できない。二者択一はごまかしの常套手段だ。</p> <p>前回のパブリックコメント期間は一カ月だったが、今回は4日しかない。毎日新聞で9月18日に知り、公聴会は9月22日だ。福岡に資料を請求し、送って来るのは4日間過ぎである。</p> <p>国民をバカにしている。部厚い本を市役所のビニール袋の老人が読むと数日かかる。国民に知らしめなければならないというお上根情だ。</p> <p>事業評価監視委員会の委員は福岡市民か熊本市民か不明。七渡ダムは中止が決まった。立野ダムも前原大臣は中止するといった。1000兆円の借金を返済し、アユ、アサリ、ノリ、車エビ、外を絶滅させる立野ダムは絶対に作らないでほしい。</p> <p>ダム以外のどの案でも、400ト/秒は減らせるのだ。</p>
1-5		

国土交通省九州地方整備局河川計画課内

(意見提出様式)

「立野ダム建設事業の検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

立野ダム建設事業の検証に係る検討報告書(素案)に対する意見募集について

フリガナ		
①	氏名	
②	住所	
③	電話番号又はメールアドレス	
④	職業	⑤年齢
		⑥性別
意見該当箇所		⑦ご意見は項目ごとに200文字以内で記載してください。 (ご意見が200字を越える場合は、併せてその内容の要旨(200字以内)も記載してください。)
頁	行	
1-6	5-	私の意見は他の意見としてあり「ダムのダムを聞いたのではない」といわんばかりに、推進者の弁も入りしてある。国が検証したものを地公体長に検討させるのはおかしい。地公体が検証したものを国が検討すべきだ。上が予算をやるというのを下かひらないとはいえないはあだ。そうやって日本は世界一の借金国になり海に土砂が行かなくなり漁師が激減したのだ。まもなく海産物がとれなくなり食料が不足するだろう。今、日本中のダムをこわす時だ。まだ着工していない立野ダムはきっぱり中止して、未来にこう、川と海と海産物で豊かな生活を保証する時だ。
2-1	中級	流域人口13.4万人とは？少ない。
2-8	5行	人口31万人とあるか？ その差8万人はどこの人か
2-10	中級	アユがいつかいい子が、書いてない。
2-12	下級	昭和28年大災害の原因は熊本教授が初めて子飼橋をコンクリート製にしたか、橋脚が多すぎたので、流木が引かかり、熊本そばの両岸が決かいたものと熊本新聞で読んだ。人災だ。

「立野ダム建設事業の検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

立野ダム建設事業の検証に係る検討報告書(素案)に対する意見募集について

フリガナ		
①氏名		
②住所		
③電話番号又はメールアドレス		
④職業		⑤年齢
		⑥性別
意見該当箇所		⑦ご意見は項目ごとに200文字以内で記載してください。 (ご意見が200字を越える場合は、併せてその内容の要旨(200字以内)も記載してください。)
頁	行	
2-13		<p>将来ダムで400ト2/秒減らすというが、昨年代継橋のかけ替で左岸を20M程度拡幅した為、20M×10M 淨土×流速4M/秒の800トン、多く流れるようになった。先水でダムは不働となった。平成24年7月/2日、千年121度(笹日)の大雨でも、橋長111M×平均淨土7M×4M/秒で3,550ト2/秒流れた。</p> <p>ただ、竜田陣内では奇跡的にヒリ残された80名は全員助かったが、川底掘削、堤防かさ上げは必要だ。又、河川計画の通り、拡幅すべきだ。450億円の事で今回溢水した個所の改修は出来るはかた。ダムで400ト2減らしても溢水したはず。</p>
2-14	中	平成2年死者14名は、ダムより上の宮地土石流被害。
2-15	中	昭和32年死者83名は、まちがい？1カハ村等のことでは？
	下	平成2年死者14名は、宮地黒川上流の土石流被害。
2-14	中	平成11年～15年代継橋改築事業は、平成22年のまちがいではないか。かけ替は最近だった。
2-21	中	白川は天井川はうそ。代継橋で川底は標高6Mか、右岸3号橋は標高16M。橋のたもとリバーサイドホテルは標高9Mか。永年国と市とマスコミは天井川とうそをついている。溢水の水位が高いのは、全国どこでも

「立野ダム建設事業の検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

立野ダム建設事業の検証に係る検討報告書(素案)に対する意見募集について

フリガナ		
①氏名		
②住所		
③電話番号又はメールアドレス		
④職業		⑤年齢
		⑥性別
意見該当箇所		⑦ご意見は項目ごとに200文字以内で記載してください。 (ご意見が200字を越える場合は、併せてその内容の要旨(200字以内)も記載してください。)
頁	行	
6-9	6-2-2	<p>寄せられたご意見と検討主体の考え方。</p> <p>検討主体とは誰のこゝか。地公体のはずれか。この作文は、国だ。地公体がパワコソをして検証(調べてみか)必要と証明したものを、国が検討(調べて研究する)というのか。川尻序ではないか。この報告書は、国と地公体か一体となつて、ゆ着している。国の作文を地公体に飲ませたに「けた」。</p> <p>今朝の熊日には船原幸信県土木部長が「7月12日の豪雨は、白川水系河川整備計画が完成すれば安全に流下可能だったと思う」と西園勝成(自民党)城下広作(公明党)に答弁した。とあるが、白川水系河川整備計画には立野ダムは入っていない。平成11年126回あった白川流域住民委員会17名はダムの話は全然しなかった。銀行会長、熊日新聞社、熊本大学、熊本大学をとり込んで、国と県が強引にダム計画と結びつけようとしていたが、川尻川ダム、踏木ダムも、国と県はうそと、まかしたらけの文書を作り、ムダなダムを作り続けている。悲しく、怒り心頭に発することもあつた。</p>

「八咫た」

「むかしはた」

国土交通省九州地方整備局河川計画課御中

元銀行員 自然観察指導員 71歳 男

「立野ダム建設事業の検証に係る検討報告書(素案)に対する意見募集について」

平成24年9月27日

毎日の公務ご精励に感謝申し上げます。

9月18日告示9月22日熊本市公聴会で5分間の意見発表をいたしました。さらに、23日大津公民館、24日南阿蘇村久木野庁舎、25日熊大教授4人と平野熊日新聞編集局長の意見発表を傍聴いたしました。

9月28日必着に間に合うよう下記のとおり本意見を書き、FAXします。郵送もいたします。

記

1 前回の平成23年11月15日締め切り、パブリックコメント募集期間は1ヶ月だったが、今回は告示から3日目には意見発表だ。216ページの難解な素案を熊本市役所で読破した人は1人もいないはずだ。誰にも読んでもらいたくない、意見はいうな、聞きたくない、という国の姿勢が露骨だ。3会場30人の公述人は全員「ダム案反対」といい、国の姿勢に怒っていた。

この素案は直ちに廃棄すべきだ。そして、「検討の結果、立野ダム本体工事は中止する」との報告を上に出すべきである。

2 前回の資料同様、今回のも難解不読、しかし、幾日も掛けて読破した。それでも、一番重要な箇所は、虫眼鏡でさえも読めなくなるまで小さく縮小して隠蔽してある。216ページ全体が、昭和44年から48年間進めてきた立野ダム建設(白川を壊す計画、田中角栄が始めた)を推進するためのトリック(たぐらみ、策略、ごまかし)の滴艦鉤だ。

3 つまり、この検討素案は政府の意図に反している。「コンクリートから人へ」「ダムより緑のダムを」「借金を減らし自然を守る、海を守る」方針で、平成21年9月鳩山民主党政権、22年6月菅政権、7月5日、「ダム有識者会議会議」、前原議員、が全国82のダムを検証せよという。平成22年9月28日大臣から検証せよという指示があった。以来国営ダム工事は全国で止まっているのではないか。ダム以外の案を検討せよという指示に反して、本素案は奇想天外な案と、子供だましのトリックを駆使してある。(めくらかし、読めないように図面、文字縮小、昭和32年死者83人は他所)

4 これを読む者は疑問だらけとなる。頭が錯綜(こんがらがる)ので、思考を止め、読むのを止める。それで、考えることを止める。面倒くさくなった熊本県知事、熊本大学工学部教授達、熊日新聞、平野編集長はだまされて、ダム案を認める。次に九州大学の教授達が「事業評価監視委員会」として、読んでも分からないので、素案を追認する。そして、東京大学の教授達がダムを認めざるを得なくなる。なんとも、悲しく、恐ろしい。組織ぐるみの違法行為だ。このようにして、田中角栄が始めた国債増大と、海の自然破壊が続く。全国で同じように国民をだますトリックの方法と、テクニックを国土交通省の役人は磨いているのか。

5 4-39ページ、後で「ダム案」と称するものに1号案の番号をつけるべきなのにつけていない、0番にしている。0号案には「平成14年白川水系河川整備計画」も入っているのに、工事費はダム本体だけの計数だけだ(4-89p)。卑劣、卑怯だ。ダム案の費用は1,000億円(残490億円)のほかに、1号案から15号案に計上した「河川整備計画」の費用を上乗せするべきなのだ。

そうすると、一番コストが多くなるのだ。

小学生にでもばれるごまかしを、役人や有識者が気がつかない。「大人になると酒とセックスで馬鹿になる」と聞いていたが、まさにそのとおりだ。若い役人達は、このごまかしに、気づいていないはずだが、気づかないふりをしている。

6 1号案から15号案までにも14年整備計画は入っているが、呼称を「治水対策案」としている。0号案の呼称だけ「河川整備計画」としている。頭が混乱する原因だ。ダムを含む0号案も「治水対策案」としなければならない。指示ルール違反だ。また後では0号案を「河川整備計画」という呼称から「ダム案」と変えている。そして、「河川整備費」を加算していない。あくどい公文書虚偽記載だ。詐欺と同じではないか。

7 平成24年7月12日九州北部豪雨で千年に1度、「これまでに経験したことのない大雨」が白川上流、阿蘇カルデラに降った。洪水基準点、代継橋水位観測所で6.9メートル、2,800トン/1秒、が流れた(9月24日久木野公聴会テープ)。ここでは溢水しなかった。平成14年河川整備計画では、2,300トン流れたら洪水となるので、立野ダムで200トン、黒川遊水地で100トン低減する、といっている。想定よりも500トン多く流れたのは、平成22年に代継端を架け替えたとき、川幅を20メートル程度広げたためだ。ということは、立野ダムを造る必要がなくなったということだ。にもかかわらず、ダムを造ろうと、この素案を出した。大雨前に書いたのもつたいないから出したのであろう。学者やマスコミはだまされても、庶民はだまされなかった。公聴会で発言した勇気ある人たちは3会場30人全員、「ダムより河川改修を」といった。

8 よって、本素案は撤回して、上には、「立野ダムは永久中止、14年河川改修案の早期実行」を求めていただきたい。本素案216ページは捨てて1ページで済ませていただきたい。本素案を読む苦勞をこれ以上の人にさせないでください。誰も読みたくなくなるしろものだ。

9. せっかく素案を書かれたので、全頁に渡るトリックの種明かしをしたものを、今夜は徹夜で書き、郵送いたしたい。

FAXはここまでに致します。

立野ダム建設事業の検証に係る検討報告書（案案）に対する意見募集について

フリガナ		[REDACTED]				
① 氏 名		[REDACTED]				
② 住 所		[REDACTED]				
③電話番号又は メールアドレス		[REDACTED]				
④ 職 業		無 職	⑤年齢	68	⑥性別	女性
意見該当箇所 頁 行		⑦ご意見は項目ごとに200文字以内で記載してください。 (ご意見が200字を超える場合は、併せてその内容の要旨(200字以内)も記載してください。)				
全体		<p>・立野ダムの建設ではなく河川改修(河道の掘削、堰の改修、護岸工事等)での洪水防止を基本に。ダムによる洪水貯水は限界がある</p> <p>・穴あきダムでも土砂、ハドロが貯まり河川の汚濁で魚の生息影響。荒瀬ダムの開門で1代海の青川の成長が著しかった事からも川の流が海を育成</p> <p>・阿蘇北阿谷原生林は国の天然記念物指定したい。</p> <p>・「ダム撤去、日本初の熊本がダムではなく自然と共生のあり方を示す事こそ未来の子と己達への大きな財産だ」と思います。</p>				

「立野ダム建設事業の検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

立野ダム建設事業の検証に係る検討報告書(素案)に対する意見募集について

016

フリガナ		[Redacted]				
① 氏名		[Redacted]				
② 住所		[Redacted]				
③ 電話番号又はメールアドレス		[Redacted]				
④ 職業		会社員	⑤ 年齢	21	⑥ 性別	男
意見該当箇所		⑦ ご意見は項目ごとに200文字以内で記載してください。				
頁	行	(ご意見が200字を越える場合は、併せてその内容の要旨(200字以内)も記載してください。)				
		<p>政令都市熊本市の中心部を、天井川の白川が貫流しており、高度に資産が蓄積され行政の中心部ですが、洪水に対する安全度は低く、緊急な治水対策が必要不可欠です。市街地の為用地買収が困難で有ったこと等もあり、改修の進捗の効果は徐々に向上しており、中小洪水には耐えうる河道改修の状況です。この度の「北部九州豪雨」に見られるように、黒川の遊水池の機能不全・森林の保水力も飽和状態となり、大災害から奇跡的に免れたといえます。より効果の高い「ダム事業」の早期完成により、流域住民の安全な生活の実現に期待します。</p>				

「立野ダム建設事業の検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

立野ダム建設事業の検証に係る検討報告書(素案)に対する意見募集について

017

フリガナ		
① 氏名	[Redacted]	
② 住所	[Redacted]	
③ 電話番号又はメールアドレス	[Redacted]	
④ 職業	建設業(土木関係)	⑤ 年齢 58才
		⑥ 性別 男性
意見該当箇所	⑦ ご意見は項目ごとに200文字以内で記載してください。 (ご意見が200字を越える場合は、併せてその内容の要旨(200字以内)も記載してください。)	
頁	行	
15		<p>所懸谷(所懸市、旧所懸町(6.7)日一の谷)の流域面積 304.89 km^2 年降雨量 $2,821.6 \text{ mm}$ 日平均 0.863 km^3 南郷谷(南郷町、南所懸村)の流域面積 212.0 km^2 年降雨量 $2,656.5 \text{ mm}$ 日平均 0.829 km^3、合計 1.692 km^3。 同様、道本市 289.54 km^2、$1,986.8 \text{ mm}$ 日平均 0.605 km^3。 降雨体積での比較を行えば、$1.692 / 0.605 = 2.79$ 倍となる。 道本市弓削町の我家(田んぼ)は、昭和55年、平成2年と合計 毎年、冠水(毎回同一箇所)の被害が連続した。 又、降雨体積(流量)での比較により、洪水調整機能 のあるダムを早急に建設を願う。</p>

差出人:
送信日時:
宛先:

019

国土交通省九州地方整備局河川計画課内（意見提出様式）
「立野ダム建設事業の検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛
立野ダム建設事業の検証に係る検討報告書(素案)に対する意見募集について
フリガナ

① 名前
② 住所
③ 電話番号又はメールアドレス

④ 職業 : 会社員
⑤ 年齢 : 43 歳
⑥ 性別 : 男

意見該当箇所
頁 行

⑦ ご意見は項目ごとに200文字以内で記載してください。
(ご意見が 200 字を越える場合は、併せてその内容の要旨(200 字以内)も記載してください。)

私は流域小学校の PTA 会長をしており、7・12 大水害の当日に白川の様子を目の当りにしました。登校時間時は堤防下 20cm 位で雨も止んでいたの、後は水も引き大丈夫だろうと思い込んでいました。しかし、国道 3 号代継橋前後で水が道路に溜まっていたので、10 時過ぎに再度同じ川沿いへ行きました。校区側はギリギリでも対岸は自衛隊の救助ヘリが出動する程の状況。その時の川はうねり、轟音、臭い等思い出すだけでも恐ろしいです。川沿いの子供や住民の不安が早く取り除かれることを祈ります。

翌日阿蘇で災害にあった友人家族の弔問に内牧を通過して一の宮坂梨地区へ行きました。まず、大津から立野に上がる県道が土砂崩れしており、立野地区も崩れていてビックリ。赤水、乙姫地区でも「何故こんなところに水が出た後の様な五目屑があるのか？」と驚き、迂回して立ち寄った内牧では「確かこの近くには調整池があったはずなのに？」といった場所が 1m 程浸かった跡があった。田んぼを抜ける農道の途中では川から溢れた出水跡が黒川方向へ五目屑続いていた。宮地駅周辺では阿蘇山から相当な水が流れ出たことを想像できるほど五目屑が散乱、砂塵が溜まっていた。坂梨地区に入り山の上の方を見上げれば古閑の滝の様なもの何本も見え、坂梨の集落では「どこから崩落してきたの？」と思うほど、そばに山はないのに大量の土砂が埋め尽くしてただ驚くばかりの惨状でした。

以上を見て来て、会社はその惨状を伝え、災害復旧ボランティアにも龍田、阿蘇で参加しました。ボランティアで作業をしながら災害発生時を想像してみるととてもとても恐ろしい光景が目に見え、もしその場に居合ったら「何もできない人間の無力さを感じるだろう」と実感しました。特に阿蘇での極端な豪雨は恐らく誰も想像できなかったものですし、これだけ広域な災害が起こった時の準備を誰ができたのだろうか？ダム以外でもあらゆる方法によって防災、減災の実現の必要性を強く思います。

差出人:
送信日時:
宛先:
件名:

020

国土交通省九州地方整備局河川計画課
「立野ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局様

- ①
- ②
- ③
- ④主婦
- ⑤60歳
- ⑥女性

意見

私の故郷は南阿蘇です。実家に帰る時は立野を通ります。
阿蘇の北向谷原始林や白川、黒川の合流点は世界遺産の名に
ふさわしい絶景です。あの場に穴あきダムは異様で不釣り合いです。
ダムをつくるお金があれば、白川河川の整備に切り替えてください。
私たちは自然豊かな阿蘇を、次世代の子どもたちに残すことだと
思います。私たちが先祖から受け継いでいただいた様に！！

☆彡…☆…★…☆彡…☆…★



立野ダム建設事業の検証に係る検討報告書(素案)に対する意見募集について

フリガナ		[REDACTED]				
① 氏名		[REDACTED]				
② 住所		[REDACTED]				
③電話番号又はメールアドレス		[REDACTED]				
③ 職業		パート	⑤ 年齢	47	⑥性別	女
意見該当箇所		⑦ご意見は項目ごとに200文字以内で記載してください。				
頁	行	(ご意見が200字を越える場合は、併せてその内容の要旨(200字以内)も記載してください。)				
4-99 ほか		<p>穴あきダムは、ダムへの批判が大きくなったことを反映して、苦し紛れのように考案されているもので、実施例は益田川ダム(島根県)だけであり、その実態は明らかになっていない。しかも環境への影響を評価するためには長期間のモニタリングを要するが、公表された実施例はない。したがってそのようなデータの分析はなされていないと考えられる。にもかかわらず、素案全般にわたり、「環境に与える影響は小さいと想定される」などと繰り返し表現している。無責任きわまりないものである。</p>				
4-4 から 4-11 ほか		<p>益田川ダムは、堆砂は認められないなどと事業者は主張するが、ダム運用開始後、大きな出水がないので、堆砂がないのは当たり前である。</p>				
6-14 ほか		<p>素案で、検討主体は立野ダムの安全度について問題ないと主張している。治水ダムは、本来は国土の安全を確保するために築造されるものであるが、これまでに放流ミスによるダム水害や湛水池地すべりを引き起こしたりした事例は少なくない。巨大工作物であるダムは、運用の仕方を誤ったり、或いは予測のつかない自然条件の下では、その意に反して流域住民を危険な目に遭わすこともあり得るのである。素案を読むと、このような検証が十分に行われているとは到底考えられない。</p>				
6-15 ほか		<p>素案では、立野ダムの放流設備の呑口部にスクリーンを設置するとしている。もし、放流設備の呑口部のスクリーンが流木などにより埋塞した場合には、貯水池はたちまち満杯となりダム自身が危険な状態になるだけでなく、ダムの機能は全く失われてしまい、流入した洪水はそのまま放流せざるを得ない事態となる。当然、下流部の河道などはダムによる洪水調節を当てにして対策されているため、想定外の洪水被害を被ることとなる。</p>				
6-15 ほか		<p>穴あきダムと類似の型式のダムとしては、全国的に無数に設置運用されている砂防ダムがあるが、この水抜き穴が流木などにより埋塞状態になることはよく見られる現象である。立野ダムとの違いは、水抜き穴の口径が小さいことと、設置位置が河床だけでなく、堆砂の進行に追従するように中程の高さにも設けられていることであるが、基本的な構造は変わるものではない。洪水時にダム湖の水位が上がったときには、放流口に向かって強い流れが発生し、流木でも岩石でも吸い込んでしまうわけである。素案では模型実験をしたと書いてある</p>				

	<p>が、模型実験をするよりも、これらの事例の方がはるかに現実的である。どのような模型実験をしたのか、明らかにする必要がある。</p>
<p>6-15 ほか</p>	<p>素案では、立野ダムの放流設備の呑口部にスクリーンを設置するとしている。2006年4月から運用開始された益田川ダム（島根県）では、流木止めのために放流設備の呑口部にスクリーンが設置されている。ダム運用開始後、大きな出水がないので、実施例はなく、その評価は定かなものではない。流木対策について、現行の「河川砂防技術基準」では、トンネル河川についての記述はあるが、穴あき式ダムは想定されておらず、したがって本件のような場合の規定は無い。要するに、信頼できる流木対策の構造物の形状について、まだ技術基準が確立されていないのである。</p>
<p>6-15 ほか</p>	<p>立野ダムが当てにされる「何十年に1回」というような大洪水時には、山腹崩壊や土石流の発生を伴う恐れが多い。今年7月12日の豪雨でも、土石流が発生し、大量の流木が白川を流下し、橋梁などを埋塞している。流木だけでなく大量の土砂礫、巨岩も流下している。立野ダムがもし完成していたならば、このような大量の流下物がダムに押し寄せ、河床の放流口に強大な力で吸い寄せられるわけであるが、呑口部のスクリーンが流木でふさがるとは確実である。</p>
<p>4-4 から 4-11 ほか</p>	<p>素案によると、立野ダムでは、洪水時に土砂が堆積しても一時的なもので、堆砂は起こらないとされている。しかしそれが有効なのは、ダム放流口直近の堆砂に限られる。一般的にダムにより発生する堆砂現象は、ダムサイトよりはるか上流の湛水域の上流端付近、つまり土砂を含んだ洪水の流速が低下する場所に生ずるものである。そしてこの堆砂により河床が上昇し、これによる背水現象のため洪水時の流速低下は際限なく上流部まで及び、したがって堆砂現象も際限なく上流に向かって遡上することは、多くの既設ダムで見られることである。にもかかわらず、図4.1.8ではダム放流口付近に堆積し、上流端付近には堆積しないように見直されている。日本各地のダムの堆砂形状とは全く違った「100年後堆砂形状（点検後）」である。一体、どのような手法で堆砂計画の点検を行ったのか、検討者は説明責任を果たす必要がある。</p>
<p>4-99 4-100 ほか</p>	<p>穴あき式ダムの特徴は、平常時の流水は貯留せずそのまま流下させる一方で、一定量以上の洪水時には、自動的にダムからの放流量がカットされることである。つまり計画規模の大洪水だけでなく、年に数回あるような中小洪水も自動的にカットすることが特徴である。その頻度は放流口の大きさに左右され一律的ではないが、年間を通じて洪水流量が平準化されることは明らかであり、下流部での河川環境を悪化させることが懸念される。以上のような点が、評価軸による評価（環境への影響）では全く検討されていない。</p>
<p>4-99 4-100 ほか</p>	<p>河川の流量は、年間を通じて豊水、平水、低水、渇水というように一定ではなく、日変化、季節変動を繰り返すのが自然の状態、この条件の下で河川環境は形成されている。洪水時には河床に堆積した汚濁物などがフラッシュされると共に、石礫が動き、それらの間に空隙が生まれることにより、新たな水性生物の生息空間が形成されるといったように、洪水の果たす効果は大きいものがある。また河原の中州や寄り州では、常に大小規模の洪水に曝されるといふ不安定な環境条件下にあることにより、植生の遷移が進まず草花が樹木化しないなど、河川に特有の植生環境が形成されている。このように、河川の物理的・生物的環境と流況（河川流量の変動状況）の関係は、切っても切れない程に密接</p>

	<p>なものであり、流況の平坦化による河川環境への影響は計り知れないほどに大きいと考えられる。以上のような点が、評価軸による評価（環境への影響）では全く検討されていない。</p>
全体	<p>素案全般にわたり、「環境に与える影響は小さいと想定される」などと繰り返して表現している。しかし、「穴あき式ダムは環境にやさしい」ことは実証されたものではなく、実際の環境影響評価のためには長期間のモニタリングが必須である。「環境にやさしい」を大合唱する前に、益田川ダムなどにおいて、直ちに河川環境のモニタリングを実施すべきである。</p>
4-99 4-100 ほか	<p>立野ダムは、普段は水没していないとは言うものの、一時的であっても洪水調節時には河岸が水没するのは明らかである。急な水位上昇により泳げない小動物は水死し、河岸に巣を設ける鳥類なども同様である。これらを餌とする動物類の生存環境への悪影響も計り知れないもので、つまり食物連鎖の環が破壊され、正常なものでなくなるのは明らかである。以上のような点が、評価軸による評価（環境への影響）では全く検討されていない。</p>
4-99 4-100 ほか	<p>特に穴あき式ダムの場合には、通常のダムに比べて水位変動の範囲が大きく、その速度も急であることに注意を要する。つまり湖水面積がゼロからの湛水開始となるために急激な水位変動を起こすと考えられるのであるが、生息環境に与える影響はより過酷であることが想定される。以上のような点が、評価軸による評価（環境への影響）では全く検討されていない。</p>
4-99 4-100 ほか	<p>島根県益田川ダムの試験湛水による河岸の水没で、貯水位以下の河岸の植物は枯れてしまった。一方、実際の洪水時の湛水時間は、試験湛水時に比べて短いため影響は少ないと素案では述べられている。しかし、洪水時には火山灰やシルトなどの細粒土砂が堆積し、これにより植生は枯死する可能性が大きい。以上のような点が、評価軸による評価（環境への影響）では全く検討されていない。</p>
6-12 ほか	<p>素案では、立野ダムは地質上問題ないとされている。しかし、立野ダム湖河岸における斜面崩壊の問題も深刻である。これは貯水池の水位が上昇することにより、河岸斜面内の間隙水圧（地下水位）が上昇するために崩壊が発生しやすくなるもので、一般的には豪雨時に斜面崩壊が多く発生することを想起すれば容易に理解できる現象である。</p>
6-12 ほか	<p>素案では、立野ダムは地質上問題ないとされている。しかし、地すべりが発生した場合は深刻で、特にながけ崩れなど一般的な斜面崩壊とは発生機構が相違していることに注意を要する。つまり一般的に地すべりとは、地下水位が上昇することにより地すべり土塊に浮力が働き、すべり面に沿って動きやすくなることを主要な要因として引き起こされるものである。したがってわずかな水位変動によっても動く恐れがあり、またダム湖のような場合、水位変動が度重なるために地すべりの発生危険度が増幅されるという特徴をもっている。しかも一般的に崩壊（移動）土砂量が桁違いに多いため、被害が発生した場合その影響は深刻なのである。2003年4月、奈良県大滝ダムの試験湛水中に発生した地すべり災害が記憶に新しい。現在のところ、地すべり斜面上方に住んでいた白屋地区住民に多大な犠牲を与えた以上には大きな災害に至っていないが、巨大</p>

6-12 ほか	<p>災害としては、イタリアバイオントダム の地すべり災害がある。</p> <p>素案では、立野ダムは地質上問題ないとされている。しかし、地質上多くの問題がある。ここで、イタリアバイオントダム の地すべり災害の例を挙げる。バイオントダムは北イタリアのバイオント村の北東側にある。この地域はピアール河の支流にあたり、有名なドロミテ山地のドロマイト（白雲岩）が分布する。堤体は高さ 262m、幅 191m の発電用アーチダムで、有効貯水容量 1.69 億 m³ である。1958 年 7 月着工、1960 年 11 月竣工した。</p> <p>ダムサイトは白堊紀とジュラ紀の層状白雲岩で、ダムの竣工直後、試験貯水中に堤体直上流左岸の白雲岩層が層理面に沿って滑動しはじめた。滑動は最初 40 mm/日の程度であったが、その後 1963 年 9 月 2 日にダムから数 km のところに震源を有する小地震が発生して滑動が大きくなった。そのため地すべりの危険を心配した地元住民はダム管理者である電力公社に対して対策の申し入れを行ったが、公社側は心配はないと回答した。</p> <p>10 月 8 日、貯水位が満水面下 9m に達したとき滑動量が 200 mm/日になったので、試験貯水位の低下をはじめた。その直後、10 月 9 日 22 時 39 分に、大音響とともに閃光を放しながらダム湖左岸にダム史上最大の地すべりが発生した。</p> <p>地すべりは幅約 1800m の単一ブロックで、湖面上 700m の山腹から約 1600 m の距離を時速約 50km で滑落した。そのため 2.7 億 m³ の土砂がダム湖に突入して満水面から 100m 程も盛り上がるとともに、ダム津波が発生し、水位痕跡によると満水面上 230m(右岸)、130m(左岸)に大波がはね上った。</p> <p>一方堤体からは約 3 千万 m³ の水が越流し、堤体の左岸天端が破損したが、堤体は残った。この大量の越流水は高さ 70m の水の壁となって流下しピアール川合流点で水位を 50m も上昇させ、2,125 名の死者（一説には 4~5,000 名）を出す大被害を生じた。最も被害のひどかったのは合流点对岸の町のロンガローネでほとんど全滅した。このほかロンガローネの上下流の村落やダム湖岸の村落等 4ヶ村も甚大な被害をうけた。</p>
6-12 ほか	<p>素案では、立野ダムは地質上問題ないとされている。しかし、ダム貯水と斜面崩壊、とりわけ地すべり発生との関係は深いものであるが、とりわけ穴あき式ダムの場合には、洪水時の水位変動が急激であるために通常のダムより危険度が大きいと考えられる。また地すべりや斜面崩壊は、水位上昇する場合だけではなく、水位が下降する時にも、負の水圧が作用することにより（引っ張られるような作用）引き起こされやすいものである。とりわけ、河岸が地すべり履歴地である場合などは、現状がぎりぎりの条件で辛うじて安定しているように見えるべきであり、斜面中の地下水位のわずかな変動にも大きく影響される。しかも計画されている穴あき式の場合は、放流量を調節できない構造であるため、地すべりという非常事態に遭遇した場合はお手上げ状態とならざるを得ないのである。</p>
4-93 ほか	<p>評価軸による評価（安全度）で、「立野ダムは、ダム流入量よりも流量を増加させることはないが、河川整備基本方針レベルを上回る大きな洪水が発生した場合、立野ダムによる洪水調節効果が完全には発揮されないことがある」としている。穴あき式ダムは、放流操作のミス無くするのが利点でもあり採用されてきた経緯がある。つまりゲート操作の必要性はなく、洪水は「計画どおり間違いなく調節される」というものであるが、このことは逆に言えば、計画段階で想定した以外のこと、とりわけ超過洪水発生時には全くお手上げ状態になることを意味している。例えば、超大型の洪水発生が予測されるような事態でも、予備放流などの準備作業はあり得ず、満水後は流入した洪水をただ</p>

4-93 ほか	<p>垂れ流すしかないわけである。</p> <p>評価軸による評価（安全度）で、「立野ダムは、ダム流入量よりも流量を増加させることはないが、河川整備基本方針レベルを上回る大きな洪水が発生した場合、立野ダムによる洪水調節効果が完全には発揮されないことがある」としている。立野ダムによる洪水調節効果が完全には発揮されない場合、つまりダム湖が満水になってしまった場合、地すべりや斜面崩壊が発生するようなことがあれば事態は非常に深刻である。その兆候が発見された場合にも、立野ダムは全く無力なもので、みすみす大災害を発生させることも十分想定される。</p>
4-100 ほか	<p>評価軸による評価（環境への影響）では「ダム堤体により景観が一部変化されると予測されるため、景観に配慮した堤体デザインや法面植生の回復等の環境保全措置を講ずる必要がある」としている。立野ダムは、ダム本体から減勢工まで河道がコンクリートで固められる延長は約200mにも及ぶ巨大なものである。自然豊かな谷間に、高さ90m、幅200mもの巨大な壁が立ちはだかるのである。このような中を自然の生物や空気が自由に往き来できるであろうか。「ダム」と言うからには、巨大で堅固なものである。その本質を見誤ってはならない。</p>

差出人:
送信日時:
宛先:
件名:

022

国土交通省九州地方整備局河川計画課御中

① [REDACTED]

② [REDACTED]

③ [REDACTED]

④会社員

⑤43

⑥男

⑦阿蘇くじゅう国立公園の36ヘクタールを水没させるような計画に疑問を感じます。昨今のゲリラ豪雨を考えると、ダムはハイリスクです。河道の掘削や堤防の強化、遊水地の整備など、河川氾濫に対する別の対策を優先して下さい。

不景気で貧困にあえぐ国民であふれ返っている今、ろくに日本国民への情報開示・周知もないまま、総事業費917億もの血税を投じることに、強く反対します。

立野ダム計画を撤回して下さい。

[REDACTED]

差出人:
送信日時:
宛先:
件名:

023

ケアワーカー
51歳
女性

意見募集の広報が十分でなく、募集期間が短い点に抗議します。付近住民に周知せずに決めようとしている印象を受けます。

報告書を一読し、立野ダム建設は観光立町を目指す高森町住民として反対です。ダム周辺は自然保護区で豊かな自然、天然記念物があります。実際に水害が起きた下流の町の治水対策を先にすべきです。農業だけでは、町は人が減るばかりです。観光資源である阿蘇の自然を壊すダム建設に反対です。

差出人:
送信日時:
宛先:

[Redacted]
[Redacted]
[Redacted]

[Redacted]
[Redacted]

阿蘇の大自然を未来に残したいと思います、ダムを作る必要が本当に在るのか？
未来に美しい場所を残す事の方が大事だと思います。

[Redacted]

[Redacted]

差出人:
送信日時:
宛先:
件名:

025

ご担当者様

「立野ダム建設事業の検証に係る検討報告書（素案）に関する意見」を送付いたします。

===== 以下

私は熊本市在住、大分に88歳の母がおりますので、月に一度通っております。

* 先日、大分からの帰り道57号線を立野から瀬田線に降りて熊本へ帰ってきました。初めて気づいたのですが立野にある「大津温泉 岩戸の里」の露天風呂のそばの堤防がざっくりとえぐられていたのです。青いシートで保護されておりましたが、あの抉れた堤防を見て、本当に驚きました。

また、あのあたりの川沿いも、かなり堤防が抉られていました。

改めて7月2日の豪雨の雨量、川の流れの凄まじさを感じました。

白川の水害防止のために、国交省は立野ダム（穴あきダム）を計画しているようですが、あの川の抉れ方をみると、私は鹿児島県の鶴田ダムの放流時に起きた「抉れ」を想起せざるをえません。穴あきダムである以上、遮断するゲートも先日のような想定以上の豪雨の場合、ダムを保護するために「ゲートを開ける」ことは十分考えられます。そのとき、下流域がどうなるか。一気に水があふれることも考えられるし、そのことは鶴田ダムの事案を見るまでもなく、あるいは川辺川ダムの歴史でも指摘され続けたことです。

立野ダム予定地の立野は、阿蘇火山から噴出・堆積された土壌です。洪水時の白川の水は当然大量の火山灰を含み、泥水（7月の豪雨のとき、熊本市の龍神橋周辺の泥の匂いを実体験しています）が下流に流れます。白川にダムを造っても、流下してきた土砂や岩石・火山灰で早い時期に埋まってしまうことが考えられます。環境にも悪影響を及ぼし、環境破壊にもつながるでしょう。立野の57号線の真向かいに見える豊かな原生林の山は、何度となく通る私の心を癒してくれます。そういう原生林がダム工事により人の手が入り、豊かな原生林の姿が消えることは禍根を残すと思います。

一極集中のダムによる治水ではなくて、統合的なあらゆる手法を駆使した治水へと舵を切ろうではありませんか。

下流域の河川工事、土砂の堆積除去、堤防整備 などによる治水を求めます。ダムには反対します。

以上、立野ダム事業の検証に関する意見を述べました。

[Redacted signature block]

[Redacted mark]

差出人:
送信日時:
宛先:
件名:

026

立野ダム建設反対のメールを送らせて頂きます。

- ①
- ②
- ③
- ④ 自営業
- ⑤ 58歳
- ⑥ 女性

⑦ 立野ダム建設は川辺川ダム建設が事実上中止になってから立野ダム建設予定があると知って驚きました。川辺川ダムと同じことをまた立野でもしようとされているのかと。今回しないの水害が発生し、推進派の方が声を大きくされ、市長も傾かれています。住宅を建てるべきではないところを開拓業者が分譲した住宅地だったという話もあります。自然を相手に100%安全は大変難しいかもしれませんが、ダムに頼らないで、今回の被害があったところの強化などをして、自然をできるだけ壊さずに、共存した形で市民の生活が安全、豊かである、施策を行っていただきますようお願い致します。

立野ダム建設事業の検証に係る検討報告書(素案)に対する意見募集について

フリガナ		[Redacted]				
①氏名		[Redacted]				
②住所		[Redacted]				
③電話番号又はメールアドレス		[Redacted]				
④職業		無	⑤年齢	80	⑥性別	女
意見該当箇所		⑦ご意見は項目ごとに200文字以内で記載してください。 (ご意見が200字を超える場合は、併せてその内容の要旨(200字以内)も記載してください。)				
頁	行	<p>ダムをつくる事には絶対反対いたします。</p> <p>立野ダムをつくる事業について内容を知ったのは9月22日の事です。詳しい事はあまり理解出来ないしろうとですが、意見はすべて反対というものでした。</p> <p>北向山と魚がえりの滝など素晴らしい景観にすっかり気になり北向対岸のホテルに宿泊したのですが、そのホテルが今は無いと聞いてあ然としました。</p> <p>川辺川ダムでもそうですが、ダムは自然を壊して、川も汚染してしまいます。ダムによらない洪水対策を考へるべきです。護岸工事は今すぐ止めればならない事業です。その対策が堰止に堰止しているのにダムに税金を使うべきではないでしょう。</p> <p>住民討論集会を開いて下さい。私の様に内容を知らない人が沢山います。住民の意見と充分開いて下さい。</p>				

「立野ダム建設事業の検証に係る検討に関する意見募集」事務局宛

立野ダム建設事業の検証に係る検討報告書(素案)に対する意見募集について

028

フリガナ		[Redacted]				
①氏名		[Redacted]				
②住所		[Redacted]				
③電話番号又はメールアドレス		[Redacted]				
④職業		なし	⑤年齢	63	⑥性別	♂
意見該当箇所		⑦ご意見は項目ごとに200文字以内で記載してください。 (ご意見が200字を越える場合は、併せてその内容の要旨(200字以内)も記載してください。)				
頁	行	<p>ダム絶対反対です。</p> <p>素案の由題点でメリットのある題材はなく ダム費用を河川改修に費やした方が得策と 思います。</p> <p>※市街地(天土川)のしゅんせつを願ったりの 川の首の水門は予算消化のため出来 たことでした。</p>				

立野ダム建設事業の検証に係る検討報告書(素案)に対する意見募集(素案)に関する
 国土交通省九州地方整備局河川計画課内 (意見提出様式) 2頁
 「立野ダム建設事業の検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

立野ダム建設事業の検証に係る検討報告書(素案)に対する意見募集について

029

フリガナ		[Redacted]				
①氏名		[Redacted]				
②住所		[Redacted]				
③電話番号又はメールアドレス		[Redacted]				
④職業		社会保険労務士	⑤年齢	60	⑥性別	♀
意見該当箇所		①ご意見は項目ごとに200文字以内で記載してください。 (ご意見が200字を超える場合は、併せてその内容の要旨(200字以内)も記載してください。)				
頁	行	<p>① ダムは想定を越える洪水の対策として、ダムに貯水する治水対策を早期に実施して下さい。</p> <p>② 7月2日の1000年121度と言われる洪水でも未整備地域に氾濫しており、整備工は必要です。ダムに貯水する治水対策の検討を早急に行い、特に1000年121度の洪水には対応して下さい。</p> <p>③ 環境に配慮し、莫大の経費を省く必要に迫られ、ダムを建設する必要はないと考えられます。</p> <p>④ 「ダムに危険」、また、環境問題は、ダム建設で、洪水の洪水は、洪水調節が不能となり、ダムに貯水する対策の了らざるに、可能な限り</p> <p>⑤ 従来のダム建設事業、ダム建設事業の検証に際して「検証」して下さい。</p>				

立野ダム建設事業の検証に係る検討報告書(素案)に対する意見募集について

フリガナ		[Redacted]				
① 氏名		[Redacted]				
② 住所		[Redacted]				
③ 電話番号又はメールアドレス		[Redacted]				
④ 職業		会社員	⑤ 年齢	68才	⑥ 性別	男
意見該当箇所		⑦ ご意見は項目ごとに200文字以内で記載してください。 (ご意見が200字を超える場合は、併せてその内容の要旨(200字以内)も記載してください。)				
頁	行	<p>立野ダムの建設はまさに急務である。</p> <p>白川は今年7月の豪雨により、糟谷の大災害と襲い、死者、水没家屋 異多数にのぼった。又昭和28年6月26日のあの西日本大水害は記憶が 消えることなく、川下範囲に及び、白川は市内中心部が水没し、異 死者行方不明者が数百名にのぼった。</p> <p>又、白川は、毎年のおよそ1回、大水害に悩まされてきている。 河川でもある。</p> <p>従って抜本的な治水対策としては、立野ダム(予定地) から下流は平地も少なく、急峻であり、穴あき(穴あき) が最適と考へます。</p> <p>環境について</p> <p>穴あきダムのため一時的留置であり、環境に与える ダメージは少ないものと考へます。</p>				

差出人:
送信日時:
宛先:
件名:

031

氏名

住所

電話番号

メールアドレス

職業 無職

年齢 64歳

性別 男

意見 「意見を聞く場」が数か所でありましたが意見を聞いて反映されるのか全く疑問です。

膨大な資料をどんなに詳細な数字で説明しても到底納得できないのです。

住民は直観力で判断するしかないのです。

まして“ダム案が一番安上がり”という発想で決定されたのでは住民はたまったものではない。【言語道断】

《世界の阿蘇にコンクリートダムは相応しくない!!!》

「立野ダム建設事業の検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

立野ダム建設事業の検証に係る検討報告書（素案）に対する意見募集について

032

フリガナ		
①	氏名	
②	住所	
③	電話番号又はメールアドレス	
③	職業	⑤年齢 ⑥性別
意見該当箇所		⑦ご意見は項目ごとに200文字以内で記載してください。
頁	行	(ご意見が200字を越える場合は、併せてその内容の要旨(200字以内)も記載してください。)
6-21	6	国土交通省九州整備局は、9月14日付で「立野ダム建設事業の検証に係る検討報告書（素案）」に対する公聴会と意見募集について記者発表しました。そのことを私たち住民が知ることができたのは、9月18日付の熊本日日新聞の記事からでした。公聴会の募集期限は9月20日とされており、私たち住民は非常に驚きました。住民が新聞報道で「素案」の公表を知ってから、わずか2日後に「意見を聞く場」の募集は締め切られたのです。
6-21	6	「素案」の閲覧方法にも大きな問題があります。200ページ以上の膨大な資料を、関係役場等のロビーで立ったまま閲覧し、意見を書くということは不可能です。また意見の書式も指定されており、一般住民が非常に書きづらい形式になっています。住民への周知徹底も全くできておらず、これでは住民に開かれた河川行政とはまったく言えません。今回の国土交通省九州整備局の行為は、「住民参加」の河川法の精神に背くものと言えます。
6-21	6	国土交通省九州整備局は河川法の精神を尊重し、以下4点について早急に実現されることを強く申し入れます。1) 「立野ダム建設事業の検証に係る検討報告書（素案）」の公表について、あらゆるメディアを用いて白川流域住民に周知させること。2) 住民を対象にした「立野ダム建設事業の検証に係る検討報告書（素案）」の説明会を流域各所（校区ごと）で実施すること。3) 希望する住民には「立野ダム建設事業の検証に係る検討報告書（素案）」を提供すること。4) 上記1～3を実施後、1か月ほどの期間を置いたあとに、公聴会と意見募集をやり直すこと。
6-14		想定以上の洪水では立野ダム湖は満水になり、洪水調節不能となる。素案では、「一般に、目標を上回る洪水が発生した場合でも、ダムから放流される流量がダム貯水池に流入する流量を超えることはありません」と述べているが、ダムが満水になるまで洪水調整していた分、満水になると一気に放流量が増えることが危険なのである。素案に、この点に関しての記述はない。
6-14		ゲートのない「穴あきダム（流水型ダム）」である立野ダムが洪水調節をする場合も、洪水調節する時期と、洪水のピーク時が一致するとは限らず、むしろ一致しない場合（洪水調節に役に立たない場合）が多いと考えられる。

6-14	ゲートのない「穴あきダム」に特有の欠点もあります。「自然調節」であるだけに、貯める必要のない中小の洪水までためてしまい、肝心の洪水で満水となり役に立たなくなることがあります。貯水容量に余裕があるのに、下流が危険な時に役に立たないこともあります。
6-14	洪水が時間間隔を置いて続発する「二山洪水」（洪水のピークが2度ある洪水）の場合も、穴あきダムの欠点が露呈します。人為調節であれば放流量を増大して後続洪水に備えることもできますが、ゲートのない穴あきダムではそれができず、ダム湖が満水、洪水調節不能となることがあります。
4-91 から 4-105 ほか	平成24年7月洪水で、熊本市では、蓮台寺橋周辺の河道の流下能力が低く、平田・十禅寺地区では堤防上端から40cmまで水位が上がり、危険な状態でした（熊本市消防団 〇〇〇〇 調べ）。平成24年7月23日に資料開示された「整備計画河道流下能力算定表」を見ても、蓮台寺橋（河口より8.6km）の改修後の流下能力（計画高水位）は毎秒1926立方メートルであり、整備目標を下回っています。今回、立野ダム案と比較した5つの案には、ことごとく蓮台寺橋周辺（JR豊肥線白川第一橋梁から薄場橋周辺）の「河道の掘削、橋梁や堰の改築」が入っています。しかし、この区間は整備計画自体の流下能力が不十分であるので、この区間の「河道掘削、橋梁や堰の改築」は、「立野ダム案」にも盛り込むべきです。そうすると、立野ダム案はコスト面で優位という検討結果は出ないと考えられます。
4-40 4-41 ほか	今年7月12日の洪水で、白川中流域（大津町と菊陽町）では、河道の流下能力が低いため、白川は至る所で氾濫しました。素案によると、「整備計画」が中流域では未策定です。中流域では河道の掘削などを実施し、河道の流下能力を高めることが不可欠です。「立野ダム案」には、中流域の改修が入っていません。「立野ダム案」は、大津町と菊陽町を切り捨てる案です。治水対策案①にある、中流域の河道の掘削、堰の改修を採用すべきです。
4-70 4-71 ほか	今年7月12日の洪水で、最も大きな被害を受けた阿蘇市では、内牧の下流など河道の整備が済んだ地区でも黒川は至る所で氾濫しました。「立野ダム案」の4つの遊水地だけでは不足します。「立野ダム案」は、阿蘇地区の治水対策を切り捨てるものです。治水対策案①の、黒川遊水地群の活用を採用すべきです。阿蘇地区では、黒川遊水地群の整備をすすめるほかにも、できるだけ雨水の河川への流出を抑制する方策が必要です。治水対策案①と治水対策案④などを取り入れた総合治水対策が、阿蘇カルデラ内では不可欠です。
4-40 4-41 4-71 ほか	白川上中流域をみると、「立野ダム案」では平成24年7月12日の洪水には対処できないことが分かります。また、立野ダムに頼れば頼るだけ、これまで以上に河川改修に予算が回らないことになるのは明白です。
2-18	平成24年7月12日、熊本県内は広範囲において「これまでに経験したことのないような大雨」に見舞われ、白川は各地で氾濫し、流域の住宅地や農地等が甚大な被害を受けました。平成24年7月洪水で浸水被害を受けた箇所は、河川改修が未完成の箇所ばかりです。立野ダムなしで十分対処できます。ところが素案では、平成24年7月洪水について、その原因等をきちんと検証していません。

4-4 から 4-11 まで	<p>洪水時の白川の水は大量の火山灰を含みます。白川にダムを造っても、流下してきた土砂や岩石・火山灰で早い時期に埋まってしまうことが考えられます。国土交通省は素案で、「立野ダムの計画堆砂量は60万m³と想定している。水位の低下とともに貯水池内に堆積した土砂はダム下流へ流下し、もとの川床の状態に戻ると考えられる」としている。しかし、ダムへの堆砂は、ダムサイトのはるか上流の、ダム湖の上流端付近、つまり土砂を含んだ洪水の流速が低下する場所に発生します。それは日本全国、どのダムでもいえることです。ダムに穴が空いていようが、それは変わらないはずです。</p>
4-8	<p>図 4.1.8 では、100 年後の堆砂形状が、ダム湖のダム本体近くだけに堆積する形状であり、ダム湖の上流部には全くたまらないことになっているが、そういうことはあり得ない。ダムへの堆砂は、ダムサイトのはるか上流の、ダム湖の上流端付近、つまり土砂を含んだ洪水の流速が低下する場所に発生します。それは日本全国、どのダムでもいえることです。ダムに穴が空いていようが、それは変わらないはずです。ダム湖の上流部にたまれば、北向谷原始林が土砂で埋まってしまうので、そのように「見直した」としか考えられない。</p>
4-4 から 4-11 まで	<p>素案では、「放流設備の呑口部にスクリーンを設置する」としている。スクリーンを設置すれば、当然流木などで呑口部のスクリーンがふさがってしまう。そうすれば、「水位の低下とともに貯水池内に堆積した土砂はダム下流へ流下し、もとの川床の状態に戻ると考えられる」ということはあり得ない。ふさがらなると仮定しても、スクリーンがあれば岩石などは「穴」を流下することはできず、ダム湖内に堆積するしかない。</p>
4-4 から 4-11 まで	<p>国土交通省は素案で、立野ダムの堆砂計画の点検では松原ダム、下笠ダム、緑川ダムなど近傍の5ダムと比較して検討したとしているが、立野ダムの集水域は阿蘇カルデラであり、非常に特殊な地形、地質であり、近傍のダムとは地質、地形が全く異なっています。比較すること自体が間違っています。</p>
4-4 から 4-11 まで	<p>昭和28年の6・26水害では、立野ダムの総貯水量の約3倍の2847万立方メートルもの土砂や火山灰が熊本市と白川水系沿岸の水田などに堆積しています（熊本県災害救助隊本部調べ 熊本日日新聞 昭和28年7月6日）。そのような大量の土砂や火山灰が「水位の低下とともに貯水池内に堆積した土砂はダム下流へ流下し、もとの川床の状態に戻ると考えられる」とは考えられない。</p>
4-94 4-104 ほか	<p>素案では、立野ダムの工期は10年として、「10年後に最も効果を発現していると想定されるのは立野ダム案だ」としているが、「予算の状況等により変動する場合がある」とも述べている。国の財政状況なども勘案して工期を10年としているのか、はなはだ疑問である。</p>
4-94 4-104 ほか	<p>素案では、「10年後に最も効果を発現していると想定されるのは立野ダム案だ」としているが、川辺川ダムなど他のダムの例を考えると、ダムの工期ほどいい加減なものはありません。工期が10年以上に延びることは容易に考えられ、その間、治水効果は全く期待できません。ダム以外の治水対策では、実施した工事から順に治水効果が期待でき、その方が大変有利である。</p>

6-13	<p>立野ダムは、阿蘇の玄関口である立野峡谷を含む、阿蘇くじゅう国立公園の36ヘクタールもの広大な自然を水没させます。水没する北向谷原始林は国指定の天然記念物です。また、立野ダム事業区域は阿蘇くじゅう国立公園の特別保護地区に指定されています。国立公園の特別保護地区は、現状変更行為は許されないはずである。素案では、文化庁や環境省と協議を行うとしているが、文化財保護法や国立公園法に照らし合わせると、明らかに問題がある。</p>
4-99	<p>素案では、「試験湛水期間の短縮を図る等の環境保全措置を講ずる」としているが、たとえ短縮したとしても、試験湛水の期間は、国指定の天然記念物であり、国立公園の特別保護地区に指定されている北向谷原始林が長期間水没することは明らかである。一度水没すれば、北向山の植生は枯れる等、大きな影響がある。現状変更行為は許されない国立公園の特別保護地区を水没させてはならない。</p>
6-13	<p>素案では、「川辺川では、平成17年台風14号の後など濁りが長期化したことがあります。これは、川辺川上流域の大雨に伴う山腹崩壊で河床に堆積した土砂などが水量の増加時に週出したことが原因」としているが、朴ノ木砂防堰堤があったからこそ、山腹崩壊した土砂が何キロにもわたり河床に堆積し、濁りが長期化した原因となったのである。</p>
6-13	<p>素案では、立野ダムに土砂はたまらないとしているが、川辺川上流の朴ノ木砂防堰堤の例があるように、穴あきダムは洪水時に大量の土砂をため込み、周辺の山林を荒し、周辺の環境に大きなダメージを与える。洪水が終わった後も穴あきダムであるために、たまった土砂が露出し、今度はたまった土砂が流れ出し、長期間下流の白川を濁す。</p>
6-12	<p>素案では「ダムを構築するには十分な強度と岩盤特性を有している」としているが、立野ダム予定地の地盤は、阿蘇火山から流下してきた立野溶岩で割れ目が非常に多い。国交省資料（平成21年度立野ダム基礎資料整理業務報告書）によると、ダム本体右岸部では深部においても高透水ゾーンが分布しており、幅約600m、高さ約150mにわたってグラウチング（セメントミルクの注入）が行われることになっています。このことから、ダム本体予定地の岩盤が、ダムをつくるには適当ではないことが分かります。</p>
6-12	<p>素案では「ダムを構築するには十分な強度と岩盤特性を有している」としているが、立野火口瀬一帯には東西方向に断層が数多く集中しています。地震発生確率の高い活断層「布田川・日奈久断層帯」も通っています。ダムができれば地すべりや漏水の危険性があります。立野ダムが完成すれば、熊本市など下流域は大きな危険にさらされます。</p>
6-12	<p>立野火口瀬のすぐ南（ダムの左岸側）には北向山断層と呼ばれる落差200mもの北落ちの正断層があるなど、立野火口瀬一帯には東西方向の断層が数多く集中している。素案では「北向山断層は、文献調査及び現地調査の結果、その走行性は立野ダム予定地近傍へ向かわないことを確認している」としているが、どのような文献調査及び現地調査を行ったのか。どの文献を見ても、ダム本体予定地の近傍を通っていると書いてあり、図面もそうなっている。ダムをつくるには適していない地盤である。</p>

6-12	<p>阿蘇カルデラは、太古の昔はカルデラ湖であったといわれます。なぜ立野でカルデラ（外輪山）が切れて白川となったかということを見ると、外輪山の中で最も地盤が弱かったからだと考えられます。そのカルデラの切れ目にダムをつくるのは、専門家でなくとも危険を感じます。</p>
6-12	<p>立野ダムのような割れ目だらけの地盤では、洪水時ダム湖の水位が上昇しているときに地すべりや斜面崩壊が非常に起きやすくなります。ダム湖河岸における斜面崩壊の問題も深刻です。これは洪水時にダム湖の水位が上昇することにより、河岸斜面内の間隙水圧（地下水位）が上昇するために崩壊が発生するものです。2003年4月、奈良県大滝ダムの試験湛水中に発生した地すべり災害の例などがあります。洪水でダム湖が満水となった時に地滑りや斜面崩壊が起きれば、津波のような濁流が下流を襲うことになるでしょう。大津町から熊本市までの下流域は大変なことになります。</p>
全体	<p>阿蘇カルデラの草原は、九州の水がめの役割をしています。草原が荒廃すると、山崩れなど土砂災害を起こしやすくなります。阿蘇の草原を保全するとともに、荒れた人工林の間伐を進めると、流域の保水力は高まり、土砂災害を防止することもできます。このような方策は素案には述べてありません。</p>
5-4 5-5	<p>素案によると、立野ダムは、ダム本体工事や仮排水路工事に着手されていないにもかかわらず、総事業費は当初予算の2倍以上の917億円に膨れ上がりました。よって、以前は5以上あった費用対効果が、2.2にまで低下しました。川辺川ダムなどの他のダムの例を考えると、さらに事業費が膨らむことが容易に考えられ、さらに費用対効果が下がるのが考えられる。</p>
5-4 5-5 4-102	<p>河川法によると、立野ダムの総事業費の3割を熊本県が負担することになる。熊本県の負担額は917億円の3割、約275億円ということになる。県民1人あたり約15000円を立野ダムに負担することになる。ダム本体は、大手ゼネコンしか受注できない。しかし、河道の整備等のダム代替案は、地元の業者が受注できる。ダムによらない治水対策は、地域振興にもつながる。以上のような点は、「地域社会への影響」で述べられていない。</p>
4-102 4-103	<p>阿蘇は世界ジオパーク登録を目指している。立野ダム水没予定地には、立野峡谷、鮎帰りの滝、立野溶岩、白川黒川合流点など、たくさんのジオサイトが含まれる。そのことが、「地域社会への影響」にも「環境への影響」にも全く取り扱われていない。</p>
3-1 から 3-8	<p>3. 対象ダムの概要に、ダム湖の平面図が載っていない。ダム湖の平面図が載っていないダムの資料などあり得ないことである。ダム湖の平面図を載せると、北向谷原始林が水没することが分かるから、検討者（つまり事業者）はダム湖の平面図を載せていないと考えられる。</p>
3-7	<p>トロッコ列車で有名な南阿蘇鉄道の第一白川橋梁も、立野ダム建設により架け替えられます。この第一白川橋梁は、昭和2年に鉄道省大臣官房研究所の設計のもと「国有鉄道初」の鋼製アーチ橋として竣工した、高さ全国一の鉄道橋（水面からの高さ62m）です。架設工法も「国内初」のカンチレバーエレクション（両岸から作り始め、橋中央で結合する）という工法が採用された、貴重な</p>

	土木遺産です。ダム建設を中止し、保存すべきである。
3-7	架け替え対象になっている南阿蘇鉄道の第一白川橋梁は、橋の両側がトンネルなので仮橋がかけられず、架け替え工事期間中(数年間)、南阿蘇鉄道は運休になると考えられる。そのことを南阿蘇鉄道や地元などに説明しているのか。
4-99 ほか	ダムは完成後に試験的に水をため、地すべり等が発生しないか試験湛水を行うことになっています。立野ダムでも、ダム本体のコンクリート打設工事終了後、半年間、ダム下部の3つの穴を「仮ゲート」でふさぎ、試験的に水を貯めることになっています。水がたまるまでの間、下流の白川の水量は激減するはずですが、この点について素案では全く触れられていません。
4-99 ほか	立野ダムの試験湛水の期間、国指定の天然記念物であり、国立公園の特別保護地区に指定されている北向谷原始林が長期間水没し、植生も枯れてしまいます。穴あきダムである益田川ダム（島根県）では、試験湛水によりダム湖内の植生は枯れてしまった。
4-99 ほか	国交省資料（平成21年度立野ダム基礎資料整理業務報告書）によると、ダム本体右岸部では深部においても高透水ゾーンが分布しており、幅約600m、高さ約150mにわたってグラウチング（セメントミルクの注入）が行われることになっています。しかし、いくら地盤処理をしても、それはダム本体周辺だけであり、ダム湖全体をコンクリートで固めることはできない。立野ダム予定地の地盤は割れ目が非常に多いことを考えると、完成しても水がたまらない大蘇ダム（産山村）のように、試験湛水をして水がたまらないことも考えられる。試験湛水ができなかったら、運用もできないではないか。
4-33	決壊しない堤防を、今回の検討において組合せの対象にしていない。熊本市街地の白川の堤防は、鋼矢板が打ち込まれており、決壊しない堤防であり、組合せの対象にしなかったのはおかしい。
4-95	ダム中止に伴って発生する費用は4億円と見込まれている。立野ダムは非常に危険なダムであるので、今後見直しの機会があればダム建設が中止となることも十分考えられる。川辺川ダムの例（仮排水路工事等が行われて中止になった場合）のことを考えると、現時点で中止したほうがはるかに安価でよいと思われる。
4-100	「シュミレーションによると、白川では、河床構成材料や河床高に大きな変化は生じないと考えられる」と書かれているが、どのようなシュミレーションを行ったのか。全国各地のダム下流の河川の様子を考えると、信じられないシュミレーションである。
4-100	「人と自然のふれあい活動の場に変化はないと予測される」とあるが、高さ90mのコンクリートの構造物をつくるのにもかかわらず、どのような手法で変化がないと予測したのか。非常に主観的な予測ではないのか。

「立野ダム建設事業の検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

立野ダム建設事業の検証に係る検討報告書(素案)に対する意見募集について

フリガナ		[REDACTED]				
①	氏名	[REDACTED]				
②	住所	[REDACTED]				
③	電話番号又はメールアドレス	[REDACTED]				
③	職業	公務員	⑤年齢	49	⑥性別	男
意見該当箇所		⑦ご意見は項目ごとに200文字以内で記載してください。				
頁	行	(ご意見が200字を越える場合は、併せてその内容の要旨(200字以内)も記載してください。)				
本意見書の書式		「項目ごとに200字を超える場合は要旨を記載せよ」とのことですが、要旨を記載すると要旨のみ取り扱われる危険性があるので、要旨は記載いたしません。できるだけ200字以内にまとめますので、書いてあること全体をお取り扱いいただければ幸いです。				
6-6 から 6-20		「パブリックコメントの論点」と、「検討主体の考え方」が全くかみ合っていない。パブリックコメントの疑問に検討主体はきちんと答えるべきである。紙面上でのやりとりだけでは、相互理解は非常に困難であるので、双方向性を持った討論会を行い、情報の共有を進めるべきである。それでなければ、国土交通省は説明責任を果たしたとは、とても言えない。				
6-6		<p>昨年パブリックコメントで「治水対策案①河道の掘削、②引堤、③堤防かさ上げは、それぞれの案のみで治水対策を行おうとするものである。事業費が高くなる。たとえば、中流域の堰の周辺は堤防のかさ上げ、橋の周辺は河道の掘削、引堤がコスト的に安い区間は引堤というように、組み合わせる工夫をすれば事業費は低くなるはずである」と意見を述べたのだが、検討主体の考え方は、「このため、治水対策案③は、ご意見の趣旨に該当する治水対策案であると考えています」となっており、全く回答になっていない。議論がかみ合っていない。きちんとパブリックコメントに対して回答すべきである。</p>				
6-21		<p>住民が9月22日の公聴会と意見募集について知ったのは、9月18日の熊日新聞の記事を読んだ時です。それから2日後の9月20日に公聴会の募集は締められました。その2日間のあいだに、役場のロビーに行って素案を読んで、意見を言うことは絶対に不可能です。まず、素案のことを十分に知らせて、説明会をあちこちで開いて、それから公聴会を開くべきです。</p>				
6-21		<p>国交省は、立野ダムに自信がないから、説明会を開かないのではないのか。公聴会でも、200ページ以上の素案をわずか20分程度の説明のみでは、説明責任を果たしたとはとても言えない。本当に立野ダムに自信があるのならば、堂々と住民に説明して、堂々と住民の意見を聞くべきである。これでは、住民に開かれた河川行政とはとても言えない。</p>				
6-21		<p>200ページ以上の膨大な資料を、関係役場等のロビーで立ったまま閲覧し、意見を書くということは不可能です。インターネットを使い、素案を読むこと</p>				

	<p>のできる住民はごく少数です。また意見の書式も指定されており、一般住民が非常に書きづらい形式になっています。住民への周知徹底も全く不十分で、公聴会や意見募集があることを知ることができた住民はごく少数です。「住民参加」の河川法の精神に背くものだと言えます。説明会を開くなど、十分な説明を行った後に、公聴会と意見募集をやり直すべきです。</p>
<p>4-84 4-90 ほか</p>	<p>昨年10月に公表された「複数の治水対策案の立案及び概略評価による治水対策案の抽出について」（平成23年10月14日）36ページに、流域の水田の畦をかさ上げる案が書いてあったので、昨年のパブリックコメントで私は、「流域の水田55平方キロメートルの畦を20cmかさ上げすれば、立野ダムの総貯水量以上の水がためられる。単独で立野ダム以上の治水効果がある」と意見を書きました。ところが素案では、20cmかさ上げ案に、河道掘削、雨水貯留施設、雨水浸透施設、輪中堤、遊水機能を有する土地の保全、部分的に低い堤防の存置、土地利用規制など、いろんな工事をくっつけて1900億円にして、代替案として採用しないと書いてあります。私がパブリックコメントで主張したのは、「流域の水田55平方キロメートルの畦を20cmかさ上げすれば、立野ダムの総貯水量以上の水がためられる。単独で立野ダム以上の治水効果がある」であり、なぜ単独で検討しないのか。</p>
<p>4-84 4-90 ほか</p>	<p>治水対策案⑮を治水対策案⑭と比較すると、国交省の検討では、畦を15cmかさ上げしても20cmかさ上げしても効果は一緒ということになる。これでは、「立野ダム案が有利である」という結果を導くための検討だと言われてもしかたがありません。</p>
<p>6-15</p>	<p>素案では、「模型実験をした。流木対策として放流設備の呑口部にスクリーンを設置する施設計画としており、洪水後、スクリーン周辺に堆積した流木は除去する」としている。どのような模型実験（規模、大きさ、流量、回数など）をしたか、明らかにする必要がある。</p>
<p>6-15</p>	<p>素案では、「模型実験をした。流木対策として放流設備の呑口部にスクリーンを設置する施設計画としており、洪水後、スクリーン周辺に堆積した流木は除去する」としている。つまり、穴あきダムの穴はふさがらないとしているが、今年7月12日洪水では大量の流木が白川を流れ、各堰や橋梁などに多くの流木が引っ掛かっていたのを見ていないのか。大津町の下井手取水堰では、ちょうど5m角の立野ダムの穴と同じくらいのサイズの堰の柱部分に流木が詰まり、堰がふさがれた状態だった。模型実験ではなく、このように現実的に大量の流木が流れ、大量の流木が至る所に引っかかっている現実をどう考えるのか。</p>
<p>6-15</p>	<p>素案では、「洪水後、スクリーン周辺に堆積した流木は除去する」としているが、立野ダム下部の5m角の穴を覆うスクリーンに、洪水時に流木が堆積し、穴から下流に放流できなくなることが問題である。洪水時、放流設備の呑口部に流木がたまることを認めているではないか。</p>
<p>6-15</p>	<p>流木で立野ダムの穴がふさがったら、ダムより下流に水は流れません。総貯水量1000万立米に7.12洪水の流量である毎秒2300トンの洪水が流れ込めば、1時間余りで立野ダムは満水になります。満水になったとたん、毎秒2300トンの洪水がダム上部の8つの穴から流れ落ち、下流の水位は一気に</p>

	上がります。そのような状況を、素案では想定していない。立野ダムは災害を引き起こすので、絶対につくってはならない。
4-14 4-15 4-40 4-41 4-91 ほか	4.2.5で「立野ダム案」と対比させた5案の中には、ことごとく蓮台寺橋周辺（JR豊肥線白川第一橋梁から薄場橋周辺）の「河道の掘削、橋梁や堰の改築」が入っている。ところが、国土交通省が平成24年7月23日に資料開示（国九整総情第647号）した、この区間の整備計画河道流下能力算定表を見ると、蓮台寺橋（河口より8.6km）の改修後の流下能力（計画高水位）は毎秒1926トンであり、「熊本市街地での流量を現在の毎秒1500トンから2000トンに増やす」とする白川水系河川整備計画の目標がクリアできていない。この区間の「河道掘削、橋梁や堰の改築」は、立野ダムの有無にかかわらず整備計画に盛り込むべきであり、「立野ダム案」にも加えるべき事業である。
4-89 から 4-91 ほか	素案では、現行の河川整備計画「立野ダム案」が1000億円、「河道掘削案」が1200億円、「輪中堤案」が1100億円などとなっています。しかし、蓮台寺橋周辺（JR豊肥線白川第一橋梁から薄場橋周辺）の「河道の掘削、橋梁や堰の改築」は当然現行の河川整備計画「立野ダム案」（1000億円）にも加えるべき費用です。そうすると現行の河川整備計画は、「輪中堤案」等の費用を大きく上回ります。
4-102	「地すべりの可能性が予測される個所については、地すべり対策を講ずる必要がある」と書かれているが、予測される個所はどこなのか。どのような地すべり対策を講ずるのか。立野ダム予定地の地質を考えると、地すべり対策をしても地すべりが起こるのではないかと。地すべり対策費は「立野ダム案」の費用に入っているのか。
6-1 から 6-4	関係地方公共団体からなる検討の場がこれまで3回開かれたが、伝え聞くところによると、国土交通省から出席する首長に対して、事前に「こういう発言をするように」との要請があったということだが、そのような国土交通省の姿勢は地方自治に反するものである。
4-102	「地元自治体が立野ダムを活用した地域振興に向けた検討を実施している」とあるが、どのような検討をしているのか。阿蘇の自然が失われる影響を考えると、地域振興ポテンシャルは低下すると考えられる。
4-41 ほか	立野ダム案と対比させた5つの治水対策案に、「十八口堰改修」が入っているが、十八口堰はすでに改修がすすんでいる。改修がすすんだ工事をダム代替案に入れているのか。
4-93	目標を上回る洪水等が発生した場合、「水田などの保全是貯留効果を発揮しない」としているが、流域の水田の浸透力の高さや、55平方キロメートルから白川に流出する速度などを考えると、立野ダムよりも洪水調節効果が大きいと考えられる。

2-15 2-12	<p>2-15 表 2.2.2 主要な既往洪水被害一覧表の、昭和 28 年 6 月 25 日～28 日洪水は、P2-12 で推定流量 3,200m³/s～3,400m³/s となっています。これは、「昭和 28 年西日本水害調査報告書（土木学会西部支部）」の調査結果であるとされています。この流量は白川の河川整備基本方針の元にもなっている極めて重要なものです。当時の調査方法、水位の推定方法、流量の計算方法の資料を示してください。また、これの値を信頼できるものとして採用している根拠を説明してください。また、S28.6.26 洪水と H24.7.12 洪水の雨量、水位、流量を比較した資料を示してください。</p>
3-1 5-1	<p>3-1 図の 3.1.1 立野ダム建設計画では、ダムが無い場合に 3,400m³/s 流れた時の「想定氾濫区域」は市街地だけになっています。しかし、5-1 費用対効果の検討では、中上流地区も氾濫することになっています。違いを説明してください。</p>
4-22	<p>4-22 6)堤防のかさ上げ（モバイルレビーを含む） 堤防のかさ上げは、モバイルレビー（可搬式特殊堤）を含む、とあります。そうした 50cm 程度の低い堤防のかさ上げについては検討してありますか。あれば検討したものを示してください。なければ検討しなかった理由を説明してください。</p>
4-93	<p>素案では、立野ダムの安全度について検討したとしています。ダムその他の治水事業のうち、ダムなど技術的に詳細な検討が必要な構造物の安全性を確保しかつ合理的な設計施工を行うために、技術的課題について検討・確認を行う基本設計会議（メンバーは国土交通省関係部門の技術担当者により構成）特にダム事業に関するものについてはダム設計基本会議と呼ばれており、少なくともダム事業の計画を立ち上げる時、ダムサイト・ダム型式を決める時、実施設計を行う時、試験湛水を行う時には実施され、この会議での了承が得られないと次の段階へ進めないことになっています。立野ダムに関するダム基本設計会議のこれまでの会議録（日時、参加者、議題、結論等がわかるもの）を示してください。</p>
3-2	<p>3-2 立野ダム下流断面図を見ると、立野ダムではダムの安全性を確保するため非常用洪水吐を設けています。非常用洪水吐は通常 1/200 程度の降雨による洪水流量に対応するものとなっていますが、この時の立野ダムの放流量は何トンですか。また、この時に下流地区が整備計画に基づく整備が完了していた場合の氾濫はありますか。</p>
3-3	<p>3-3 の 3.1.4 で、立野ダムの貯留容量は約 1 0 0 0 万 m³ と書いてあります。治水ダムではダム容量の決定に際して、さまざまなパターンの降雨を想定して流量を算定し容量を決定していますが、どんなパターンを検討していますか。また、その際に、いわゆる「ダムバンク」は生じていませんか。</p>
4-93	<p>4-93表4.2.7(1) 「立野ダム検証に係る検討 評価軸による評価」 目標を上回る洪水等が発生した場合にどのような状態となるか 【河川整備基本方針レベルより大きい規模の洪水】 「立野ダムは、ダム流入量よりも放流量を増加させることはないが、洪水調節効果は完全に発揮されない。降雨の時間分布、地域分布、規模等によっては、</p>

	<p>ほとんどの区間で計画高水位を超える」とあります。</p> <p>これは、想定以上の降雨ではダムが満杯になり、調節できなくなってそのまま洪水を流すことを意味しています。ここで言う基本方針レベルとは、規模と形が全く同じものであって、それこそ希な例であって、雨の降り方はほとんどの場合違ってきます。特に、二山、三山のピークがある洪水になると想定外であり、ダムによる調節は完全に破たんします。たとえ降雨が最大でなくてもダムは満杯になって、二山目、三山目はそのままの量が放流されることとなります。国交省は今年7月12日の洪水を例に、「立野ダムは4割しか貯まらない」と計算していますが、それは、偶然にも100mmを超える雨が連続する前の時間に全く雨が降っていなかったからです。（「平成24年7月九州北部豪雨について」20ページ）</p> <p>もし、この前にダムに貯まるような雨が降っていて、そこに今回の規模の雨が降っていたならば、結果は、平成18年の川内川豪雨での鶴田ダムのように完全に破たんしていたことでしょう。さて、このことによるツケは、だれが払うのでしょうか？</p>
<p>4-14 4-15</p>	<p>素案によると、現整備計画の立野ダム案では、小蹟橋上流9.4km地点から立野ダムまでの間は全く何も整備する計画がありません。これは整備しなくてもダムで調節するから氾濫しない。大丈夫だから何もしないということですが、先へのべたように「目標を上回る洪水等が発生した場合」には、この地区では何の手だてもしていないために、たとえダムがあっても同じ洪水が流れてきます。つまり、ダムの有無にかかわらず災害が発生します。また、小蹟橋から上流9.4kmまでは堤防の整備、河道掘削は行うことになっていますが1,500m³/sが整備目標であるためにダムが機能を喪失した場合は氾濫する危険性があります。</p>
<p>4-104</p>	<p>したがって、4-104の総合評価（案）1)一定の「安全度」を確保することを基本とすれば、「コスト」について最も有利な案は「立野ダム案」という結論は、ダムができて災害が軽減されないケースがあることから、前提である「安全度」が確保されない点から、破綻しています。</p>
<p>全体</p>	<p>正しく、住民に提起すべきことは、熊本市街部で整備計画によって越水しなくなったところに30cm程度の「余裕高」を確保するために、これから1000億円の予算と10年という時間をかけようとする立野ダム案を選ぶのか。それとも、中流部をはじめとする浸水危険箇所の堤防や掘削などを含めた河川改修（直接的で即効性のある対策）を速やかに実行するのか、という選択なのだが、素案からはそのようなことは全く読み取れない。</p>
<p>全体</p>	<p>国土交通省が平成24年7月23日に資料開示（国九整総情第647号）した「流下能力算定表」によると、「計画堤防高」のところの流下能力を見るとほとんどが3000トン上回っています。</p> <p>一部、下回っている箇所がありますが、最小でも2865トンです。計画堤防高ですので、堤防一杯に流れた場合の能力ですが、ご承知のように白川市街地の堤防は堤防の上までコンクリートできていますし、鋼矢板が打ち込まれていますので、壊れるようなことはありません。これは今回の洪水でもそうですし、以前の洪水でも証明されています。その上にさらに土のうまで積み上げて洪水を防いだということもありました。</p> <p>さて、整備計画の目標とする流量はダム無しで2300トンですから、最小区間でも2865トンの能力がありますから、全くダム無しで問題はありせんし、余裕もあります。また、将来計画(1/150)である基本高水は3400トンです。（この流量も本当にそうなのか疑問がありますが）これもほとんどの区間でこれに</p>

全体

匹敵する量をクリアしています。

さきほどの2900トン程度の区間の流下能力を3000トン以上に引き上げるためには更なる掘削や堤防かさ上げが必要になりますが、それはわずかな対策で可能なはずです。

要は、堤防高一杯に流しても堤防が壊れなければ、それだけでダム無しで将来計画の流量さえも流すことができるということであり、それが可能であることも証明済みだということです。それよりも、手つかずの中流地区や阿蘇地区の治水対策を急ぐべきです。

このことは以前からわかっていたはずなのに、ダムを作りたいだけのために国交省は無視してきました。(参照：平成12 事務所長会議議事録) この当時の人たちを呼んできて説明してもらったらどうでしょうか。

「立野ダム一つが吹っ飛んでしまう」という国土交通省整備局幹部及び各河川担当事務所長による検討会での発言がありますので、ご参照ください。

国交省九州地方整備局平成12年度河川整備検討会「今後の河川整備の進め方」会議録(抜粋) 発言整備局幹部及び各河川担当事務所長

●逆に余裕高も工学的にどういうふうに決まっているのかよくわからないけれども、そういうような検討があるべきではないかということ、・・・。

10cm、20cmで流れちゃうんですね。・・・本当に工学的な観点からいくと余裕高はどのくらいあるのかというのをきちっとやって、あと、その余裕分はやはり流れるというふうにしていくべきではないかなと思っているんですけども。

●ハイウォーターとか余裕高とか掘削とか計画河床、最深河床・・・そこをどう考えるかによって、・・・そこを大きめにとると、大体水は流れてしまうということになるかと思えます。

●余裕高についてですが、本明川はダム計画がございましてけれども、その余裕高まで水を流すということになると、本明川ダムがなくても流せるんじゃないかみたいなどころもあるわけがございまして。その辺、余裕高の考え方について十分理論武装をしていかないといけないんじゃないかと考えております。

●住民との公開の中で、いわゆる隠すものはほとんどなくなってくるわけですね。住民とぎりぎり議論していますから。先ほどの余裕高の議論もあるんですが、白川の場合は特殊堤を使っています、というのは、構造令上、余裕高というのは土堤原則の中で生まれているわけですね。そうやっていきますと、余裕高の議論というのなかなか説明しづらくなってくる。本当は余裕高でいくと、立野ダム一つが吹っ飛んでしまうわけですね。

●そこのところを自由にやっていいよと。例えば最深河床でとか現況の河床でやっていいよと。ハイウォーターも少しぐらい上げたらと、こうなってしまうと、そこそこ流れるんですね。だから、そこは絶対に変えてはいかんといったら、また、大引堤をやらんといかん。そんなばかなと、こういう話もあるわけで、そもそも論としては非常に大きいんだと思うんですね。実は大野川の、今、基本方針はもう通っていますが、あれの策定の際にそれに近い議論がいっぱいあって、要は矢田ダムをなくしたかわりの代替案として河道を掘削するのか、それとも現行踏襲でダムを別の所にセットするのかというところで大分大激論があったんですけども、ぶっちゃけた話をすれば、大野川の場合も河道の拡幅あるいは掘削は可能なんですね、無理すれば。それで矢田ダムを1個なくしてしまうというの、あながち全く不可能な議論ではなかったんだけど、最終的にはやはりダムをこの時点で抹殺することについて、今まで何をやってきたのという部分をどう説明していくかということで、現行踏襲に落ち着いてしまったという経緯があります。

「立野ダム建設事業の検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

立野ダム建設事業の検証に係る検討報告書(素案)に対する意見募集について

フリガナ		[REDACTED]				
① 氏 名		[REDACTED] (2通目)				
② 住 所		[REDACTED]				
③ 電話番号又はメールアドレス		[REDACTED]				
③ 職 業		公務員	⑤年齢	49	⑥性別	男
意見該当箇所		⑦ご意見は項目ごとに200文字以内で記載してください。				
頁	行	(ご意見が200字を越える場合は、併せてその内容の要旨(200字以内)も記載してください。)				
2-18		2-18 ページに、平成24年7月洪水について書いてありますが、概要のみであり、被害の実態や求められる対策については述べられていません。阿蘇乙姫の雨量は6時間に459ミリに達し「千年に一度の豪雨」と報道され、白川(代継橋地点)の最高水位も観測史上最高の6.32mに達しました。代継橋の最大流量も毎秒2300トンと報道されました。つまり、この洪水に対処できる治水対策をとれば、整備計画がクリアできるということです。以下、区間ごとに今回の水害の現況と求められる治水対策を述べます。				
2-18		(1) 熊本市 ①長六橋～大甲橋地点 【現況】左岸(大学病院側)は堤防が完成しているため、堤防の上端から1.5m程度の余裕がありました。しかし、この区間の右岸(下通り側)は高さ2mの堤防が未着手であるため、早朝より土のうが積み上げられましたが、一部で越水し、国道3号も一時通行止めとなりました。右岸側には市役所や下通りなどの繁華街もあり、まさに熊本市の心臓部とも言えるのですが、今回はかろうじて土のうで被害を免れたとも言えます。 【対策】右岸側堤防(高さ2m)を早急に完成させること。完成すれば、右岸側でも堤防上端から1.5m程度の余裕をもって流せると思われます。				
2-18		②大甲橋～明午橋地点 【現況】右岸(メルパルク側)の堤防は完成していますが、堤防上端から約0.3mの余裕しかありませんでした。その理由は、左岸(白川小学校側)で現在、20mほど川幅を広げる工事が行われているのですが未完成であり、大甲橋周辺の川幅がまだ広がっていない分、洪水水位を押し上げているからです。 【対策】左岸側の改修が完成し、川幅が広くなり、白川の流下能力が増えれば、右岸左岸ともに堤防上端から1.5m程度の余裕をもって流せると思われます。				
2-18		③明午橋～子飼橋 【現況】左岸(新屋敷側)の改修はほぼ完成しているのですが、堤防上端から約0.3mの余裕しかありませんでした。その理由は、明午橋の架け替えがまだであり、明午橋の左岸側で川幅が狭くなっており、洪水水位を押し上げているからです。右岸(藤崎宮側)では、堤防工事が未完成の箇所から越水し、藤崎宮や周辺の住宅が浸水被害を受けています。 【対策】川幅が狭くなっている明午橋の架け替えが早急に必要です。明午橋の架け替えで川幅が広がり、白川の流下能力が増え、右岸側の改修が完成すれば、				

2-18	<p>右岸左岸ともに堤防上端から1.5m程度の余裕をもって流せると思われます。</p> <p>④子飼橋～竜神橋 【現況】右岸（熊本大学側）は堤防がほぼ完成しているため、堤防上端から2m以上の余裕がありました。左岸側は、子飼橋の架け替え工事のために、子飼橋のすぐ上流の堤防が切れた箇所では、あと約0.3mで越水していました。この区間の左岸（江南病院側）の堤防はほぼ完成しており、堤防上端から1.5m程度の余裕がありました。ところが、竜神橋がこれから架け替えられるため、竜神橋のすぐ下流（左岸）で堤防が切れており、そこから洪水が流れ込み、多くの住宅が浸水しました。 【対策】川幅が狭くなっている竜神橋の架け替えが早急に必要です。竜神橋と子飼橋の架け替えが終わり、堤防がつながれば、右岸左岸ともに堤防上端から1.5m以上の余裕をもって流せると思われます。</p>
2-18	<p>⑤竜神橋～小碓橋 【現況】両岸ともに堤防が未完成です。小碓橋の下流右岸（黒髪6丁目）で越水し、住宅が浸水し、県道337号（旧国道57号）も浸水して通行止めとなりました。小碓橋の下流左岸（西原校区）も越水し、住宅が浸水しました。この区間にある渡鹿堰周辺の河道に大量の土砂がたまり、洪水水位を押し上げています。 【対策】川幅が狭くなっている竜神橋の架け替えが早急に必要です。またこの区間は、築堤だけでなく、河道に大量の土砂がたまっている渡鹿堰周辺の河床のしゅんせつも早急に必要です。</p>
2-18	<p>⑥小碓橋より上流 【現況】この区間は国の直轄管理区間ではないため（熊本県が管理）、築堤や河床掘削、吉原橋の架け替え等の大半が未着手であり、多くの住宅が浸水被害を受けまし。白川が大きく蛇行している龍田地区右岸が特に大きな被害を受けました。吉原橋周辺には河道に大量の土砂がたまり、洪水水位を押し上げています。 【対策】河川整備計画通り、築堤や河床掘削、吉原橋の架け替えを行い、河道の流下能力を高めることが早急に必要です。吉原橋周辺の河床に堆積した大量の土砂のしゅんせつも早急に必要です。</p>
2-18	<p>(2) 中流域（大津、菊陽地区）</p> <p>①大津町 【現況】河川整備計画が未策定の区間です。河道の断面積（川の幅×深さ）が小さいため、多くの箇所で越水。多くの箇所で古いコンクリート製の護岸がこわれ、田植えしたばかりの水田や畑も土砂で埋まっていました。岩戸温泉は露天風呂まで浸水。河床に今回の洪水で運ばれてきた大量の土砂が堆積しています。住民への聞き取りの中で「昭和28年6・26洪水以上の出水だった」「6・26洪水に匹敵する出水だったが、当時より川幅が広がっているのが被害は少なかった」などの声が多く聞かれました。</p>
2-18	<p>②菊陽町 【現況】大津町と同じく、河川整備計画が未策定の区間です。多くの箇所で越水し、農地が大きな被害を受けていました。河床に、今回の洪水で運ばれてきた大量の土砂が堆積しています。</p>

2-18	<p>【大津町、菊陽町の対策】現在の河道では今回のような洪水ではあふれてしまうので、川底を掘ったり、川幅を広げたり、堰を改修する必要があります。そのためには、「河川整備計画」の策定が必要です。</p> <p>(3) 上流域 (阿蘇地区)</p> <p>①黒川流域</p> <p>【現況】阿蘇市では黒川が至る所で氾濫し、農地や住宅に大きな被害が出ました。特に改修が未着手の内牧より上流では河道の断面積が非常に小さいため、ほとんど越水している状態で、少なくとも2箇所破堤し、農地が甚大な被害を受けています。</p> <p>【対策】河川の改修がすすんでいる箇所でも今回の洪水ではあふれてしまったので、河川改修とともに遊水地を内牧より上流にさらに整備する必要があります。さらには、水田の畦をかさ上げするなど、できるだけ雨水の河川への流出を抑制する必要があります。</p>
2-18	<p>②阿蘇地区の山林</p> <p>【現況】今回の洪水で、阿蘇市を中心に多くの方々が亡くなりましたが、いずれも土砂災害が原因です。土砂災害の現場となった山林の多くは、間伐がなされていない荒れた放置人工林です。スギやヒノキの放置人工林では、一本一本の木が「もやし」のようにひ弱で、木の根が土をつかむ力も弱く、土砂災害を引き起こす一因となっています。</p> <p>【対策】土砂災害の要因となっている荒れた放置人工林の間伐を進め、山林の保水力を高める必要があります。また、草原の保全を進めることも土砂災害の防止につながります。</p>
2-18	<p>(4) 立野ダム建設予定地周辺の状況</p> <p>今回の洪水で、立野ダム本体予定地右岸側の工事用道路が流失。工事用仮橋も流失しています。7月12日の最高水位は10m近かったものと推定されます。(国交省資料によると立野地点の水位は7月12日8時より18時まで測定不能)</p> <p>調査時刻(7月14日17時)の立野地点の水位は3.99mでしたが、大きな岩が流される音と地響きが絶え間なく続いていました。以前は目にしなかった、高さ5m以上あると思われる大きな岩も河道内に流れてきていました。阿蘇カルデラ内に降った雨と、流されてきた土砂や岩石などが全てここに集中することを実感できました。</p> <p>この増水した状況や、大量の土砂や流木、大きな岩が流されていく状況を見ると、立野ダムの下部に設置される一辺が5m、長さ約80mの3つの「穴」(トンネル)は埋まってしまうことが容易に考えられます。</p>

御中

立野ダム建設事業の検証に係る検討報告書(素案)に対する意見募集について

034

フリガナ						
①氏名						
②住所						
③電話番号又はメールアドレス						
④職業		主婦	⑤年齢	50	⑥性別	女
意見該当箇所		⑦ご意見は項目ごとに200文字以内で記載してください。 (ご意見が200字を越える場合は、併せてその内容の要旨(200字以内)も記載してください。)				
頁	行					
		<p>立野にダム...と聞いた時から、実現はありえないと思っていました。あのすばらしい景観や自然がたどいたのです。</p> <p>①あの場所に巨大なコンクリートの壁は似あいません。</p> <p>②地質的に巨大な構造物が維持できないのではありませんか？火山ですし、活断層の存在も言われております。(今日本は地震の活動期です。)</p> <p>③②を満足しようとすれば、今の予想をはるかに越える経費が発生すると思います。</p> <p>④地下水への影響は十分にたしかめられましたか？私たちが熊本の間人間は生命の水を、地下水にたよっております。地下水脈がとどこあつて、汚染されればとしかえしかつきません。そうならない事を証明してください。(工事のために国ある物質を使うとも聞いています)</p> <p>⑤観光産業や、現地の暮らしへの影響を私たちが良く知る必要ががあります。そういう場はありませんか？阿蘇～海まで、今回7月の豪雨で、対策がまにあっていないところが大変な犠牲とともに明らかになりました。それらに対する早急な対応が第一だと思います。</p> <p>①本来、住宅を建てはいい場所にある住宅等は、これを機に物車云、もしくは重あけ、もしくは水害対策の強化をすぐ計画し、着手してください。天災はいつやってくるかわかりません。</p> <p>生命や環境を第一に考えてください。また、立野ダムありきで、107リットルコメントやこのような意見募集を手段として扱うのはやめてください。問題が起ってからでは遅い。長引く例は多い。反対意見の中には、工場の重要指輪があるはずと、</p>				

「立野ダム建設事業の検証に係る検討に関する意見募集」事務局 寒郷中

立野ダム建設事業の検証に係る検討報告書(案案)に対する意見募集について 035

フリガナ		[REDACTED]				
① 氏名		[REDACTED]				
② 住所		[REDACTED]				
③ 電話番号又はメールアドレス		[REDACTED]				
④ 職業		団体役員	⑤ 年齢	64	⑥ 性別	男
意見該当箇所		⑦ ご意見は項目ごとに200文字以内で記載してください。 (ご意見が200字を超える場合は、併せてその内容の要旨(200字以内)も記載してください。)				
頁	行	<p>立野ダムの建設を見直して、財源はインフラ整備に転用しましょう！</p> <p>穴あきダムは、近畿の武庫川では中止になりました。</p> <p>無意味な、ほとんど役立たない巨大構築物をつくって、貴重な水系や自然を破壊することは、未来に対する背信行為です。</p> <p>ほとんど役立たない新たなダムを新設する財力があるのであれば、現在劣化している社会インフラの更新に投入すべきです。そうすることは、未来に対するすばらしいプレゼントになるはずです。</p> <p>未来にとって今何をすれば一番役立つのかを考え、一日もはやく頭の中を切り替えるべきです。</p>				

「立野ダム建設事業の検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

立野ダム建設事業の検証に係る検討報告書(素案)に対する意見募集について

036

フリガナ		[Redacted]			
①氏名		[Redacted]			
②住所		[Redacted]			
③電話番号又はメールアドレス		[Redacted]			
④職業		講師	⑤年齢	⑥性別	女
意見該当箇所		⑦ご意見は項目ごとに200文字以内で記載してください。 (ご意見が200字を超える場合は、併せてその内容の要旨(200字以内)も記載してください。)			
頁	行	<p>(日石岸には書かれていない)との、項目22)</p> <p>には当てはまらないとの、思われる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 大津町の公聴会に出席(2/17)：発言者と言いつたし、国交省の方とのお答えも反応はなかつた。こういう公聴会(開)式の^{自体}現代の感受性には全くおかしな感じがした。 いちばん気になるのは、原森林の北向きが水没、枯れしてしまうこと。取り返しがつかぬと思いませんか！ 今の効果もおもしろいまま決行するよりは軽率と言われないでほしい。 河川整備に力を入れ、北向きを次世代に残して後々よくなるか。 大津町民の2/17は日本国民の怒りと思われる。 どうせ、国土省の皆さん、ご再考を。ご撤回して下さることを望みます。 			

「立野ダム建設事業の検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

立野ダム建設事業の検証に係る検討報告書(素案)に対する意見募集について

037

フリガナ		[Redacted]				
①氏名		[Redacted]				
②住所		[Redacted]				
③電話番号又はメールアドレス		[Redacted]				
④職業		会社役員	⑤年齢	60	⑥性別	男
意見該当箇所		①ご意見は項目ごとに200文字以内で記載してください。 (ご意見が200字を超える場合は、併せてその内容の要旨(200字以内)も記載してください。)				
頁	行					
4-14	4	代継木倉地点で300m ³ /sの流量カットをすとしてい か、これは水位にして何m程度下げることができ と検討しているのだろうか。20~30m程度であるならば 河道の掘削や堤防の嵩上げなどの治水対策で容易に 対応できると考えられる。				
3-3	3	自然調節(穴あき)ダムであるが、この方式はダムの 水位が上昇して始めて洪水調節が行なわれるので ムダが多く、同じ容量のゲートダムより調節効果が 低いのが一般的である。この方式で400m ³ /sを カットできているが問題は矢日の豪雨に 対して、何m ³ /sのカットの効果があがるのか、それを 検証して公表されることか、いちば人の参考資料 にすると考える。仮にダムがパンクして、調節が行 なえないのであれば、「今回のような大きな被害を 受けたから、立野ダムがせうとも必要だ。」と声高に 力説されることには根拠がない。				
3-5	5行	自然環境の調査をしたとあるが、原生林や滝、 溪谷など動植物に与える影響が余りに大きすぎる。				
4-15	写真	谷間にそそり立つ白いコンクリートの壁は景観上も 阿蘇国立公園にそぐわない。従来の環境行政を台無しにす				

差出人:
送信日時:
宛先:
件名:

038

立野ダム建設に反対する意見

200ページ以上の膨大な資料を、関係役場等で閲覧し、意見を書くということは不可能です。意見の書式も一般住民が非常に書きづらい形式になっています。住民への周知徹底も全く不十分で、「住民参加」の河川法の精神に背くものだと言えます。

本年7月12日、熊本県内は広範囲において「これまでに経験したことの無いような大雨」に見舞われ、白川は各地で氾濫し、流域の住宅地や農地等が甚大な被害を受けました。

私の友人も家屋全損の被害を受けました。

今回の7・12洪水で浸水被害を受けた箇所は、河川改修が未完成の箇所ばかりです。素案では、現行の河川整備計画を容認していますが、ダムより河川改修を優先させるべきです。

洪水時の白川の水は大量の火山灰を含みます。白川にダムを造っても、流下してきた土砂や岩石・火山灰で早い時期に埋まってしまうことが考えられます。国土交通省は素案で、「立野ダムの計画堆砂量は60万m³と想定している。水位の低下とともに貯水池内に堆積した土砂はダム下流へ流下し、もとの川床の状態に戻ると考えられる」としている。しかし、ダムへの堆砂は、ダムサイトのはるか上流の、ダム湖の上流端付近、つまり土砂を含んだ洪水の流速が低下する場所に発生します。それは日本全国、どのダムでもいえることです。ダムに穴が空いていようが、それは変わらないはずで

差出人:
送信日時:
宛先:
件名:

039

- ① 氏 名 :
② 住 所 :
③ 電話番号 :
④ 職 業 : 会社員
⑤ 年 齢 : 60.
⑥ 性 別 : 男

お疲れ様です。

報告書(素案)は読み切れていませんが、
9月22日と25日に熊本市内市民会館崇城大学ホールで
開催された会議を傍聴いたしました。

これまでの状況での意見とさせていただきます。

白川の洪水が他の河川と違うのは、
洪水にヨナが多く含まれていることだと思います。

今年の7月洪水により河口付近の貝類の養殖場が
土砂の堆積により被害を受けたと聞いています。

そこで、放水路案ですが
洪水のヨナの堆積が流下能力を低下させることは無いのでしょうか。
ヨナの撤去作業をするため放水路が二本必要ではないかと思えます。

以上ですが、参考になればと思っています。

国土交通省九州地方整備局河川部河川計画課 宛

040

立野ダム建設事業の検証に係る検討に関する意見募集について
～立野ダム建設事業の治水対策案について～

①氏名(フリガナ)		[REDACTED]			
②住所		[REDACTED]			
③電話番号又はメールアドレス		[REDACTED]			
④職業	会社員	⑤年齢	63	⑥性別	男
⑦御意見(御意見が長文の場合は、併せてその内容の要旨(200字以内)を添付してください。)					
御意見の項目		御意見			
1) 立野ダムの建設に賛成である。		<p>(要旨) 熊本市内の白川の洪水を守るには、立野ダムの建設しか方法はない。</p> <p>(意見) オタマジャクシの様な形をした流域を持った白川は、蛇口の栓の部分に当たる立野で河川の流量を調節しないと、他に調整する場所がない。洪水を防ぐには、ダムの他に①遊水地や②河川の幅を広げる、③河川の底を掘って深くする方法があるが、①遊水地は坪井川に小さなものが八景水谷付近にあるが、白川では大きなものを作らなくてはいけないので適地がない、②白川の幅を広げることは、現在の市街地を考えると、これ以上は無理である、③白川の川底を掘ることは、生態系や河川の自然のなせる技を破ることになり、大きな損失を被る。このことから立野にダムを造ること以外に方法はない。</p>			
2) 近所の実態		<p>(要旨) 近所の人のお話では、水の恐ろしさに恐怖感を持っているのが分かる。</p> <p>(意見) 私は今は上水前寺2丁目に住んでいるが、周りの人たちは昭和28年の白川大水害で被害を受けた人が多いそうで、ヨナに埋もれた家屋を捨てて高台の新興住宅地に引っ越してきた人たちである。一度水害に遭った人たちの心情は計り知れないものがある。</p>			

御意見の項目	御意見
3) 私の経験	<p>(要旨) 昭和 28 年当時は 3 歳半だった。</p> <p>(意見) 私が生まれた所は池田町の高台で水害には無縁の場所であった。父は当時は通町にあった「千徳」という進駐軍の払い下げを中心に売っているようなデパートに勤めていた。現在の「鶴屋」の水道町寄りに並んで建っていた。昭和 28 年の洪水で地下に水が入り、多数の人が亡くなり、地下は火山灰のヨナで埋まり、掘りだすのに大変な苦労があったようである。</p> <p>父は、洪水の当日は帰ってこなかった、帰ってきたときには晴れていたもので、何日か後だったのかもしれない。3 歳ぐらいの思い出はほとんどないのだが、父の帰ってきてからの家族に対する訓示は今でも鮮烈に覚えている。それほど緊張していたのだろう。いろいろ話したのだろうが、とにかく市内に絶対に出てはいけないということだった。伝染病がはやるかもしれないと言われた。</p> <p>千徳は程なく潰れて、父はその後 4~5 回は職業を転々とせざるを得なかった。間接的な被害者である。</p>
4) 今後の立野ダムのあり方	<p>(要旨) 立野ダムは貯留しない、洪水専用ダムでいいのか</p> <p>(意見) 立野ダムは現在はダムに穴をあけた洪水専用ダムで、通常は水がたまらないようになっている。</p> <p>しかしながら、熊本市は政令指定都市になり、これからもますます発展していく状況にあり、水の需要は今後とも増えていくものと思われる。現在の熊本の水道は全量を地下水に頼っているため、地下水位が年々下がっている状況である。将来的には貯金が目減りしているようなもので、地下水の枯渇、地盤沈下の進行が懸念される。</p> <p>将来のためには、立野ダムを貯水できるようにして、地下水保全や電力の開発、渇水時の河川の水の確保ができるようにすべきである。</p> <p>全国の県のダムでは穴あきダムで洪水専用ダムを造ったが、水不足に陥り、新たにゲートをつけて多目的ダムにした例もある。今後の地球温暖化に伴う異常気象に対応するためにも、柔軟な対応が必要と思われる。新たにダムを造るのに 30 年もかかること考え合わせると。</p>

国土交通省九州地方整備局河川部河川計画課 宛

041

立野ダム建設事業の検証に係る検討に関する意見募集について
～立野ダム建設事業の治水対策案について～

①氏名(フリガナ)		[REDACTED]			
②住所		[REDACTED]			
③電話番号又はメールアドレス		[REDACTED]			
④職業	主婦	⑤年齢	39歳	⑥性別	女
⑦御意見(御意見が長文の場合は、併せてその内容の要旨(200字以内)を添付してください。)					
御意見の項目		御意見			
1) 白川流域への適用性について		(要旨)			
		<p>(意見) 立野ダム建設事業のプロセスにおける住民の関わりが大変限定的で、このまま事業決定となれば、寝耳に水という市民からの反発が懸念される。もっと時間をかけた市民との対話型の事業検討が必要かと思われる。7. 12の被害の再発防止ということで、スケジュールを急がれているのだろうか？立野ダムの計画を見る限り、優先順位はダム建設ではなく河川工事による治水が大事だと考える。ダムは巨額の血税をそそぐ上、リスクも大きいことを考えると、川辺川ダム問題に見られるような、推進派や反対派の住民の分断が起こる前に、丁寧な説明と対話型の検証が何よりも大切。現状は全く満足できない。もっと、回数を重ねるべきだし、時間を掛けた住民への周知が必要。</p>			
2) 治水対策案の組合せの考え方について		(要旨)			
		<p>(意見) ダムありきで多角的な検証が不十分と考えられる。反対を唱える意見を含めた、広い論議が必要。</p>			

御意見の項目	御意見
3) 治水対策案について	<p>(要旨)</p> <p>(意見) 専門家といわれる方々による、一面的な対策案と見られる。ダム建設による原生林の水没の問題をはじめとして、環境評価や地元的生活圏の住人他、関連行政等々との議論が不十分。</p>
4) 概略評価による治水対策案の抽出について	<p>(要旨)</p> <p>(意見) 大変わかりにくい。中学生でも読めるような誠意を感じられる資料をまず、作成されることをお願いしたい。</p>

差出人:
送信日時:
宛先:
件名:

042

立野ダム建設は、反対である。

理由は以下に述べる

立野ダムは2つの河川の下流部に位置し、洪水調節をメインの目的にしているが、近年の雨の降り方は集中豪雨型傾向が著しく、ダムでコントロールできる範囲は限定的である。満水になれば、放水することになりこの放水がむしろ下流の洪水の原因になりかねない。

また集中豪雨がダムの上流域に降るとは限らず、その場合はダムの目的を果たすことはできない。

それにもかかわらず、建設費が高むことと、建設による周辺環境への悪影響は大である。特に阿蘇の景観的にきわめて大きな悪影響が出る。

また下流住民は、ダムに過大に期待をするが、住民の安全のためには、大雨に対する場合には安全に避難することが重要であり、そのためのソフト面の対応がより重要である。効果が限定的なダムに使う税収はない。

大学教員 ⑤年齢 65 ⑥性別 男性

差出人:
送信日時:
宛先:
件名:

043

以下の意見で最初の段落に入力ミスがありましたので、訂正させていただきます。
お手数おかけしますが、よろしくお願い致します。

誤

> ・熊本市中心部でたった 30 センチしか水かさを下げる為のダムに 10 年の歳月と何百億...

正

・熊本市中心部でたった 30 センチしか水かさを下げる効果しかない立野ダムの為に 10 年の歳月と何百億...

以上です。

> お世話になります。[redacted]と申します。以下、立野ダムに関する意見を送付させていただきます。

> ①氏名

> ②住所

> ③電話番号又はメールアドレス

> ④職業

> 学校職員

> ⑤年齢

> 53 歳

> ⑥性別

> 男性

> ⑦ご意見

> ・熊本市中心部でたった 30 センチしか水かさを下げる為のダムに 10 年の歳月と何百億（おそらく増えて千億を超えるのでしょうか）という税金と投入することに反対です。ダム本体はゼネコンが受注して地元の建設業界も潤わないでしょう。それよりも、地元の業者で、早く工事ができる河川改修を優先して流域住民の生命と財産を「実質的」に守るべきだと思います。

> ・ダム計画が存在する為に、河川改修の予算が制限されたり、上流部の調整池当の対策がとられない整備計画になるのは本末転倒だと思います。

> ・熊本市民として上流にダムができることについては、想定外の雨の際に急激に水かさが増えて避難が遅れるいわゆるダム水害が起きることになるのではと、とても心配です。

> ・2000 年前後の説明パンフには、立野駅からダム、上流部を俯瞰できる視点からのダム位置と完成イメージがわかりやすい図がありましたが、新しいパンフレットからは省かれています。位置と大きさが一般の私たちには想像しづらくなっています。

> ・先日の公聴会は3日前にしか告知されませんでした。学生の飲み会もこんな相手の都合を考えない事はしません。何百億もの予算をつぎ込む公共事業を地域住民に問う手段として一般の常識からずれた行政手法であるといわざるを得ません。

>

> ・それでも集まって発言した30人は全員ダム計画に反対、もしくは懐疑、疑問を表明しました。これは国交省への不信感が根底にあることもご理解頂きたいです。事業主体として信頼されていないという事です。

>

> ・そして、その後、有識者メンバーと呼ばれる皆さんがダム賛成の意見を表明したと報道されていますね。有識者は誰が選んだのですか？相も変わらず都合のいい人選ですね。このようなやり方で住民の意見を尊重しないやり方が未だに行われるからこそ、不信感がぬぐえないのです。本来であれば、我々の生命と財産を守ってくれる役所であり皆さん日常的にはそういうお仕事をされていると思います。

>

> ・上記、4点は、住民の意思から乖離した計画を強引に進めようとしている印象を強める結果となっています。残念ながらその疑念をぬぐいきれません。あなたたちが作りたいダムであって、住民がのぞんでいるダムではないと判断します。私はダム反対派ではなく治水推進派です。有効な治水としてダムより河川改修を優先すべきだと考えています。

>

> 以上です。まとまりがない文章で申し訳ありませんが、よろしくお願い致します。

> --

> [REDACTED]

> --

> [REDACTED]

差出人:
送信日時:
宛先:
CC:
件名:

044

①氏名

②住所

③電話

メール

④職業

公務員退職 主婦

⑤年齢

74歳

⑥性

女

⑦意見

本年7月12日の大雨で白川は各地で氾濫し、阿蘇の友人は土砂の流出で、折角手に入れたイタリアのトマトが流れてしまい、立田陣内の友人は家屋損壊、菊陽は床上浸水と知り合いだけでも大変な被害にありました。立野は大きな流木などで埋まっていました。あれではダムを作っても直ぐ埋もれてしまいます。下流の河川改修を優先すべきです。白川の上流にダムを作ると川辺川のニノマエになるのでは？魚がすめない川になっては大変です！！

差出人:
送信日時:
宛先:
件名:

045

国土交通省九州地方整備局河川計画課「立野ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局宛

昨年夏 移住してきました。阿蘇はすばらしいところです。
その阿蘇を破壊するとはか思えないため、立野ダムの建設に反対です。

- ・まず行うべきは河川の堤防などによる対策 つまり治水です。
- ・根本的には 阿蘇カルデラの林山地の間伐残材の除去、間伐+広葉樹植林等による土壌保水力の向上 つまり治山。
- ・それでもどうしてもなくなって初めて検討すべきものです。
なぜなら 北向谷原生林をはじめ、多大な自然破壊を生む。
にもかかわらずたいして洪水対策にならないので。
- ・特措法を成立させ、ダムによらない形での 治山・治水に投資することを求めます。

よろしくお願いいたします。

「立野ダム建設事業の検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

046

立野ダム建設事業の検証に係る検討報告書(素案)に対する意見募集について

フリガナ		[Redacted]				
①氏名		[Redacted]				
②住所		[Redacted]				
③電話番号又はメールアドレス		[Redacted]				
④職業		無職	⑤年齢	75	⑥性別	男
意見該当箇所		⑦ご意見は項目ごとに200文字以内で記載してください。 (ご意見が200字を越える場合は、併せてその内容の要旨(200字以内)も記載してください。)				
頁	行	<p>水田のアセ直のかさ上げによる 水田貯留 20cmは、魅力的 な対策。地下水の枯渇と 硝酸性窒素による汚染は 遊本市の緊急課題。 地下水を養い、水害の削減 アセ直のために、水田の保全と 活用を、 佐賀県、大田川の水害対策を 参考にしてほしい。</p>				

差出人:
送信日時:
宛先:
件名:

047

- ①氏名
- ②住所

- ③
- ④職業 主婦
- ⑤年齢 39
- ⑥性別 女
- ⑦ご意見

立野ダム完全反対です。

自然破壊はやめてほしいです。次の世代にもこの変わらぬ自然を残してください。

<素案全体について>

- ① 素案の住民への周知徹底がされないまま、公聴会での意見聴取を行うこと・同じく短期間に意見募集に意見を提出することには無理がある。

9月11日に開かれた第3回「立野ダム建設事業の関係団体からなる検討の場」で、「立野ダムを含む案有利」の提案なされ、わずか10日程度しか経たないうちに公聴会を開き住民の意見を聞くこと自体に無理がある。数日で、200ページを超える、専門的な内容の素案を読みこなし、一般の住民が意見を述べることは、不可能に近い。

- ② 国が、住民の意見を聞く姿勢がないことは問題

公聴会の参加者募集の呼びかけには、「発表時間は5分となっていますので、多くは話せません」と書いてあり、国が住民の意見を聞く姿勢がないことがはっきりと示されている。総事業費900億円を超える国民の税金が使われるのに、国民の意見を聞かずに事をすすめるのは問題です。

<6-7ページから6-22ページのパブリックコメントについて>

- ③ 出されている意見がほとんどダム建設には「慎重・反対」であるにもかかわらず、検討主体の意見では、ダム推進の立場を述べるだけで、納得のいく説明がないまま「ダム案が有効」と結論付けられているのは問題である。住民世論は、素案のどこに反映されているのかわからない。
- ④ 熊本市内で開かれた住民の意見を聞く公聴会においても、すべての意見が「ダム反対」であった。パブリックコメントへの対応を見ていると、こうした住民の意見は、今後どのように反映されるのかわからない。

<3-3ページの建設費用について>

- ⑤ 概算総事業費の約905億円については、内訳を説明すべき。積算がはっきりしなければ信憑性がない。

<4-91ページ以降の評価軸ごとの評価について>

- ⑥ 評価軸による評価の中で、「生物の多様性の確保、及び流域の自然環境への影響」において、ダム案を除く他の5つの案では、「影響が全くない」か「影響は限定的」となっています。一方、「立野ダム建設案」では、「動植物の重要な種について生息地が消失や、生息・生育環境の変化により影響を受けると予測される種があるため

に、生息・生育環境の整備や移植等の環境保全措置を講じる必要がある」と指摘されています。このように、ダム建設案は他の案に比べ、重大な環境への影響があるということが明確に検証されています。一方で、環境保全措置を講じるといいながら、その詳細は示されていません。説明が不十分です。

<4-13 ページ>

⑦ 立野ダム案の目標流量について

ダム建設を含む河川整備計画による白川の河川流量の調節は、全体で毎秒2,300立方メートルです。そのうち、下流域の堤防建設や河岸の掘削等によるものが2000立方メートル、立野ダムと7箇所の黒川遊水地建設を合わせて300立方メートルということですから、ダムに比べ、流域の河川整備による流量調節効果ははるかに大きいわけです。しかも、12年前、2000年8月の九州地方整備局事務所長会議で、国の専門官が「白川は特殊堤防を使っているので、『余裕高』で行くと、立野ダムが吹っ飛んでしまう」言われています。「余裕高」も含めた流量調節機能を検証して、示すべきです。

<その他>

⑧ 立野ダム予定地周辺の溪谷は、阿蘇カルデラ内の火山から流下してきた立野溶岩で、冷却によって生じた角材状の割れ目（柱状節理）がよく見られ、巨大ダムを建設するには危険な地質であるといわれています。また、立野ダム予定地には、国内で地震発生確率の高い活断層である「布田川・日奈久断層帯」の一部である「北向山断層」が通っています。実際、立野ダム本体予定地左岸では、多くの崩壊箇所が見られます。地盤が悪く、地震による崩壊の危険性も指摘されているので、建設するダムの安全性について検証し、説明すべきです。

⑨ 9月12日から14日まで、国土交通省が黒髪・渡鹿地域で3回の河川改修説明会がありました。説明会では「川底に土砂がたまって、浅くなっている」「10年以上も前に、家の中まで入ってきて調査しながら、そのままになっていた」などの意見が出ていた。これまでなぜ、河川の改修・日常の管理がじゅうぶんなされてこなかったか、説明すべきです。また、河川整備が遅れてきたことについても、説明すべきと思う。

⑩ ダムを除く、下流域の河川整備・改修については、今年の7・12水害の降雨量を反映し、堤防の高さ・規模を改めて見直すべきと考える。

以上

「立野ダム建設事業の検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

立野ダム建設事業の検証に係る検討報告書(素案)に対する意見募集について

フリガナ		[Redacted]			
① 氏名	[Redacted]				
② 住所	[Redacted]				
③ 電話番号又はメールアドレス	[Redacted]				
④ 職業	団体職員	⑤ 年齢	61	⑥ 性別	男
意見該当箇所		⑦ ご意見は項目ごとに200文字以内で記載してください。 (ご意見が200字を超える場合は、併せてその内容の要旨(200字以内)も記載してください。)			
頁	行	<p>・ 明日にでも発生する可能性がある洪水に対して10年かかると立野ダムでは間に合わない。</p> <p>・ 今までに経験したことがない集中豪雨と表現された7月12日の雨量でさえ、龍田地区で越水したのは堤防の切れ目からあふれた水であり、今後行われてきた河川改修のおかげで昭和28年のような大洪水は回避できたと考えられる。立野ダムが完成しても、最大で数十センチの低減効果しかないのでは、その予算を堤防の整備他川筋改修を積み上げて毎年確実に被害を防ぐ努力を継続する方が合理的である。</p> <p>・ 北向谷原始林は国指定の天然記念物であり、立野ダム事業区域は阿蘇くじゅう国立公園の特別保護地域に指定されている。「素案」ではコストが重視されるのみで、環境面での評価が著しく過小評価され、総合的な評価とはなっていない。自然に対する人間の驕りは許されない。</p> <p>・ 白川流域の住民がほとんど何も知らないままダム事業推進に暴走する国交省の姿は、河川法を無視する愚行であり、民主主義に反する。</p>			

立野ダム建設事業の検証に係る検討報告書（素案）に対する意見募集について

フリガナ		[REDACTED]				
① 氏 名		[REDACTED]				
② 住 所		[REDACTED]				
③電話番号又はメールアドレス		[REDACTED]				
③ 職 業		無 職	年 齢	64歳	⑥性別	男
意見該当箇所		⑦ご意見は項目ごとに200文字以内で記載してください。 (ご意見が200字を越える場合は、併せてその内容の要旨(200字以内)も記載してください。)				
頁	行					
		<p>白川の中流域、下流域の治水対策として計画されている立野ダム建設事業に対して計画されている場所は阿蘇くじゅう国立内に位置しダムにより水没する北向谷原始林は国指定の天然記念物であり水没による枯れ死が確実であることは明らかです。過去の経緯の中で環境省の許可を得ているとの経緯を聞いておりますが、時代の求める状況は変わっており、再度開発の許可を求めます。福島原発の地震による影響は設置計画当時は断層との関係を問う学者は存在せず現在の状況に至っており、日本各地の原発の位置が次々と決定されました。現在計画中の立野ダムは『布田川・日奈久断層』も直下に走っており地震が襲った際には、ダム本体の崩壊が予想されます。(立野ダムの流域部分にて受益エリアとされる大津市に置いて現在焼却場の建て替え工事が進行中ですが、断層の1kmには建築出来ない規定にて想定される既存の断層を確認したところ、敵地は無いとの結果にて、あえて建築コストが上がる耐震構造にて建築する方法にて結果が出ています。ダムの建設にあたりこの様な規制は無いのでしょうか?)</p> <p>ダムが出来、試験湛水による樹木への影響は明らかであり、島根県の増田ダムの試験湛水による樹木の枯れ死を見ました。放置された樹木は枯れ死しており、その景観は見苦しい状況を呈し、南阿蘇鉄道にて訪れる観光客よりの声になんと答えるのか?国交省への疑問を感じます。</p>				

「立野ダム建設事業の検証に係る検討に関する意見募集」事務局 御中

051

立野ダム建設事業の検証に係る検討報告書（素案）に対する意見募集について

フリガナ		[REDACTED]				
① 氏名		[REDACTED]				
② 住所		[REDACTED]				
③電話番号又はメールアドレス		[REDACTED]				
③ 職業		熊本市議会議員	⑤年齢	59	⑥性別	男
意見該当箇所		⑦ご意見は項目ごとに200文字以内で記載してください。 (ご意見が200字を越える場合は、併せてその内容の要旨(200字以内)も記載してください。)				
頁	行					
2-28		昭和28年6月洪水の時は、戦後の木材伐採で森林の保水機能はなかった。この時の流量を治水目標とするのは過大な計画である。本年7月洪水による土砂災害でも明らかのように、河床への土砂堆積を防ぐためにも森林の保全に力を入れるべきである。				
4-4		堆砂計画では貯水位の低下とともに堆積土砂は流下するとしているが、これこそが長期にわたって白川の水質悪化を招くものである。鮎の生育を阻害し、海苔の養殖への被害が起こる。土砂は短期間で排出することが適当である。				
4-54		坪井川への放水路ルートは熊本市街地では工事が困難で水道水源への影響もある。また、坪井川へ直接接続であるので負荷も過大となる。大津の上井手から菊陽・合志の堀川を經由して坪井川へ接続すべきである。途中の経路には多くの遊水地も、その候補地もあり、地下浸透を期待できる。放水路案を却下するのは適当でない。				
4-84		治水対策案⑮では、なぜ白川（南郷谷）に遊水地群が計画されていないのか。合流前での流出抑制の効果も期待できるではないか。				
4-101		コストの検討では、廃ダムの費用は見込んでいない。コンクリート強度はいつまで保証できるのか。荒瀬ダムの例を参考に費用を算出するべきである。				
4-103		湛水の水位低下時に土砂による濁りが増加するとしているが、どのくらいの期間濁りが継続するのか、効果的な水質保全措置を取ることができるのか。				
4-104		立野ダム案が10年後に最も効果を発現するとしているが、その間に想定外の洪水が起きないという保証はない。危険性の高い地域から堤防設置や河川改修を行い、順次に効果を発揮していく案を優先すべきではないか。				

差出人:
送信日時:
宛先:
件名:

052

団体職員

56歳

男性

意見

4.3 目的別の総合評価(洪水調節)

完成まで10年かかる理由がよくわかりません。
すでに用地取得99%、家屋移転が100%完了となっています。
漁業補償と減電補償が残っていると説明してあるが、
何か技術的に困難な問題でもあるのか。是非、説明してほしいです。

今回の水害被害者の願いは、一刻も早く安心できる住居地域の確保です。
ダム案はその願いに背くものです。

ダム案に対しては、住民からたくさんの疑問が出されているので、
十分な「説明責任」を果たすようにしてください。